創刊4周年 SINCE 2016

中学校・高等学校軽音楽部

顧問通信

2020年10月号　VOL.32

※本誌に記載されている記事の内容や数字などの全部、または一部を無断で複製、引用することを禁じます。
利用する際は当協会までご一報ください。

DiGiRECO.JR　2020年10月号

オンライン顧問交流会 VOL.3

ウィズコロナの軽音楽部
リモート顧問交流会レポート

VOICE

長出泰典
【石川県】金沢学院高等学校 軽音楽部 顧問

塚越 環
【東京都】新渡戸文化高等学校 軽音楽部 顧問

文化庁による「部活動指導員」派遣に関するアンケート調査結果

「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」と軽音楽部の接点
軽音楽部の大会における統一審査基準（案）

新しい軽音楽部を考える

特定非営利活動法人（NPO法人）
全国学校軽音楽部協会 監修発行

全国学校軽音楽部協会は「部活動は教育の一環である」の理念のもと高等学校軽音楽部の活動を応援しています。

現在、全国で軽音楽系の部活動が活発に行われ、多くの生徒が軽音楽を通して様々なことを学んでいます。それは、軽音楽部の「自主性」や「責任感」の伴う活動が学習意欲の向上につながり、「コミュニケーション」「チームワーク」「クリエイティビティー」といった社会で必要とされるスキルを育てることができる部活動だと認知されてきたからだと思います。しかし、その一方で、他の部活動に比べるとまだその運営方法や指導方法などが確立しておらず、学校単位、各都道府県の高等学校文化連盟軽音楽専門部や軽音楽連盟単位での活動にとどまっているのが現状です。また、大会における審査基準やレギュレーション、校外活動の範囲、部活動とバンド活動との違いなどに統一された定義がないことが軽音楽部の発展の妨げになっていると思います。

今後、軽音楽部の社会的な認知と発展が進み、生徒が部活動として正しく活動できる状態にするには、文化庁をはじめ、各都道府県の高文連専門部や連盟、顧問の先生方と協力しながら、全国規模の交流ができる場を作ることや軽音楽部員への直接的な支援、及び指導が必要だと思います。

私たちは、このような支援活動を推進するには、公平性と中立性を保ちながら、情報公開を通じて広く一般の方の賛同を得ることができる特定非営利活動法人としての活動が望ましいと考え、本協会を設立しました。これまでにも、情報誌の発行、大会や合同演奏会の運営支援、大会プログラムの発行、生徒や顧問への各種クリニックや講習会の開催、軽音楽連盟発足の支援などを行ってきました。今後も不特定、かつ多数の公益に寄与しながら、軽音楽を通して青少年の健全な育成を目指していきます。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会
理事長　三谷佳之

創刊4周年 SINCE 2016

特定非営利活動法人（NPO法人）全国学校軽音楽部協会

2020年10月号 VOL.32

中学校・高等学校軽音楽部

顧問通信

■中学校・高等学校軽音楽部 顧問通信 VOL.32
■OCT・2020（第5巻6号通巻32号）
■発行日：令和2年10月16日（金）
■監修・発行：特定非営利活動法人（NPO法人）
全国学校軽音楽部協会
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-37-6-405
TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900
E-Mail：info@keionkyo.org
■企画・編集：株式会社ミュージックネットワーク

※本誌に記載されている記事の内容や数字などの全部、または一部を無断で複製、引用することを禁じます。利用する際は当協会までご一報ください。

編集長の言葉 ...4

全国学校軽音楽部協会とは… ...5

全国高等学校軽音楽連盟 連絡先一覧 ...7

配布校リスト ...8

文化庁による「部活動指導員」派遣に関するアンケート調査結果 ...23

「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」と軽音楽部の接点 ...32

軽音楽部の大会における統一審査基準（案）...34

VOICE

学校に来づらくなっている生徒が登校するきっかけになるような部活動にしたい ...12

【石川県】金沢学院高等学校 軽音楽部 顧問　長出泰典

自分たちでいろいろなことをクリエイトできるところがすごく良いと思います ...14

【東京都】新渡戸文化高等学校 軽音楽部 顧問　塚越 環

オンライン顧問交流会 VOL.3
ウィズコロナの軽音楽部
リモート顧問交流会レポート ...16

6月9日はロックの日

From Chief-In-Editor

軽音楽部 2.0
ニュー・ノーマルに向けて大同団結を

顧問通信をお読みくださり、ありがとうございます。少し前に実施した文化庁の外部指導員制度のアンケートの回答率は 4 割ありました。お忙しい中のご協力に感謝します。詳しくは本文をご覧ください。結果は文化庁と文化庁の嘱託を受けて部活動の在り方を調査している三菱総合研究所に提出しました。外部指導員を活用しようという掛け声だけでは動きません。制度が実際に運用されるにはガイドラインと予算が必要です。協会では音楽専門学校と共にガイドラインの作成を進めています。予算に関しては文化庁や国から補助金が出ないものかと考えて、ロビー活動に取り組もうとしています。難しいかもしれませんが、バンド活動を通して、これからの人材育成ができる「部活動としての軽音楽部」の特長を訴えて、地道に活動していきます。

一方、現在の軽音楽部は各校の顧問に依るところが大きく、運営や指導のルールに統一基準がありません。自由に活動できる部活動だとしても、何をやっても良いわけではありません。全国の軽音楽部が一枚岩になる必要があり、北のイエスが、南のノーとなっている現状では国家予算を捻出するのは難しいと言えます。全国の軽音楽部が同じ一枚の絵を見ることになるように、日本を俯瞰して考えていきたいと思います。令和時代の新しい軽音楽部（軽音楽部 2.0）に向けて…まずは集合することが重要ではないでしょうか。多少、意見の違うことはあっても未来のために大同団結したいですね。生徒にとって、より良き部活動にしたいという気持ちはどの顧問の先生も同じはずです。まずは同じテーブルに座ることが第一歩ではないかと考えています。

軽音楽部 2.0 ／新しい常識やルールを生み出す
・活動の環境…騒音問題、発表の機会、全国統一（標準化）
・練習の仕方…時間を効率よく使う訓練（10 月号のデジレコ・ジュニアを参照）
・指導の仕方…技術指導は上級生、顧問は生徒指導に徹する
・顧問は生徒に目指すものを示し、あとは自分で考える習慣をつけさせる

新型コロナウイルスの感染防止策の思わぬ効能で、リモート会議の環境が一気に進み、先日、各地の先生方に一同に集まっていただき、リモート顧問交流会を開くことが実現しました。テーマは「ウィズコロナの軽音楽部」です。ウィズコロナの中での部活動運営は置かれた環境が地域ごと、学校ごとに違うので、その対策に唯一の正解はありませんが、各地、各校での事例が何かの参考になると思います。当日の発表を文字に起こしましたので参考にしてください。

余談ですが、先日、高校生と大学生の合同演奏会や大学の軽音楽部やサークルの部長を集めたリモート座談会を開催しました。高校を卒業してからも音楽や楽器演奏から離れないで、一生の趣味にして欲しいと思います。

では、また次号で…。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会
理事長　三谷佳之
mitani@keionkyo.org
Twitter　@yoshiyukimitani

三谷佳之 YOSHIYUKI MITANI
BLOOD SABBATH（www.bloodsabbath.com）

小学生で電気に興味を持つ。中学生でブリティッシュ・ロックに目覚め、将来はイギリスに住む！と妄想。英語は必須と直感。エレキ・ギターを弾きつつ、シンセサイザーに興味を持ち、楽器より電気に傾倒。国立奈良工業高等専門学校電気工学科に進学。ロックバンドを組むが長続きせず。在学中、興味の対象は広告宣伝や販売促進、マーケティングに移る。某電子楽器メーカーに就職後、最新テクノロジーだった通信事業に興味を持ち、9 年間の勤務を経て、独立。ミュージックネットワークを設立。インターネットのない時代から音楽と通信ネットワークの分野で数々の日本初のビジネスを立ち上げる。2000 年の少し前、インターネット業界では当たり前の「コンテンツは無料」というコンセプトを雑誌に応用した「無料雑誌」を思いつき、創刊。2013 年、高校の軽音楽部向けの無料雑誌「DiGiRECO.JR」を創刊。2018 年、大学の軽音楽サークル向けの無料雑誌「DiGiRECO.SR」を創刊。同年、特定非営利活動法人「全国学校軽音楽部協会」を設立。

音楽面では約 10 年前にバンドへの興味が再燃。ハードロック系イベントを主催する。その後、主催するよりも出演する方が楽しそう…ということで方向転換。高専生時代から好きだったヘヴィメタルの元祖「BLACK SABBATH」のトリビュート・バンド「BLOOD SABBATH」を結成。年間 12 回以上のライブを展開。編集長の立場を利用して BLACK SABBATH のメンバーに会うなど…やりたい放題の公私混同。2013 年 5 月、直訳ロッカーの王様と日本語で BLACK SABBATH の名曲を演奏したアルバム「黒い安息日伝説」を発売。好調な売れ行きに気を良くして、現在、第 2 弾を計画中。2015 年 5 月、BLACK SABBATH のギタリストであるトニー・アイオミのトリビュート・アルバムに参加。世界デビューを果たす。

※ 会社のホームページで設立以来の活動を紹介しています

全国の中高大学校の軽音楽部を支援しています

全国学校軽音楽部協会とは…

現在、全国で軽音楽系の部活動が活発に行われ、多くの生徒が軽音楽を通して様々なことを学んでいます。それは、軽音楽部の「自主性」や「責任感」の伴う活動が学習意欲の向上につながり、「コミュニケーション」「チームワーク」「クリエイティビティー」といった社会で必要とされるスキルを育てることができる部活動だと認知されてきたからだと思います。しかし、その一方で、他の部活動に比べるとまだその運営方法や指導方法などが確立しておらず、学校単位、各都道府県の高等学校文化連盟軽音楽専門部や軽音楽連盟単位での活動にとどまっているのが現状です。また、大会における審査基準やレギュレーション、校外活動の範囲、部活動とバンド活動との違いなどに統一された定義がないことが軽音楽部の発展の妨げになっていると思います。

今後、軽音楽部の社会的な認知と発展が進み、生徒が部活動として正しく活動できる状態にするには、文化庁をはじめ、各都道府県の高文連専門部や連盟、顧問の先生方と協力しながら、全国規模の交流ができる場を作ることや軽音楽部員への直接的な支援、及び指導が必要だと思います。

私たちは、このような支援活動を推進するには、公平性と中立性を保ちながら、情報公開を通じて広く一般の方の賛同を得ることができる特定非営利活動法人としての活動が望ましいと考え、本協会を設立しました。これまでにも、情報誌の発行、大会や合同演奏会の運営支援、大会プログラムの発行、生徒や顧問への各種クリニックや講習会の開催、軽音楽連盟発足の支援などを行ってきました。今後も不特定、かつ多数の公益に寄与しながら、軽音楽を通して青少年の健全な育成を目指していきます。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会
理事長　三谷佳之

ご寄付のお願い

軽音楽部は部活動の１つであり、部活動は学校教育の一環です。学校教育であればこそ、公平性、中立性、継続性が大切です。それらを踏まえ、部活動を支援する団体としては特定非営利活動法人（NPO 法人）の形態が望ましいと考えました。

軽音楽部の強みはバンドや音楽を通して、社会が求める人材を育成できることです。全国の軽音楽部がより良い活動ができるように応援したい…。当協会の理念や活動内容にご賛同いただける方々のご寄付をお待ちしております。

公平性
全国的に公平であることが求められます。都心の学校でも地方の学校でも機会が均等に提供されることが大切です。営利目的の費用対効果では測れません。

中立性
中立性が保障されることが求められます。生徒にとって本当に有益なサポートを提供できることが大切です。特定の企業に偏らず、中立な立場が求められます。

継続性
継続性を担保することが求められます。企業の業績の変動等の理由で支援が中断されるようなことがなく、継続的にサポートを続けることが重要です。

全国学校軽音楽部協会への
ご寄付をお願いします

音楽・楽器ファンの方や軽音楽部の顧問の先生、父兄、OBやOGの皆様、軽音楽部を応援していただけるあらゆる方からのご寄付をお待ちしております。1,000円から受け付けています。

寄付に関するお申し込みはホームページをご覧ください。
https://keionkyo.org/sanjyo/

特定非営利活動法人（NPO法人）
全国学校軽音楽部協会
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央 1-37-6-405
TEL：045-913-0901　FAX：045-913-1900
MAIL：info@keionkyo.org　URL：www.keionkyo.org
軽音協 検索

軽音協の活動は皆様の寄付金で成り立っています

当協会の理念や活動内容にご賛同いただける方々のご支援をお待ちしております

軽音楽部は バランスの取れた 部活動です

軽音楽部は高校生の間で人気の高い部活動です。軽音楽部というと「音楽が好き」や「楽器演奏が楽しい」といった点が注目されますが、それだけではありません。バンドに大切なのは**コミュニケーション**と**チームワーク**と**クリエイティビティー**です。軽音楽部は社会に出てから必要とされるこれらの能力を音楽やバンド活動を通して学ぶことができる部活動です。

コミュニケーション力を育む

バンド活動はメンバー同士で相談しないと何も進みません。軽音楽部の活動を通して、自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞くことで「コミュニケーション力」や「協調性」を育むことができます。

チームワークを学ぶ

お互いの意見をぶつけ合い、お互いのことを知ることで団結力と仲間意識が生まれます。軽音楽部は文化部でありながら、運動部のような「チームワーク」と「責任感」を学ぶことができます。

クリエイティビティーを磨く

オリジナル曲を作るのはもちろんのこと、既存曲をコピーする際にも自分たちならではの工夫やアイデアを凝らして楽曲を組み立てていくことで、「クリエイティビティー」を磨くことができます。

協会の主な活動と寄付金の使途

出版物の発行

・生徒向け「デジレコ・ジュニア」の発行（年間７回）
・顧問向け「顧問通信」の発行（年間７回）
・大会プログラムの発行（年間 16 冊）

ガイドラインの提案

・大会審査基準／大会審査員
・外部指導員（コーチ）
・標準的な機材の提案

技術指導

・パートごとの実技指導・アンサンブル指導
・音楽理論や作詞／作曲講座
・音作り、楽器＆電気の知識、音響の指導

合同演奏会・発表会の企画

・複数校の合同演奏会のコーディネート
・公共施設、地域行事などでの演奏会の企画
・音楽合宿のできるホテルの紹介

講評・審査員・外部コーチ

・合同演奏会のコメンテーター
・大会などのコンテストの審査員
・外部指導員（コーチ）の紹介　＊予定

他校・他県の情報

・顧問研修会＆交流会
・新任顧問のための初級技術講習会
・県を跨ぐ顧問交流のコーディネート

機材選び

・予算に応じた楽器や機材選びのアドバイス
・騒音問題を解決する「オール電化」の提案
・サイレント・スタジオのデモンストレーション

販売／リース

・予算に応じた楽器や機材選びのアドバイス
・少ない初期投資で機材を揃えられるリース
・楽器や機材の販売、説明、メンテナンス

高等学校文化連盟軽音楽専門部／高等学校軽音楽連盟 連絡先一覧

これは各都道府県の高等学校文化連盟軽音楽専門部、および高等学校軽音楽連盟の連絡先です。各組織に参加することで公式大会に参加したり、他校の顧問の先生と交流する機会が増えます。下記に掲載されていない県の高等学校の軽音楽系部活動の顧問の先生で、県をまとめて組織化しようと思われる方は全国学校軽音楽部協会（info@keionkyo.org）までご一報ください。高等学校の軽音楽部の発展を目指して、頑張りましょう。

	都道府県	団体名	学校数	生徒数	連絡先
北海道	北海道	北海道高等学校文化連盟軽音楽専門部	44校 (45団体)	1,392名	【田澤英貴／委員長】北海道札幌厚別高等学校
東北	岩手県	岩手県高等学校文化連盟軽音楽専門部	21校	614名	【木村 健／専門部理事】岩手県立盛岡南高等学校
	宮城県	宮城県高等学校文化連盟軽音楽専門部	38校	約1,723名	【平澤和昭／軽音楽専門部理事】尚絅学院高等学校
関東	茨城県	茨城県高等学校軽音楽連盟	7校	269名	【髙野陽輔／委員長】茨城県立竹園高等学校
	埼玉県	埼玉県高等学校軽音楽連盟	60校	約2,100名	【齋藤教雄／事務局長】埼玉県立浦和高等学校
	千葉県	千葉県高等学校軽音楽連盟	24校	約500名	【島 晴己子／委員長】東海大学付属浦安高等学校・中等部
	東京都	東京都高等学校文化連盟軽音楽部門 東京都高等学校軽音楽連盟	126校	約7,000名	【佐々木弘人／委員長】成女高等学校
	神奈川県	神奈川県高等学校文化連盟軽音楽専門部会 神奈川県高等学校軽音楽連盟	80校	約4,000名	【橘 秀樹／委員長】神奈川県立弥栄高等学校
中部	長野県	長野県高等学校文化連盟軽音楽専門部	66校	2,123名	【金山幸信／事務局長】長野県野沢南高等学校
	静岡県	静岡県高等学校文化連盟軽音楽専門部	19校	931名	【小澤知彦／専門部長】静岡県立静岡西高等学校
	愛知県	愛知県高等学校軽音楽連盟	11校	450名	【中村弘之／委員長】名古屋経済大学市邨高等学校
近畿	奈良県	奈良県高等学校軽音楽連盟	7校	350名	【渡邉敬久／事務局長】奈良育英中学校高等学校
	滋賀県	滋賀県高等学校軽音楽部会	15校	約500名	【村田 良／代表幹事】滋賀県立大津清陵高等学校通信部
	京都府	京都府高等学校軽音楽連盟	17校	600名	【中川龍一／委員長】京都光華高等学校
	大阪府	大阪府高等学校芸術文化連盟軽音楽部会 高等学校軽音楽部連盟大阪	104校 (105団体)	約3,000名	【追田和哉／運営委員】大阪府立平野高等学校
	兵庫県	高等学校軽音楽部連盟兵庫	32校	1,406名	【岡崎宏省／連盟長】兵庫県立武庫荘総合高等学校
	和歌山県	和歌山県高等学校文化連盟軽音楽部会 和歌山県高等学校軽音楽連盟	9校	約340名	【横出加津彦／代表理事】和歌山県立粉河高等学校
中国	広島県	広島県高等学校文化連盟軽音楽専門部 広島県高等学校軽音楽連盟	24校	約1,000名	【井上伸明／委員長】広島県立五日市高等学校
四国	高知県	高知県高等学校文化連盟軽音楽専門部	20校	600名	【横田直祐／事務局長】高知県立窪川高等学校
九州・沖縄	福岡県	福岡県高等学校軽音楽連盟	18校	600名	【大谷伸弥／委員長・事務局長】福岡県立筑前高等学校
	熊本県	熊本県高等学校軽音楽連盟	14校	約250名	【森 宏之／理事長】熊本県立済々黌高等学校
	沖縄県	沖縄県高等学校文化連盟軽音楽専門部	43校	約430名	【波平貢司／委員長】沖縄県立球陽高等学校
		合計	799校	30,178名	

□ は専門部のある都道府県を意味します　　2020年10月15日現在、敬称略

配布校募集！

全国の高等学校で、軽音楽部のある2,038校に無料配布しています。

この欄に記載されていない高等学校で本誌を希望される場合は、お手数ですが、当協会までご一報ください。また、誌面に対するご意見・ご要望などがありましたら下記までお寄せください。
本誌は広告収入で成り立っており、配布に関する費用は一切、かかりません。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会　TEL：045-913-0901 / FAX：045-913-1900

■北海道

6187 旭川市 旭川実業高等学校 軽音楽サークル
6190 旭川市 旭川明成高等学校 軽音楽部
6239 旭川市 北海道旭川東高等学校 軽音楽同好会
6240 旭川市 北海道旭川南高等学校 音楽同好会
6233 虻田郡 北海道ニセコ高等学校 音楽部
6246 伊達市 北海道伊達高等学校 軽音楽部
6465 磯谷郡 北海道黒越高等学校 音楽同好会
6221 河西郡 白樺学園高等学校 軽音楽同好会
6259 岩見沢市 北海道岩見沢農業高等学校 軽音楽部
6350 空知郡 北海道上富良野高等学校 音楽同好会
6412 空知郡 北海道南幌高等学校 軽音楽部
9516 釧路市 釧路工業高等専門学校 軽音楽部
6266 釧路市 北海道釧路湖陵高等学校 音楽研究部
6281 厚岸郡 北海道厚岸翔洋高等学校 軽音楽部
6450 厚岸郡 北海道霧多布高等学校 軽音楽愛好会
6186 江別市 とわの森三愛高等学校 軽音楽部
6287 根室市 北海道根室高等学校 ロック同好会
6197 札幌市 札幌山の手高等学校 軽音楽部
6199 札幌市 札幌新陽高等学校 軽音楽部
6201 札幌市 札幌静修高等学校 軽音楽部
6203 札幌市 札幌大谷高等学校 音楽同好会
6292 札幌市 市立札幌旭丘高等学校 創楽部
6321 札幌市 市立札幌平岸高等学校 軽音楽部
6218 札幌市 東海大学付属札幌高等学校 軽音楽部
4455 札幌市 北海道芸術高等学校 軽音部
6303 札幌市 北海道札幌英藍高等学校 ギター部
6296 札幌市 北海道札幌琴似工業高等学校 軽音部
6300 札幌市 北海道札幌厚別高等学校 軽音楽部
6305 札幌市 北海道札幌新川高等学校 軽音楽部
6308 札幌市 北海道札幌西高等学校 軽音楽部
6312 札幌市 北海道札幌東高等学校 フォークソング部
6313 札幌市 北海道札幌東商業高等学校 軽音楽部
6316 札幌市 北海道札幌南高等学校 軽音部
6320 札幌市 北海道札幌平岡高等学校 軽音楽部
6322 札幌市 北海道札幌北高等学校 軽音楽部
6475 札幌市 北星学園女子中学高等学校 軽音楽部
6391 山越郡 北海道長万部高等学校 軽音楽部
6193 室蘭市 海星学院高等学校 軽音楽部
6334 室蘭市 北海道室蘭東翔高等学校 軽音楽部
6210 小樽市 小樽明峰高等学校 軽音部
6213 小樽市 双葉高等学校 音楽同好会
6340 小樽市 北海道小樽桜陽高等学校 軽音楽部
6342 小樽市 北海道小樽水産高等学校 軽音楽部
6343 小樽市 北海道小樽潮陵高等学校 軽音楽部
6339 小樽市 北海道未来創造高等学校 軽音楽部
6425 上川郡 北海道美瑛高等学校 軽音楽部
6214 帯広市 帯広大谷高等学校 軽音楽部
6381 滝川市 北海道滝川工業高等学校 軽音楽部
6232 中川郡 北海道おといねっぷ美術工芸高等学校 軽音楽部
6426 中川郡 北海道美深高等学校 軽音楽部
6195 中川郡 北海道幕別清陵高等学校 軽音楽部
9529 苫小牧市 苫小牧高等商業学校 軽音楽部
6405 苫小牧市 北海道苫小牧総合経済高等学校 軽音楽部
6209 函館市 市立函館高等学校 軽音楽部
6222 函館市 函館ラ・サール高等学校 一般音楽部
6416 函館市 北海道函館工業高等学校 軽音楽部
6420 函館市 北海道函館中部高等学校 LMC（軽音楽部）
6423 美唄市 北海道美唄尚栄高等学校 軽音楽部
6424 美唄市 北海道美唄聖華高等学校 軽音楽部
6388 標津郡 北海道中標津高等学校 音楽研究部
6231 幌泉郡 北海道えりも高等学校 軽音楽部
6460 紋別郡 北海道雄武高等学校 軽音楽部
6451 勇払郡 北海道鵡川高等学校 軽音楽部
6471 礼文郡 北海道礼文高等学校 軽音楽部

■青森県

4461 むつ市 青森県立むつ工業高等学校 吹奏楽部軽音部門
4457 むつ市 青森県立田名部高等学校 軽音楽サークル
4463 五所川原市 青森県立五所川原高等学校 軽音楽同好会
4466 五所川原市 青森県立五所川原農林高等学校 軽音楽同好会
4479 弘前市 弘前学院聖愛高等学校 軽音楽部
4478 弘前市 弘前東高等学校 ギター部
4470 弘前市 青森県立弘前高等学校 軽音楽部
4480 黒石市 青森県立黒石高等学校 軽音楽部
4501 青森市 青森県立青森高等学校 軽音楽部
4509 青森市 青森県立北斗高等学校 軽音楽部
4531 八戸市 向陵高等学校 軽音楽部
4522 八戸市 青森県立八戸中央高等学校 軽音楽愛好会
4530 八戸市 千葉学園高等学校 軽音楽愛好会
4526 八戸市 八戸聖ウルスラ学院高等学校 軽音楽愛好会
4533 平川市 青森県立尾上総合高等学校 軽音楽愛好会
4535 北津軽郡 青森県立板柳高等学校 ギター部

■岩手県

4545 一関市 一関修紅高等学校 ギター同好会
4538 一関市 岩手県立一関第一高等学校 軽音楽部
4549 奥州市 岩手県立水沢高等学校 フォークロック同好会
4553 奥州市 水沢第一高等学校 軽音楽部
4558 花巻市 岩手県立花巻北高等学校 軽音楽部
4567 岩手郡 岩手県立雫石高等学校 軽音楽部
4593 盛岡市 岩手県立盛岡工業高等学校 軽音楽部
9486 盛岡市 岩手県立盛岡青松支援学校 音楽クラブ
4587 盛岡市 岩手県立盛岡第一高等学校 軽音楽部
4589 盛岡市 岩手県立盛岡南高等学校 軽音楽部
4594 盛岡市 岩手県立杜陵高等学校（定時制）音楽部
4598 盛岡市 盛岡スコーレ高等学校 軽音楽部
4602 盛岡市 盛岡誠桜高等学校 軽音楽同好会
4599 盛岡市 盛岡大学附属高等学校 軽音楽部
4603 盛岡市 盛岡中央高等学校 軽音楽部

■秋田県

4623 横手市 秋田県立横手城南高等学校 フォークソング同好会
4630 秋田市 秋田県立秋田高等学校 軽音楽同好会
4633 秋田市 秋田県立秋田北高等学校 軽音楽同好会
4635 秋田市 秋田県立秋田明徳館高等学校 軽音楽部
4634 秋田市 秋田県立新屋高等学校 軽音楽同好会
4644 秋田市 秋田和洋女子高等学校 軽音楽部

■宮城県

4680 遠田郡 宮城県南郷高等学校 軽音楽部
4682 塩竈市 宮城県塩釜高等学校 音楽部
4687 刈田郡 宮城県蔵王高等学校 音楽部
4693 気仙沼市 宮城県気仙沼向洋高等学校 軽音楽部
4691 気仙沼市 宮城県気仙沼高等学校 軽音楽部
4694 気仙沼市 宮城県本吉響高等学校 軽音楽愛好会
4697 宮城郡 宮城県松島高等学校 軽音楽愛好会
4698 宮城郡 宮城県利府高等学校 ギター部
4702 栗原市 宮城県岩ヶ崎高等学校 軽音楽部
4699 栗原市 宮城県築館高等学校 軽音楽部
4705 柴田郡 宮城県柴田高等学校 音楽部（軽音楽）
4716 石巻市 宮城県石巻工業高等学校 フォークソング部
4731 仙台市 宮城県宮城第一高等学校 軽音楽部
4720 仙台市 宮城県宮城野高等学校 軽音楽サークル
4732 仙台市 宮城県工業高等学校 軽音楽愛好会
4750 仙台市 宮城県仙台三桜高等学校 ギター部
4725 仙台市 宮城県仙台第一高等学校 音楽（ギター）部
4730 仙台市 宮城県仙台第二高等学校 ギター部
4752 仙台市 宮城県仙台南高等学校 軽音楽部
4726 仙台市 宮城県仙台二華高等学校 フォークソング研究部
4743 仙台市 宮城県泉高等学校 軽音楽同好会
4737 仙台市 尚絅学院高等学校 軽音楽部
4740 仙台市 常盤木学園高等学校 ボーダーレス部
4728 仙台市 聖ウルスラ学院英智高等学校 軽音楽同好会
4738 仙台市 聖ドミニコ学院高等学校 軽音楽部
9501 仙台市 聖和学園高校 三神峯キャンパス 軽音楽部
4729 仙台市 聖和学園高等学校 薬師堂キャンパス 軽音楽部
4723 仙台市 仙台育英学園高等学校 軽音楽愛好会
4722 仙台市 仙台市立仙台工業高等学校 音楽部
4746 仙台市 仙台市立仙台商業高等学校 軽音楽部
4754 仙台市 仙台城南高等学校 軽音楽部
4747 仙台市 仙台白百合学園高等学校 ギター部
4724 仙台市 東北学院中学校・高等学校 軽音楽部
4739 仙台市 東北高等学校 軽音楽同好会
9523 仙台市 北海道芸術高等学校 仙台サテライトキャンパス ミュージックコース
4742 仙台市 明成高等学校 軽音楽部
4755 多賀城市 宮城県多賀城高等学校 軽音楽部
4756 多賀城市 宮城県貞山高等学校 バンド部
4761 大崎市 宮城県古川黎明高等学校 軽音楽部
4763 大崎市 宮城県鹿島台商業高等学校 軽音楽部
4765 大崎市 大崎中央高等学校 音楽愛好会
4767 登米市 宮城県佐沼高等学校 軽音楽部
4771 登米市 宮城県登米高等学校 軽音楽部
4775 白石市 宮城県白石工業高等学校 軽音楽部
4774 白石市 宮城県白石高等学校 軽音楽部
4776 本吉郡 宮城県志津川高等学校 軽音楽部
4778 名取市 宮城県農業高等学校 軽音楽愛好会
4780 亘理郡 宮城県亘理高等学校 軽音楽同好会

■山形県

6496 山形市 山形県立山形中央高等学校 音楽部
6504 山形市 山本学園高等学校 軽音楽愛好会
6532 山形市 東海大学山形高等学校 軽音楽部
6534 山形市 日本大学山形高等学校 音楽部
6508 酒田市 酒田南高等学校 軽音楽同好会
9519 鶴岡市 鶴岡工業高等専門学校 音楽部
6497 天童市 創学館高等学校 軽音楽愛好会
6538 米沢市 米沢中央高等学校 音楽部

■福島県

6618 いわき市 福島県立湯本高等学校 軽音楽同好会
6559 会津若松市 会津若松ザベリオン学園高等学校 軽音楽同好会
6593 会津若松市 仁愛高等学校 軽音楽部
6614 郡山市 帝京安積高等学校 軽音楽部
6550 郡山市 福島県立安積高等学校 軽音楽同好会
6552 郡山市 福島県立安積黎明高等学校 軽音楽部
6567 郡山市 福島県立郡山高等学校 ギター部
6570 郡山市 福島県立郡山東高等学校 ギター部
6571 郡山市 福島県立郡山商業高等学校 軽音楽部
6572 郡山市 福島県立郡山北工業高等学校 ギター部
6574 郡山市 福島県立湖南高等学校 音楽部
6575 西白河郡 福島県立光南高等学校 軽音楽同好会、シンセサイザー部
6606 相馬市 福島県立相馬高等学校 ギター部
6615 田村郡 福島県立田村高等学校 ギター愛好会
6590 福島市 松陽学園福島高等学校 軽音楽部
6637 福島市 福島県立福島西高等学校 ギター部
6640 福島市 福島東稜高等学校 軽音楽愛好会

■東京都

4950 千代田区 クラーク記念国際高等学校 IT 秋葉原キャンパス 軽音楽部
4947 千代田区 錦城学園高等学校 フォークソング部
4940 千代田区 麹町学園女子高等学校 軽音楽部
4954 千代田区 女子学院高等学校 軽音楽部
4956 千代田区 神田女学園高等学校 軽音楽部
4942 千代田区 千代田区立九段中等教育学校 軽音楽部
4949 千代田区 大原学園高等学校 軽音楽部
4946 千代田区 大妻中学高等学校 軽音楽部
4948 千代田区 東京家政学院高等学校 軽音楽部
4941 千代田区 東京都立一橋高等学校 軽音楽部
4940 千代田区 東京都立日比谷高等学校 軽音楽部
4057 千代田区 東洋高等学校 軽音楽部
4952 千代田区 二松學舍大学附属高等学校 ギター部
4957 千代田区 白百合学園中学高等学校 ギター部
4945 千代田区 武蔵野大学附属千代田高等学院 軽音楽同好会
4961 千代田区 和洋九段女子高等学校 ギター部
4955 千代田区 雙葉高等学校 軽音楽部
4065 中央区 日本橋女学館高等学校 軽音楽部
4825 港区 慶應義塾女子高等学校 軽音楽部
4824 港区 広尾学園高等学校 軽音楽同好会
4826 港区 高輪高等学校 軽音楽部
4832 港区 山脇学園高等学校 フォークソングクラブ
3988 港区 正則高等学校 軽音楽部
4823 港区 聖心女子学院高等科 軽音楽部
4053 港区 東海大学付属高輪台高等学校 軽音楽部
4831 港区 東京女子学園高等学校 軽音楽部
4819 港区 東京都立三田高等学校 フォークソング部
4820 港区 東京都立芝商業高等学校 軽音楽部
4821 港区 東京都立六本木高等学校 軽音楽部
4833 港区 東洋英和女学院高等部 軽音楽部
4822 港区 麻布高等学校 軽音楽部
4830 港区 頌栄女子学院高等学校 フォークソング部
4874 新宿区 海城高等学校 軽音楽部
3979 新宿区 成女高等学校 LM-CLUB（軽音楽部）
4883 新宿区 早稲田高等学校 軽音楽部
4884 新宿区 大智学園高等学校東京校 音楽部
4869 新宿区 東京都立戸山高等学校 軽音楽部
4870 新宿区 東京都立新宿高等学校 軽音楽部
4872 新宿区 東京都立新宿山吹高等学校 軽音楽部
4871 新宿区 東京都立総合芸術高等学校 軽音楽同好会
4875 新宿区 保善高等学校 軽音楽部
4878 新宿区 目白研心高等学校 軽音楽部
5073 文京区 お茶の水女子大学附属高等学校 MAC 部
5081 文京区 郁文館高等学校 軽音楽同好会
5090 文京区 京華女子中学高等学校 軽音楽部
5089 文京区 京華商業高等学校 ギター部
5087 文京区 京華中学高等学校 ギター部
5086 文京区 桜蔭高等学校 軽音楽部
4037 文京区 跡見学園高等学校 軽音楽部
5092 文京区 村田女子高等学校 軽音楽部
5074 文京区 筑波大学附属高等学校 軽音楽同好会
4051 文京区 中央大学高等学校 軽音楽部
5088 文京区 貞静学園中学高等学校 軽音楽部
5078 文京区 東京都立向丘高等学校 軽音楽部
5077 文京区 東京都立工芸高等学校 音楽部
5075 文京区 東京都立小石川中等教育学校 軽音楽部
5076 文京区 東京都立竹早高等学校 軽音楽部
5085 文京区 東洋女子高等学校 軽音楽部
5108 文京区 日本大学豊山高等学校 音楽部
5091 文京区 文京学院大学女子高等学校 軽音楽部
4059 文京区 獨協中学高等学校 軽音楽部
4980 台東区 岩倉高等学校 ギター同好会
4981 台東区 上野学園高等学校 軽音楽部
4976 台東区 東京都立上野高等学校 軽音楽部
4978 台東区 東京都立浅草高等学校 軽音楽部
4979 台東区 東京都立蔵前工業高等学校 音楽部
4016 台東区 東京都立忍岡高等学校 軽音楽部
4977 台東区 東京都立白鷗高等学校 軽音楽部
5127 墨田区 安田学園高等学校 軽音楽クラブ
5122 墨田区 東京都立橘高等学校 軽音楽部
5123 墨田区 東京都立墨田川高等学校 フォークソング部
5125 墨田区 東京都立本所高等学校 音楽部
5121 墨田区 東京都立両国高等学校 ギター部
3984 墨田区 日本大学第一中学・高等学校 ギター部
5128 墨田区 立志舎高等学校 軽音楽同好会
4817 江東区 かえつ有明高等学校 音楽部
5050 江東区 芝浦工業大学附属中学高等学校 音楽部
4050 江東区 中央学院大学中央高等学校 軽音楽部
4060 江東区 中村高等学校 軽音楽部
4816 江東区 東京都立江東高等学校 軽音楽部
4810 江東区 東京都立城東高等学校 軽音楽部
4005 江東区 東京都立大江戸高等学校 軽音楽部
4814 江東区 東京都立第三商業高等学校 軽音楽部
4815 江東区 東京都立東高等学校 軽音楽部
4812 江東区 東京都立墨田工業高等学校 音楽部
5059 品川区 香蘭女学校高等科 フォークソング部
5053 品川区 東京都立小山台高等学校 弦楽班
5054 品川区 東京都立大崎高等学校 軽音楽部
5055 品川区 東京都立八潮高等学校 軽音楽部
5061 品川区 品川エトワール女子高等学校 軽音楽部
4043 品川区 品川女子学院 軽音楽部
4070 品川区 文教大学付属高等学校 軽音楽部
3981 品川区 朋優学院高等学校 軽音楽部
5134 目黒区 トキワ松学園高等学校 軽音楽部
3990 目黒区 多摩大学目黒高等学校 軽音楽部
5131 目黒区 東京都立駒場高等学校 KMC（軽音楽部）
5132 目黒区 東京都立桜修館中等教育学校 軽音楽部
5130 目黒区 東京都立目黒高等学校 フォークソング部
4068 目黒区 日出高等学校 軽音楽部
5138 目黒区 八雲学園高等学校 軽音楽部
5135 目黒区 目黒学院高等学校 軽音楽部
4039 大田区 蒲田女子高等学校 軽音楽部
4055 大田区 東京高等学校 軽音楽部
4990 大田区 東京実業高等学校 軽音楽部
4985 大田区 東京都立つばさ総合高等学校 軽音楽部
4983 大田区 東京都立蒲田高等学校 ロックバンド部
4982 大田区 東京都立雪谷高等学校 軽音楽部
4988 大田区 東京都立大田桜台高等学校 軽音楽部
4984 大田区 東京都立田園調布高等学校 フォークソング部
4036 大田区 東京都立六郷工科高等学校 軽音楽部
4061 大田区 日本体育大学荏原高等学校 軽音楽部
4991 大田区 立正大学付属立正高等学校 軽音楽同好会
4908 世田谷区 踏友学園女子中学高等学校 軽音楽同好会
4909 世田谷区 下北沢成徳高等学校 軽音楽部
4928 世田谷区 玉川聖学院高等部 軽音楽部
4041 世田谷区 駒場学園高等学校 軽音楽部
4042 世田谷区 駒場東邦高等学校 軽音楽部
4925 世田谷区 駒澤大学高等学校 音楽部
4920 世田谷区 恵泉女学園高等学校 軽音楽部
4923 世田谷区 佼成学園女子高等学校 軽音楽部
4917 世田谷区 国本女子高等学校 軽音楽部
4915 世田谷区 昭和女子大学附属昭和高等学校 軽音楽部
4912 世田谷区 松蔭高等学校 音楽部
9449 世田谷区 世田谷区立桜丘中学校 炎のギター教室
4921 世田谷区 聖ドミニコ学園高等学校 軽音楽部
4926 世田谷区 大東学園高等学校 軽音楽部
4052 世田谷区 田園調布学園高等部 軽音楽部
4901 世田谷区 東京学芸大学附属高等学校 軽音楽部
4922 世田谷区 東京都市大学等々力高等学校 軽音楽部
4919 世田谷区 東京都市大学付属高等学校 軽音楽部
4905 世田谷区 東京都立芦花高等学校 軽音楽部
4907 世田谷区 東京都立園芸高等学校 軽音楽部
3983 世田谷区 東京都立桜町高等学校 軽音楽部
4033 世田谷区 東京都立松原高等学校 軽音楽部
4904 世田谷区 東京都立深沢高等学校 軽音楽部
4019 世田谷区 東京都立世田谷総合高等学校 軽音楽部
4902 世田谷区 東京都立千歳丘高等学校 軽音楽部
4906 世田谷区 東京都立総合工科高等学校 軽音楽同好会
4916 世田谷区 東京農業大学第一高等学校 音楽部軽音班
4063 世田谷区 日本学園高等学校 軽音楽部
4927 世田谷区 日本女子体育大学附属二階堂高等学校 音楽部
4930 世田谷区 目黒星美学園高等学校 軽音楽同好会
4854 渋谷区 関東国際高等学校 フォークロック部
3996 渋谷区 実践女子学園高等学校 軽音楽部
4852 渋谷区 実践女子学園高等学校 軽音楽部
4855 渋谷区 渋谷教育学園渋谷高等学校 軽音楽部
4857 渋谷区 東海大学付属望星高等学校 音楽部
4850 渋谷区 東京女学館高等学校 軽音楽部
4030 渋谷区 東京都立広尾高等学校 軽音楽部
4847 渋谷区 東京都立青山高等学校 軽音楽部
3985 渋谷区 東京都立第一商業高等学校 軽音楽部
4853 渋谷区 富士見丘高等学校 フォークソング部
4849 渋谷区 國學院高等学校 ギター部
4062 中野区 新渡戸文化高等学校 軽音楽部
4038 中野区 大妻中野高等学校 ポピュラーミュージック部
5000 中野区 東亜学園高等学校 ライトミュージック部
3995 中野区 東京都立鷺宮高等学校 軽音楽部
4995 中野区 東京都立中野工業高等学校 音楽部
4994 中野区 東京都立富士高等学校 軽音楽部
4344 中野区 東京都立武蔵丘高等学校 軽音楽部
4996 中野区 東京都立稔ヶ丘高等学校 軽音楽部
4997 中野区 宝仙学園高等学校 軽音楽部
4999 中野区 堀越高等学校 軽音楽部
4046 杉並区 女子美術大学付属高等学校 ギター部
4893 杉並区 杉並学院中学高等学校 フォークソング部
4895 杉並区 専修大学附属高等学校 軽音楽部
3980 杉並区 中央大学杉並高等学校 音楽部
4008 杉並区 東京都立荻窪高等学校 軽音楽部
4889 杉並区 東京都立杉並高等学校 軽音楽部
4891 杉並区 東京都立杉並総合高等学校 軽音楽部
4886 杉並区 東京都立西高等学校 軽音楽同好会
4888 杉並区 東京都立豊多摩高等学校 軽音楽部
4056 杉並区 東京立正高等学校 軽音楽部
4064 杉並区 日本大学第二高等学校 フォークソング部
4898 杉並区 文化学園大学杉並高等学校 軽音楽部
4899 杉並区 立教女学院高等学校 音楽部
5098 豊島区 学習院高等科 フォークソング同好会
5104 豊島区 十文字高等学校 軽音楽同好会
5106 豊島区 淑徳巣鴨高等学校 音楽研究部
5096 豊島区 城西大学附属城西中学・高等学校 ギター部
4023 豊島区 東京都立千早高等学校 軽音楽部
4058 豊島区 豊島岡女子学園中学校・高等学校 軽音楽部
5097 豊島区 豊島学院高等学校 音楽部
4071 豊島区 豊南高等学校 軽音楽部
4072 豊島区 本郷高等学校 軽音楽部
5109 北区 安部学院高等学校 軽音楽クラブ
5117 北区 桜丘高等学校 軽音楽部
5118 北区 駿台学園高等学校 軽音楽部
5115 北区 女子聖学院高等学校 軽音楽部
5116 北区 成立学園高等学校 軽音楽同好会
4781 北区 瀧野川女子学園高等学校 軽音楽部
5111 北区 東京成徳大学高等学校 軽音楽部
4002 北区 東京都立王子総合高等学校 軽音楽部
5107 北区 東京都立桐ケ丘高等学校 軽音楽部
3999 北区 東京都立飛鳥高等学校 軽音楽部
5114 北区 武蔵野中学高等学校 軽音楽部
4836 荒川区 開成学園開成高等学校 軽音楽部
4835 荒川区 東京都立荒川工業高等学校 軽音楽部
9509 荒川区 東京都立産業技術高等専門学校 民謡研究部
4834 荒川区 東京都立竹台高等学校 軽音楽部
4044 板橋区 城北高等学校 軽音楽部
4049 板橋区 大東文化大学第一高等学校 軽音楽部
4054 板橋区 東京家政大学附属女子高等学校 軽音楽部
4020 板橋区 東京都立高島高等学校 軽音楽部
4006 板橋区 東京都立大山高等学校 軽音楽部
5044 板橋区 東京都立板橋高等学校 軽音楽部
5046 板橋区 東京都立板橋有徳高等学校 フォークソング部
5043 板橋区 東京都立北園高等学校 フリーミュージック部
5045 板橋区 東京都立北豊島工業高等学校 軽音楽部
5052 板橋区 日本大学豊山女子高等学校 軽音楽部
5152 練馬区 早稲田大学高等学院 フォークソング部
5143 練馬区 東京学芸大学附属国際中等教育学校 音楽部
5147 練馬区 東京都立光丘高等学校 軽音楽部
4017 練馬区 東京都立石神井高等学校 軽音楽部
4004 練馬区 東京都立大泉高等学校 軽音楽部
5148 練馬区 東京都立大泉桜高等学校 アコースティックギター部
5149 練馬区 東京都立第四商業高等学校 軽音楽部
4025 練馬区 東京都立練馬工業高等学校 軽音楽部
5145 練馬区 東京都立練馬高等学校 軽音楽部
4069 練馬区 富士見中学高等学校 音楽部
5151 練馬区 武蔵高等学校 音楽部内音楽班
4971 足立区 潤徳女子高等学校 軽音楽部
4969 足立区 足立学園高等学校 軽音楽部
4962 足立区 東京都立江北高等学校 音楽村
4968 足立区 東京都立荒川商業高等学校 ロック部
3997 足立区 東京都立青井高等学校 音楽村
4967 足立区 東京都立足立工業高等学校 軽音楽部
4964 足立区 東京都立足立高等学校 足立音楽村
4000 足立区 東京都立足立新田高等学校 軽音楽部
4001 足立区 東京都立足立西高等学校 軽音楽部
4965 足立区 東京都立足立東高等学校 音楽館
4963 足立区 東京都立淵江高等学校 軽音楽部
4797 葛飾区 東京都立葛飾商業高等学校 軽音楽部
4011 葛飾区 東京都立葛飾総合高等学校 軽音楽部
4794 葛飾区 東京都立葛飾野高等学校 軽音楽部
4796 葛飾区 東京都立南葛飾高等学校 軽音楽部
4795 葛飾区 東京都立農産高等学校 軽音楽部
4809 江戸川区 関東第一高等学校 軽音楽部
4009 江戸川区 東京都立葛西工業高等学校 軽音楽部
4010 江戸川区 東京都立葛西南高等学校 軽音楽部
4804 江戸川区 東京都立江戸川高等学校 ミュージック部
4803 江戸川区 東京都立紅葉川高等学校 軽音楽部
4806 江戸川区 東京都立篠崎高等学校 軽音楽部
4805 江戸川区 東京都立小岩高等学校 軽音楽部
4802 江戸川区 東京都立小松川高等学校 フォークサークル部
4790 あきる野市 東海大学菅生高等学校 軽音楽部
4789 あきる野市 東京都立五日市高等学校 軽音楽部
4792 稲城市 駒沢学園女子中学校・高等学校 軽音楽部
4791 稲城市 東京都立若葉総合高等学校 軽音楽同好会
4793 羽村市 東京都立羽村高等学校 軽音楽部
4839 国分寺市 早稲田大学系属早稲田実業学校 軽音楽同好会
4842 国立市 桐朋高等学校 ルーツミュージック・ソサエティー
4013 国立市 東京都立国立高等学校 民族音楽研究部
4840 国立市 東京都立第五商業高等学校 軽音楽部
4843 国立市 日本放送協会学園高等学校 軽音楽部
4844 狛江市 東京都立狛江高等学校 軽音楽部
4048 三鷹市 大成高等学校 ギター部
4845 三鷹市 東京都立三鷹中等教育学校 音楽部・軽音楽部

3993 三鷹市 法政大学高等学校 音楽部
4034 三宅島 東京都立三宅高等学校 軽音楽部
4787 小笠原村 東京都立小笠原高等学校 軽音楽部
4861 小金井市 国際基督教大学高等学校 Rock 部
4858 小金井市 東京都立小金井北高等学校 フォークソング部
4860 小金井市 東京都立多摩科学技術高等学校 軽音楽部
3989 小平市 鎌城高等学校 軽音楽部
4015 小平市 東京都立小平高等学校 軽音楽部
3994 小平市 東京都立小平西高等学校 軽音楽部
4865 小平市 白梅学園高等学校 軽音楽部
4026 昭島市 東京都立拝島高等学校 軽音楽部
4784 新島村 東京都立新島高等学校 軽音楽部
4785 神津島村 東京都立神津高等学校 軽音楽部
4012 清瀬市 東京都立清瀬高等学校 民族音楽部
4933 西多摩郡 東京都立瑞穂農芸高等学校 軽音楽部
4936 西東京市 東京都立田無工業高等学校 軽音楽部
3992 西東京市 東京都立保谷高等学校 現代音楽部
4938 西東京市 武蔵野女子学院中学校等学校 軽音楽部
4937 西東京市 文華女子高等学校 軽音楽部
4003 青梅市 東京都立青梅総合高等学校 軽音楽部
4939 青梅市 東京都立多摩高等学校 軽音楽部
4973 多摩市 大妻多摩高等学校 軽音楽部
4972 多摩市 東京都立永山高等学校 軽音楽部
4783 大島町 東京都立大島海洋国際高等学校 音楽部
3991 町田市 桜美林高等学校 軽音楽部
4007 町田市 東京都立小川高等学校 軽音楽部
5005 町田市 東京都立町田工業高等学校 ギター部
5003 町田市 東京都立町田高等学校 軽音楽同好会
5007 町田市 東京都立町田総合高等学校 軽音楽部
5006 町田市 東京都立野津田高等学校 軽音部
5012 町田市 和光高等学校 ロック研究部
4018 調布市 東京都神代高等学校 アコースティックギター部
5013 調布市 東京都立調布南高等学校 音楽同好会
4024 調布市 東京都立調布北高等学校 軽音楽部
5018 東久留米市 東京都立久留米西高等学校 ギター部
5017 東久留米市 東京都立東久留米総合高等学校 軽音楽部
5020 東村山市 東京都立東村山高等学校 ライトミュージック部
4028 東村山市 東京都立東村山西高等学校 軽音楽部
5021 東村山市 日体桜葉高等学校 軽音部
4073 東村山市 明治学院東村山高等学校 軽音楽部
5022 東村山市 明法高等学校 軽音楽同好会
5023 東大和市 東京都立東大和高等学校 フォークソング部
4029 日野市 東京都立日野高等学校 軽音楽部
5025 日野市 東京都立日野台高等学校 軽音楽同好会
5035 八王子市 穎明館高等学校 軽音楽部
5040 八王子市 共立女子第二高等学校 サウンドソサエティ部
3982 八王子市 工学院大学附属高等学校 軽音楽部
4047 八王子市 聖パウロ学園高等学校 軽音楽部
5041 八王子市 帝京八王子高等学校 軽音楽部
9504 八王子市 東京工業高等専門学校 軽音楽部
5042 八王子市 東京純心女子高等学校 軽音楽部
5033 八王子市 東京都立松が谷高等学校 軽音楽部
5029 八王子市 東京都立八王子桑志高等学校 軽音楽部
4027 八王子市 東京都立八王子北高等学校 軽音楽部
5032 八王子市 東京都立富士森高等学校 軽音楽部
4066 八王子市 八王子学園八王子高等学校 ギター部
4067 八王子市 八王子実践高等学校 軽音楽部
5064 府中市 東京都立農業高等学校 サウンド部
4031 府中市 東京都立府中工業高等学校 軽音楽部
5062 府中市 東京都立府中高等学校 ポピュラーソング部
3986 府中市 東京都立府中西高等学校 軽音楽部
5063 府中市 東京都立府中東高等学校 軽音楽部
3987 府中市 明星中学高等学校 軽音楽部
5067 武蔵村山市 拓殖大学第一高等学校 フォークソング同好会
5066 武蔵村山市 東京都立上水高等学校 軽音楽部
3978 武蔵村山市 東京都立武蔵村山高等学校 軽音楽部
5069 武蔵野市 吉祥女子高等学校 軽音楽・フォークソング部
5070 武蔵野市 聖徳学園高等学校 軽音楽同好会
4035 武蔵野市 東京都立武蔵高等学校 軽音楽部
5072 武蔵野市 藤村女子高等学校 軽音楽同好会
4021 福生市 東京都立多摩工業高等学校 軽音楽部
4032 福生市 東京都立福生高等学校 ロック部
4045 立川市 昭和第一学園高等学校 軽音楽部
5141 立川市 東京都立砂川高等学校 軽音楽部
4022 立川市 東京都立立川高等学校 Music Create Club
5142 立川市 立川女子高等学校 軽音楽部

■神奈川県

6780 横浜市 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 軽音楽部
6786 横浜市 横浜市立東高等学校 軽音楽部
6813 横浜市 橘学苑中学校・高等学校 軽音楽部
6890 横浜市 神奈川県立鶴見高等学校 軽音楽部
6891 横浜市 神奈川県立鶴見総合高等学校 軽音楽部
6865 横浜市 聖ヨゼフ学園中学校・高等学校 軽音楽部
6900 横浜市 白鵬女子高等学校 軽音楽部
6911 横浜市 法政大学女子高等学校 軽音楽部
4149 横浜市 横浜創英中学・高等学校 軽音楽部
6850 横浜市 神奈川学園中学校・高等学校 軽音楽部
4148 横浜市 神奈川県立横浜翠嵐高等学校 ポピュラーソング部
6844 横浜市 神奈川県立城郷高等学校 軽音楽部
6851 横浜市 神奈川県立神奈川工業高等学校 音楽部
6852 横浜市 神奈川県立神奈川総合高等学校 軽音楽部
6876 横浜市 捜真女学校中学部・高等学部 軽音部
4151 横浜市 神奈川県立横浜平沼高等学校 軽音楽部
6758 横浜市 フェリス女学院中学校・高等学校 ポピュラーミュージック部
4141 横浜市 横浜市立みなと総合高等学校 軽音楽部
6799 横浜市 横浜雙葉中学校・高等学校 軽音楽部
6797 横浜市 神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校 軽音楽部
4122 横浜市 中央大学附属横浜中学校・高等学校 軽音楽部
6781 横浜市 横浜市立横浜商業高等学校 軽音楽部
6782 横浜市 横浜市立横浜総合高等学校 軽音楽部
6779 横浜市 神奈川県立横浜国際高等学校 軽音楽部
6792 横浜市 神奈川県立横浜清陵高等学校 軽音楽部
4145 横浜市 青山学院横浜英和中学高等学校 フォークソング部
6785 横浜市 横浜市立桜丘高等学校 SBC 部
6791 横浜市 横浜清風高等学校 フォークソング部
6817 横浜市 神奈川県立光陵高等学校 LMC 部
6835 横浜市 神奈川県立商工高等学校 軽音楽部
6910 横浜市 神奈川県立保土ヶ谷高等学校 軽音楽部
6776 横浜市 横浜学園高等学校 軽音楽部
4083 横浜市 神奈川県立磯子工業高等学校 軽音楽部
6902 横浜市 神奈川県立横浜氷取沢高等学校 軽音楽部
6778 横浜市 横浜高等学校 音楽部（軽音楽）
6783 横浜市 横浜市立金沢高等学校 軽音楽部
6793 横浜市 横浜創学館高等学校 軽音楽部
6810 横浜市 関東学院六浦中学校・高等学校 軽音楽部
6802 横浜市 神奈川県立釜利谷高等学校 軽音楽部
6815 横浜市 神奈川県立金沢総合高等学校 軽音楽部
6826 横浜市 高木学園女子高等学校 軽音楽同好会
6811 横浜市 神奈川県立岸根高等学校 軽音楽部
4098 横浜市 神奈川県立港北高等学校 軽音楽部
6861 横浜市 清心女子高等学校 軽音楽部
6903 横浜市 武相高等学校 軽音楽部
6784 横浜市 横浜市立戸塚高等学校 軽音楽部
4146 横浜市 神奈川県立横浜桜陽高等学校 軽音楽部
6843 横浜市 神奈川県立上矢部高等学校 フォークソング部
6904 横浜市 神奈川県立舞岡高等学校 フォークソング部
6787 横浜市 横浜市立南高等学校 軽音楽部
6767 横浜市 神奈川県立永谷高等学校 軽音楽部
6794 横浜市 神奈川県立横浜南陵高等学校 軽音楽部
6796 横浜市 神奈川県立横浜立野高等学校 軽音楽部
6789 横浜市 横浜商科大学高等学校 軽音楽部
6795 横浜市 横浜富士見丘学園中等教育学校 軽音楽部
6761 横浜市 神奈川県立旭高等学校 軽音楽部
4094 横浜市 神奈川県立希望ヶ丘高等学校 軽音楽部
6860 横浜市 星槎高等学校 軽音楽部
6790 横浜市 横浜翠陵高等学校 軽音楽部
4129 横浜市 神奈川県立白山高等学校 ギター部
4095 横浜市 神奈川県立霧が丘高等学校 軽音楽部
4150 横浜市 横浜隼人高等学校 軽音楽部
6859 横浜市 神奈川県立瀬谷高等学校 フォークソング部
4115 横浜市 神奈川県立瀬谷西高等学校 軽音楽部
6829 横浜市 山手学院高等学校 軽音楽部
6775 横浜市 神奈川県立横浜栄高等学校 軽音楽部
4089 横浜市 神奈川県立金井高等学校 軽音楽部
6899 横浜市 神奈川県立柏陽高等学校 軽音楽部
4107 横浜市 秀英高等学校 軽音楽部
4147 横浜市 神奈川県立横浜修悠館高等学校
6798 横浜市 神奈川県立横浜緑園高等学校 軽音楽部
4110 横浜市 神奈川県立松陽高等学校 軽音楽部
9488 横浜市 桐蔭学園高等学校 軽音楽部
9453 横浜市 桐蔭学園中校男子部 軽音楽部
4142 横浜市 神奈川県立元石川高等学校 軽音楽部
6831 横浜市 神奈川県立市ヶ尾高等学校 軽音楽部
6894 横浜市 神奈川県立田奈高等学校 軽音楽部
4106 横浜市 サレジオ学院中学校高等学校 軽音楽部
6765 横浜市 神奈川県立荏田高等学校 軽音楽部
6846 横浜市 神奈川県立新栄高等学校 バンド部
6874 横浜市 神奈川県立川和高等学校 軽音楽部
6759 愛甲郡 神奈川県立愛川高等学校 軽音楽部
6762 綾瀬市 神奈川県立綾瀬高等学校 軽音楽部
6763 綾瀬市 神奈川県立綾瀬西高等学校 軽音楽部
6832 伊勢原市 自修館中等教育学校 軽音楽同好会
4081 伊勢原市 神奈川県立伊志田高等学校 軽音楽部
4082 伊勢原市 神奈川県立伊勢原高等学校 軽音楽部
6768 横須賀市 横須賀学院高等学校 軽音楽部
6771 横須賀市 横須賀市立横須賀総合高等学校 Play&Produce 部
4140 横須賀市 三浦学苑高等学校 軽音楽同好会
4108 横須賀市 湘南学院高等学校 ギター部
6769 横須賀市 神奈川県立横須賀工業高等学校 軽音楽部
6772 横須賀市 神奈川県立横須賀大津高等学校 現代音楽部
6773 横須賀市 神奈川県立横須賀明光高等学校 現代音楽部
6800 横須賀市 神奈川県立海洋科学高等学校 音楽部
6883 横須賀市 神奈川県立大楠高等学校 軽音楽同好会
6888 横須賀市 神奈川県立津久井浜高等学校 ロック部
6889 横須賀市 神奈川県立追浜高等学校 フォークソング部
6801 海老名市 神奈川県立海老名高等学校 フォークソング部
4123 海老名市 神奈川県立中央農業高等学校 軽音楽部
4079 海老名市 神奈川県立有馬高等学校 軽音楽部
6766 鎌倉市 栄光学園高等学校 Rock Music 愛好会
6803 鎌倉市 鎌倉学園高等学校 フォークソング同好会
6804 鎌倉市 神奈川県立鎌倉高等学校 日歌会
6833 鎌倉市 神奈川県立七里ガ浜高等学校 軽音楽部
6849 鎌倉市 神奈川県立深沢高等学校 軽音部
4086 鎌倉市 神奈川県立大船高等学校 軽音楽部
6862 鎌倉市 清泉女学院中学高等学校 軽音楽部
6807 茅ヶ崎市 神奈川県立茅ヶ崎高等学校 軽音楽部
4120 茅ヶ崎市 神奈川県立茅ヶ崎西浜高等学校 軽音楽同好会
4121 茅ヶ崎市 神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校 軽音楽部
6893 茅ヶ崎市 神奈川県立鶴嶺高等学校 軽音楽部
6821 厚木市 厚木中央高等学校 軽音楽部
4076 厚木市 神奈川県立厚木高等学校 軽音楽部
6819 厚木市 神奈川県立厚木商業高等学校 軽音楽部
6820 厚木市 神奈川県立厚木清南高等学校 軽音楽部
4077 厚木市 神奈川県立厚木西高等学校 軽音楽部
4078 厚木市 神奈川県立厚木東高等学校 軽音楽部
6822 厚木市 神奈川県立厚木北高等学校 軽音楽部
6808 高座郡 神奈川県立寒川高等学校 軽音楽部
6827 座間市 神奈川県立座間高等学校 軽音楽部
4105 座間市 神奈川県立座間総合高等学校 軽音楽部
4100 座間市 神奈川県立相模向陵館高等学校 軽音楽部
6909 三浦市 三浦初声高等学校 軽音楽部
6828 三浦市 神奈川県立三浦臨海高等学校 総合音楽部
6760 小田原市 旭丘高等学校 軽音楽部
6836 小田原市 神奈川県立小田原高等学校 軽音楽部
6837 小田原市 神奈川県立小田原城北工業高等学校（定時制）軽音楽部
4087 小田原市 神奈川県立小田原総合ビジネス高等学校 軽音楽部
4114 小田原市 神奈川県立西湘高等学校 電気音楽部
6880 小田原市 相洋高等学校 軽音楽部
6855 秦野市 神奈川県立秦野高等学校 サウンド研究部
4131 秦野市 神奈川県立秦野曽屋高等学校 軽音楽部
6856 秦野市 神奈川県立秦野総合高等学校 軽音楽部
6857 逗子市 神奈川県立逗子高等学校 フォークソング部
6858 逗子市 神奈川県立逗葉高等学校 軽音楽部
4113 逗子市 逗子開成中学校・高等学校 軽音楽部
6756 川崎市 カリタス女子中学高等学校 軽音楽部
6814 川崎市 桐光学園高等学校 ギター部
6823 川崎市 神奈川県立向の岡工業高等学校 軽音楽部
6834 川崎市 神奈川県立住吉高等学校 軽音楽部
6847 川崎市 神奈川県立新城高等学校 軽音楽部
4112 川崎市 神奈川県立菅高等学校 軽音楽部
6863 川崎市 神奈川県立生田高等学校 軽音楽部
4080 川崎市 神奈川県立生田東高等学校 軽音楽部
6869 川崎市 神奈川県立川崎工科高等学校 軽音楽部
4092 川崎市 神奈川県立川崎高等学校 軽音楽部
4093 川崎市 神奈川県立川崎北高等学校 軽音楽部
4119 川崎市 神奈川県立多摩高等学校 軽音楽部
4117 川崎市 神奈川県立大師高等学校 軽音楽部
4144 川崎市 神奈川県立百合丘高等学校 軽音楽部
6913 川崎市 神奈川県立麻生高等学校 軽音楽部
6914 川崎市 神奈川県立麻生総合高等学校 軽音楽部
6870 川崎市 川崎市立橘高等学校 軽音楽部
4084 川崎市 川崎市立幸高等学校 軽音楽部
6871 川崎市 川崎市立高津高等学校 軽音楽部
6872 川崎市 川崎市立川崎高等学校（定時制）音楽部
6873 川崎市 川崎市立川崎総合科学高等学校 軽音楽部
4116 川崎市 洗足学園中学高等学校 軽音楽部
4128 川崎市 日本女子大学附属中学校・高等学校 軽音楽部
4139 川崎市 法政大学第二高等学校 音楽部
4099 相模原市 光明学園相模原高等学校 音楽部
4130 相模原市 神奈川県立橋本高等学校 軽音楽部
4091 相模原市 神奈川県立上溝高等学校 軽音楽部
6842 相模原市 神奈川県立上溝南高等学校 軽音楽部
4090 相模原市 神奈川県立上鶴間高等学校 軽音楽部
4111 相模原市 神奈川県立城山高等学校 軽音楽部
6853 相模原市 神奈川県立神奈川総合産業高等学校 軽音楽部
4102 相模原市 神奈川県立相模原高等学校 軽音楽部
4104 相模原市 神奈川県立相模原総合高等学校 軽音楽部
4143 相模原市 神奈川県立相模原弥栄高等学校 軽音楽部
6879 相模原市 神奈川県立相模田名高等学校 軽音楽部
4124 相模原市 神奈川県立津久井高等学校 軽音楽部
4074 相模原市 神奈川県立麻溝台高等学校 軽音楽部
4101 相模原市 相模女子大学高等部 軽音楽部
6895 相模原市 東海大学付属相模高等学校 軽音楽部
6812 足柄上郡 神奈川県立吉田島総合高等学校 軽音楽部
6830 足柄上郡 神奈川県立山北高等学校 軽音楽部
6881 足柄上郡 神奈川県立大井高等学校 音楽部
4118 足柄上郡 立花学園高等学校 軽音楽部
6884 大和市 神奈川県立大和高等学校 軽音楽部
6885 大和市 神奈川県立大和西高等学校 軽音楽部
6886 大和市 神奈川県立大和東高等学校 ポピュラーソング部
6887 大和市 神奈川県立大和南高等学校 軽音楽部
4088 大和市 柏木学園高等学校 軽音楽部
4085 中郡 神奈川県立大磯高等学校 軽音楽同好会
4127 中郡 神奈川県立二宮高等学校 軽音楽部
4097 藤沢市 慶応義塾湘南藤沢高等部 音楽部
4096 藤沢市 鵠沼高等学校 軽音楽部
4109 藤沢市 湘南学園中学校高等学校 新軽音楽部
6838 藤沢市 湘南工科大学附属高等学校 フォークソング部
6841 藤沢市 湘南白百合学園中学校・高等学校 軽音楽部
6839 藤沢市 神奈川県立湘南高等学校 音楽研究部
1326 藤沢市 神奈川県立藤沢工科高等学校 軽音楽部
4136 藤沢市 神奈川県立藤沢清流高等学校 軽音楽部
4138 藤沢市 神奈川県立藤沢西高等学校 音楽部
4137 藤沢市 神奈川県立藤沢総合高等学校 軽音楽部
6866 藤沢市 聖園女学院高等学校 軽音楽部
4135 藤沢市 藤沢翔陵高等学校 器楽部
6896 藤沢市 藤嶺学園藤沢高等学校 軽音楽部
4126 藤沢市 日本大学藤沢高等学校 器楽部
4075 南足柄市 神奈川県立足柄高等学校 軽音楽部
4132 平塚市 神奈川県立平塚工科高等学校 音楽部
6906 平塚市 神奈川県立平塚江南高等学校 軽音楽部
4133 平塚市 神奈川県立平塚商業高等学校 軽音楽部
4134 平塚市 神奈川県立平塚湘風高等学校 軽音楽部
6908 平塚市 神奈川県立平塚農業高等学校 軽音楽部

■埼玉県

4232 さいたま市 さいたま市立浦和高等学校 音楽部
4231 さいたま市 さいたま市立大宮北高等学校 軽音楽同好会
6659 さいたま市 浦和ルーテル学院高等学校 音楽部
6660 さいたま市 浦和学院高等学校 軽音楽部
4241 さいたま市 浦和明の星女子高等学校 軽音楽部
4238 さいたま市 浦和麗明高等学校 軽音楽部
6668 さいたま市 開智高等学校 ギター部
4158 さいたま市 埼玉県立いずみ高等学校 軽音楽部
4161 さいたま市 埼玉県立浦和工業高等学校 軽音楽部
4163 さいたま市 埼玉県立浦和高等学校 軽音楽同好会
4166 さいたま市 埼玉県立浦和商業高等学校 ギター部
4165 さいたま市 埼玉県立浦和西高等学校 MA 部
4164 さいたま市 埼玉県立浦和第一女子高等学校 フォークソング同好会
4160 さいたま市 埼玉県立浦和北高等学校 軽音楽部
4167 さいたま市 埼玉県立岩槻高等学校 軽音楽部
4168 さいたま市 埼玉県立岩槻商業高等学校 軽音楽部
4169 さいたま市 埼玉県立岩槻北陵高等学校 軽音楽部
4162 さいたま市 埼玉県立常盤高等学校 軽音楽部
4154 さいたま市 埼玉県立大宮工業高等学校 軽音楽愛好会
4155 さいたま市 埼玉県立大宮高等学校 フォーク部
4156 さいたま市 埼玉県立大宮商業高等学校 軽音楽部
6724 さいたま市 埼玉県立大宮中央高等学校 単位制定時制 音楽部
4157 さいたま市 埼玉県立大宮東高等学校 軽音楽部
6725 さいたま市 埼玉県立大宮南高等学校 音楽部
4153 さいたま市 埼玉県立大宮武蔵野高等学校 軽音楽部
4159 さいたま市 埼玉県立与野高等学校 軽音楽部
4237 さいたま市 淑徳与野高等学校 軽音楽部
4236 さいたま市 大宮開成高等学校 軽音楽部
4188 ふじみ野市 埼玉県立ふじみ野高等学校 軽音楽部
4206 羽生市 埼玉県立羽生高等学校 軽音楽同好会
4240 越谷市 獨明高等学校 ロックバンド愛好会
4207 越谷市 埼玉県立越ヶ谷高等学校 軽音楽部
4209 越谷市 埼玉県立越谷西高等学校 軽音楽部
4210 越谷市 埼玉県立越谷東高等学校 軽音楽部
4211 越谷市 埼玉県立越谷南高等学校 ギター部
4208 越谷市 埼玉県立越谷北高等学校 ギター部
4259 越谷市 獨協埼玉高等学校 軽音楽同好会
4177 桶川市 埼玉県立桶川西高等学校 音楽部
4258 加須市 花咲徳栄高等学校 ギター部
4204 加須市 埼玉県立不動岡高等学校 軽音楽同好会
4217 吉川市 埼玉県立吉川美南高等学校 軽音楽部
4220 久喜市 埼玉県立久喜工業高等学校 軽音楽部
4221 久喜市 埼玉県立鷲宮高等学校 軽音楽部
6676 狭山市 埼玉県立狭山工業高等学校 音楽部
4191 狭山市 埼玉県立狭山緑陽高等学校 軽音楽部
4249 狭山市 秋草学園高等学校 ロック部
4250 狭山市 西武学園文理高等学校 フォークソング部
4199 熊谷市 埼玉県立熊谷女子高等学校 フォークソング愛好会
4198 熊谷市 埼玉県立熊谷商業高等学校 軽音楽部
4200 熊谷市 埼玉県立熊谷西高等学校 軽音楽部
4175 戸田市 埼玉県立戸田翔陽高等学校 軽音楽部
4179 鴻巣市 埼玉県立鴻巣高等学校 軽音楽部
4180 鴻巣市 埼玉県立鴻巣女子高等学校 ギター部
6685 坂戸市 埼玉県立坂戸西高等学校 ギター部
4248 坂戸市 山村国際高等学校 軽音楽部
4152 坂戸市 筑波大学附属坂戸高等学校 アンサンブル部
4215 三郷市 埼玉県立三郷高等学校 軽音楽部
4216 三郷市 埼玉県立三郷北高等学校 軽音楽部
4243 志木市 慶応義塾志木高等学校 英語部軽音パート
6683 志木市 細田学園高等学校 軽音楽部
4219 春日部市 埼玉県立春日部工業高等学校 軽音楽部
4218 春日部市 埼玉県立春日部高等学校 軽音楽部
6695 春日部市 埼玉県立春日部東高等学校 ギター部
4260 春日部市 春日部共栄高等学校 軽音楽部
4190 所沢市 埼玉県立所沢高等学校 フォーク部
4176 上尾市 埼玉県立上尾高等学校 フォークソング研究同好会
4183 新座市 埼玉県立新座高等学校 軽音楽部
4244 新座市 西武台高等学校 軽音楽部
4245 新座市 立教新座高等学校 ジャズ研究会
9482 新座市 立教新座高等学校 音楽部
4201 深谷市 埼玉県立深谷高等学校 フォーク部
4202 深谷市 埼玉県立深谷商業高等学校 軽音楽部
4203 深谷市 埼玉県立深谷第一高等学校 軽音楽部
4257 深谷市 正智深谷高等学校 軽音楽部
4185 川越市 埼玉県立川越工業高等学校 現代ギター部
4184 川越市 埼玉県立川越高等学校 軽音楽部
4186 川越市 埼玉県立川越女子高等学校 フォーク部
6715 川越市 埼玉県立川越西高等学校 ギター部
4187 川越市 埼玉県立川越南高等学校 ギター部
4247 川越市 山村学園高等学校 軽音楽部
4246 川越市 城北埼玉高等学校 軽音楽部
4235 川越市 川越市立川越高等学校 軽音楽部
4172 川口市 埼玉県立川口工業高等学校 軽音楽同好会
4170 川口市 埼玉県立川口高等学校 フォークソング同好会
4173 川口市 埼玉県立川口青陵高等学校 軽音楽部
4171 川口市 埼玉県立川口北高等学校 軽音楽部
4212 草加市 埼玉県立草加高等学校 軽音楽部
4213 草加市 埼玉県立草加南高等学校 軽音楽部
4181 朝霞市 埼玉県立朝霞高等学校 ギター部
9481 朝霞市 埼玉県立朝霞高等学校 ジャズバンド部
4182 朝霞市 埼玉県立朝霞西高等学校 ギター部
4195 東松山市 埼玉県立松山高等学校 軽音楽部
4194 日高市 埼玉県立日高高等学校 軽音楽部
4224 入間郡 埼玉県立越生高等学校 軽音楽部
4263 入間郡 埼玉平成高等学校 軽音楽部
6711 入間郡 清和学園高等学校 軽音楽部
4262 入間郡 武蔵越生高等学校 軽音楽部
4192 入間市 埼玉県立豊岡高等学校 軽音楽部
4251 入間市 東野高等学校 軽音楽部
9498 入間市 日ヶ輝学園高等学校 東京校 軽音楽部
4214 入間市 埼玉県立八潮高等学校 軽音楽部
4193 飯能市 埼玉県立飯能高等学校 軽音楽部
4253 飯能市 自由の森学園高等学校 軽音部
6712 飯能市 聖望学園高等学校 軽音楽同好会
4254 飯能市 大川学園高等学校 軽音楽部
4225 比企郡 埼玉県立小川高等学校 軽音楽同好会
4226 比企郡 埼玉県立鳩山高等学校 軽音楽部
6726 比企郡 大妻嵐山中学校・高等学校 ギター部
4230 北葛飾郡 埼玉県立松伏高等学校 軽音楽同好会
4228 北葛飾郡 埼玉県立杉戸高等学校 軽音楽部
4229 北葛飾郡 埼玉県立杉戸農業高等学校 音楽部
4264 北葛飾郡 昌平学園昌平高等学校 軽音楽部
4261 北足立郡 国際学院高等学校 軽音楽部
4178 北本市 埼玉県立北本高等学校 軽音楽部
4196 本庄市 埼玉県立本庄高等学校 軽音楽部
4256 本庄市 早稲田大学本庄高等学院 軽音楽部
4255 本庄市 本庄東高等学校 軽音楽部
4222 蓮田市 埼玉県立蓮田松韻高等学校 軽音楽部
4174 蕨市 埼玉県立蕨高等学校 軽音楽部
4242 蕨市 武南高等学校 ポピュラーソング部

■千葉県

5156 旭市 千葉県立東総工業高等学校 音楽部
5160 印旛郡 東京学館高等学校 軽音楽部
5162 浦安市 千葉県立浦安高等学校 軽音楽部
5163 浦安市 東海大学付属浦安高等学校 軽音楽部
5165 浦安市 東海大学付属浦安高等学校 軽音楽部
5168 我孫子市 我孫子二階堂高等学校 軽音楽部
5166 我孫子市 千葉県立我孫子高等学校 軽音楽同好会
5167 我孫子市 千葉県立我孫子東高等学校 軽音楽部
5169 我孫子市 中央学院高等学校 軽音部
5170 鎌ヶ谷市 千葉県立鎌ヶ谷高等学校 軽音楽部
5171 鎌ヶ谷市 千葉県立鎌ヶ谷西高等学校 軽音楽部
5176 館山市 千葉県安房西高等学校 ギター部
5174 館山市 千葉県立安房高等学校 ギター部
5180 君津市 千葉国際高等学校 軽音楽部
5182 香取郡 むつざわ高等学校 軽音楽部
5183 香取市 千葉県立佐原高等学校 軽音楽部
5184 香取市 千葉県立佐原白楊高等学校 フォークソング部
5186 香取市 千葉萌陽高等学校 シンセサイザーオーケストラ部
5187 佐倉市 千葉県立佐倉高等学校 軽音楽部
5188 佐倉市 千葉県立佐倉東高等学校 ギター部
5193 山武市 千葉県立成東高等学校 フォークソング同好会
5198 四街道市 千葉敬愛高等学校 軽音楽部
5196 四街道市 千葉県立四街道北高等学校 軽音楽同好会
5201 市原市 千葉県立京葉高等学校 軽音楽同好会
5202 市原市 千葉県立市原高等学校 音楽部
5204 市原市 千葉県立鶴舞桜が丘高等学校 音楽部
5216 市川市 国府台女子学院高等部 軽音楽部、ギター部
5221 市川市 市川高等学校 軽音楽部
5218 市川市 昭和学院中学校高等学校 軽音楽部
5208 市川市 千葉県立行徳高等学校 音楽部
5207 市川市 千葉県立市川工業高等学校 軽音楽部
5211 市川市 千葉県立市川東高等学校 軽音楽部
5220 市川市 千葉商科大学附属高等学校 音楽部
5215 市川市 日出学園中学校・高等学校 軽音楽部
5219 市川市 和洋国府台女子中学校高等学校 軽音楽部
5224 習志野市 習志野市立習志野高等学校 軽音楽部
5234 松戸市 松戸市立松戸高等学校 軽音楽部
5227 松戸市 千葉県立小金高等学校 軽音楽部
5228 松戸市 千葉県立松戸国際高等学校 軽音楽部
5230 松戸市 千葉県立松戸南高等学校 ロック部
5229 松戸市 千葉県立松戸六実高等学校 軽音楽部
5236 松戸市 専修大学松戸高等学校 フォークソング同好会
5237 成田市 千葉県立下総高等学校 軽音楽部
5238 成田市 千葉県立成田国際高等学校 ギター部、軽音楽同好会
5240 成田市 千葉県立成田西陵高等学校 軽音楽部
5239 成田市 千葉県立成田北高等学校 軽音楽同好会
5247 千葉市 敬愛学園高等学校 軽音楽部
5270 千葉市 渋谷教育学園幕張高等学校 ギター部
5271 千葉市 昭和学院秀英高等学校 軽音楽部
5261 千葉市 植草学園大学附属高等学校 ギター部
5248 千葉市 千葉経済大学附属高等学校 軽音楽部
5244 千葉市 千葉県立京葉工業高等学校 リズムアンサンブル部
5267 千葉市 千葉県立検見川高等学校 音楽部
5256 千葉市 千葉県立生浜高等学校 音楽部
5253 千葉市 千葉県立千城台高等学校 ギター同好会
5257 千葉市 千葉県立千葉工業高等学校 軽音楽部
5245 千葉市 千葉県立千葉東高等学校 フォークソング同好会
5258 千葉市 千葉県立千葉南高等学校 音楽同好会
5251 千葉市 千葉県立泉高等学校 軽音楽部
5272 千葉市 千葉県立土気高等学校 ギター部
5268 千葉市 千葉立幕張総合高等学校 アコースティックギター同好会
5246 千葉市 千葉市立千葉高等学校 軽音楽部
5262 千葉市 千葉聖心高等学校 軽音楽部
5263 千葉市 千葉明徳高等学校 軽音楽部
5280 船橋市 千葉県立船橋古和釜高等学校 軽音楽部
5273 船橋市 千葉県立船橋高等学校 アコースティックギター部
5274 船橋市 千葉県立船橋芝山高等学校 音楽同好会
5281 船橋市 千葉県立船橋東高等学校 フォークロック部
5275 船橋市 千葉県立船橋二和高等学校 軽音楽部
5283 船橋市 船橋市立船橋高等学校 軽音楽部
5285 船橋市 東京学館船橋高等学校 軽音楽部
5286 船橋市 東葉高等学校 軽音楽部
5290 匝瑳市 敬愛大学八日市場高等学校 軽音楽部
5289 匝瑳市 千葉県立匝瑳高等学校 ギター部
5296 長生郡 千葉県立一宮商業高等学校 軽音楽同好会
5299 東金市 千葉学芸高等学校 軽音楽同好会
5300 南房総市 千葉立安房拓心高等学校 音楽部
5311 柏市 芝浦工業大学柏中学高等学校 軽音楽部
5308 柏市 千葉県立東葛飾高等学校 軽音楽部
5306 柏市 千葉県立柏の葉高等学校 ギター部
5301 柏市 千葉県立柏高等学校 軽音楽部
5303 柏市 千葉県立柏陵高等学校 軽音楽部
5312 柏市 二松學舎大学附属柏中学校・高等学校 軽音楽部
5309 柏市 柏市立柏高等学校 軽音楽部
5316 八街市 千葉県立八街高等学校 軽音楽部
5317 八街市 千葉黎明高等学校 軽音楽部
5321 八千代市 千葉英和高等学校 軽音楽部
5319 八千代市 千葉県立八千代西高等学校 軽音楽部
5320 八千代市 千葉県立八千代東高等学校 フォークソング部
5327 茂原市 千葉県立長生高等学校 フォークソング研究同好会
5328 茂原市 千葉県立茂原高等学校 軽音楽同好会
5329 茂原市 千葉県立茂原樟陽高等学校 軽音楽同好会
5330 茂原市 茂原北陵高等学校 軽音楽サークル
5335 木更津市 明星国際高等学校 音楽部
5331 木更津市 千葉県立木更津高等学校 音楽部
5332 木更津市 千葉県立木更津東高等学校 軽音楽部
5336 木更津市 拓殖大学紅陵高等学校 軽音楽部
5340 野田市 あすと第一高等学校 軽音楽部
5337 野田市 千葉県立関宿高等学校 軽音楽同好会
5338 野田市 千葉県立清水高等学校 軽音楽部
5339 野田市 千葉県立野田中央高等学校 軽音楽部
5344 流山市 千葉県立流山おおたかの森高等学校 軽音楽同好会
5345 流山市 千葉県立流山南高等学校 軽音楽部
5343 流山市 千葉県立流山北高等学校 軽音楽部

■茨城県

5346 かすみがうら市 つくば国際大学東風高等学校 軽音楽同好会
5351 つくば市 茨城県立並崎高等学校 軽音楽部
5358 ひたちなか市 茨城県立海洋高等学校 軽音楽部
5359 ひたちなか市 茨城県立勝田工業高等学校 軽音楽部
9508 ひたちなか市 茨城工業高等専門学校 軽音楽同好会
5361 稲敷郡 霞ヶ浦高等学校 軽音楽部
5364 下妻市 茨城県立下妻第一高等学校 軽音楽部
5366 笠間市 茨城県立笠間高等学校 軽音楽部
5370 牛久市 茨城県立牛久高等学校 軽音楽部
5373 牛久市 東洋大学附属牛久高等学校 軽音楽研究部
5376 結城市 茨城県立結城第二高等学校 軽音楽部
5379 古河市 茨城県立古河第三高等学校 音楽部
5384 古河市 茨城県立古河第二高等学校 軽音楽部
5378 古河市 茨城県立古河中等教育学校 軽音同好会
5383 古河市 茨城県立三和高等学校 軽音楽部
5389 高萩市 茨城県立高萩清松高等学校 軽音楽同好会
5395 桜川市 岩瀬日本大学高等学校 軽音楽部
5396 鹿嶋市 茨城県立鹿島高等学校 軽音楽部
5399 鹿嶋市 鹿島学園高等学校 軽音楽部
5400 取手市 茨城県立取手第一高等学校 軽音楽部
5404 取手市 茨城県立藤代高等学校 軽音楽部
5402 取手市 茨城県立藤代紫水高等学校 軽音楽部
5406 取手市 聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校 フォークソング部
5407 守谷市 茨城県立守谷高等学校 軽音楽同好会
5408 小美玉市 茨城県立中央高等学校 軽音楽同好会
5409 常総市 茨城県立水海道第一高等学校 軽音楽同好会
5410 常総市 茨城県立水海道第二高等学校 軽音楽同好会
5413 常陸太田市 茨城県立太田第二高等学校 軽音楽部
5427 水戸市 茨城県立水戸商業高等学校 軽音楽部
5420 水戸市 茨城県立水戸第一高等学校 軽音楽同好会
5426 水戸市 茨城県立水戸第三高等学校 軽音楽部
5423 水戸市 茨城県立水戸第二高等学校 軽音楽同好会
5425 水戸市 茨城県立水戸南高等学校 軽音楽部
9531 水戸市 茨城県立盲学校 軽音楽部
5421 水戸市 茨城県立緑岡高等学校 軽音楽部
5429 水戸市 茨城高等学校 フォーク部
5431 水戸市 水戸啓明高等学校 軽音楽同好会
5435 水戸市 水戸平成学園高等学校 軽音楽クラブ
5438 石岡市 茨城県立石岡第二高等学校 軽音楽部
5453 土浦市 つくば国際大学高等学校 軽音楽部
5446 土浦市 茨城県立土浦第一高等学校 軽音楽同好会

5447 土浦市 茨城県立土浦第三高等学校 音楽部
5452 土浦市 常総学院高等学校 軽音楽部
5454 土浦市 土浦日本大学高等学校 音楽部
5451 土浦市 土浦日本大学中等教育学校 バンド部
5456 東茨城郡 茨城県立太洋高等学校 軽音楽同好会
5459 那珂市 茨城県立水戸農業高等学校 軽音楽部
5466 日立市 茨城キリスト教学園高等学校 フォークソング部
5464 日立市 茨城県立日立商業高等学校 軽音楽演劇同好会
5460 日立市 茨城県立日立第一高等学校 ギター部
5463 日立市 茨城県立日立第二高等学校 軽音楽部
5468 日立市 明秀学園日立高等学校 フォークソング同好会
5470 鉾田市 茨城県立鉾田第二高等学校 音楽部
5474 龍ヶ崎市 愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校 軽音楽部
5475 龍ヶ崎市 茨城県立竜ヶ崎第一高等学校 軽音楽部
5473 龍ヶ崎市 茨城県立竜ヶ崎第二高等学校 軽音楽部
5476 龍ケ崎市 茨城県立竜ヶ崎南高等学校 軽音楽部

■栃木県
5491 宇都宮市 宇都宮短期大学附属高等学校 軽音楽部
5482 宇都宮市 栃木県立宇都宮女子高等学校 軽音楽部
5484 宇都宮市 栃木県立宇都宮南高等学校 軽音楽同好会
5487 宇都宮市 栃木県立宇都宮白楊高等学校 軽音楽部
5492 宇都宮市 日々輝学園高等学校 軽音楽同好会
5498 佐野市 栃木県立佐野高等学校 ギター部
5506 鹿沼市 栃木県立鹿沼南高等学校 軽音楽同好会
9507 小山市 小山工業高等専門学校 軽音楽部
5509 小山市 栃木県立小山城南高等学校 軽音楽部
5508 小山市 栃木県立小山北桜高等学校 軽音楽部
5524 足利市 足利短期大学附属高等学校 軽音楽部
5517 足利市 栃木県立足利高等学校 ギター同好会
5518 足利市 栃木県立足利女子高等学校 軽音楽部
5519 足利市 栃木県立足利南高等学校 フォーク部
5523 足利市 白鴎大学足利高等学校 Music Art Club
5527 大田原市 栃木県立大田原女子高等学校 フォークソング部
5532 栃木市 栃木県立学悠館高等学校 軽音楽部
5529 栃木市 栃木県立栃木工業高等学校 ギター部
5533 栃木市 栃木県立栃木女子高等学校 軽音楽部
5540 那須塩原市 栃木県立那須清峰高等学校 軽音楽同好会
5547 日光市 栃木県立今市工業高等学校 軽音楽同好会
5546 日光市 栃木県立今市高等学校 ギター部

■群馬県
5557 安中市 新島学園高等学校 軽音楽部
5562 伊勢崎市 群馬県立伊勢崎興陽高等学校 軽音楽部
5560 伊勢崎市 群馬県立伊勢崎清明高等学校 軽音楽部
5565 甘楽郡 群馬県立下仁田高等学校 軽音楽愛好会
5570 桐生市 群馬県立桐生西高等学校 軽音楽部
5577 吾妻郡 群馬県立吾妻中央高等学校 音楽部
5579 吾妻郡 群馬県立長野原高等学校 軽音楽サークル
5583 高崎市 群馬県立高崎工業高等学校 軽音楽部
5589 高崎市 群馬県立高崎東高等学校 軽音楽同好会
5584 高崎市 群馬県立榛名高等学校 軽音楽部
5591 高崎市 高崎健康福祉大学高崎高等学校 軽音楽部
5590 高崎市 高崎市立高崎経済大学附属高等学校 軽音楽部
5592 高崎市 高崎商科大学附属高等学校 軽音楽部
5597 佐波郡 群馬県立玉村高等学校 軽音楽部
5599 渋川市 群馬県立渋川工業高等学校 軽音楽部
5602 沼田市 群馬県立沼田高等学校 軽音楽部
5604 沼田市 群馬県立沼田女子高等学校 軽音楽部、ギター部
5616 前橋市 共愛学園高等学校 F&R 部
5614 前橋市 群馬県立前橋清陵高等学校 定時制夜間部
5617 前橋市 前橋育英高等学校 軽音楽部
5624 太田市 群馬県立新田暁高等学校 軽音楽部
5621 太田市 群馬県立太田女子高等学校 軽音楽部
5623 太田市 群馬県立太田東高等学校 軽音楽部
5626 太田市 常磐高等学校 軽音楽部
5628 藤岡市 群馬県立藤岡中央高等学校 軽音楽部
5631 富岡市 群馬県立富岡高等学校 軽音楽部
5634 邑楽郡 群馬県立板倉高等学校 軽音楽部

■新潟県
6925 加茂市 加茂暁星高等学校 軽音楽同好会
6945 佐渡市 新潟県立佐渡高等学校 音楽部
6946 佐渡市 新潟県立佐渡総合高等学校 音楽部
6950 三条市 新潟県立三条東高等学校 軽音楽同好会
6955 三島郡 新潟県立出雲崎高等学校 器楽部
6951 糸魚川市 新潟県立糸魚川高等学校 軽音楽部
6952 糸魚川市 新潟県立糸魚川白嶺高等学校 軽音楽部
6954 十日町市 新潟県立十日町総合高等学校 音楽部
6959 十日町市 新潟県立松代高等学校 軽音楽同好会
6932 上越市 関根学園高等学校 軽音楽同好会
6939 上越市 高田高等学校 軽音楽同好会
6960 上越市 上越高等学校 軽音楽部
6941 上越市 新潟県立高田南城高等学校 軽音楽同好会
6943 上越市 新潟県立高田北城高等学校 軽音楽部
6961 上越市 新潟県立上越総合技術高等学校 軽音楽同好会
6930 新潟市 新潟県立巻高等学校 ギター部
6965 新潟市 新潟県立新潟工業高等学校 音楽部
6974 新潟市 新潟県立新潟西高等学校 軽音楽同好会
6977 新潟市 新潟県立新潟中央高等学校 ギター部
6982 新潟市 新潟県立新津工業高等学校 器楽部
7024 新潟市 新潟県立豊栄高等学校 ギター部
6970 新潟市 新潟市立明鏡高等学校 音楽部
6973 新潟市 新潟清心女子高等学校 軽音部
7025 新潟市 北越高等学校 軽音楽同好会
6988 新発田市 新潟県立新発田南高等学校 ギター同好会
6987 新発田市 新発田中央高等学校 軽音楽同好会
6938 村上市 新潟県立荒川高等学校 軽音楽部
6998 村上市 新潟県立村上桜ヶ丘高等学校 軽音楽部
7004 長岡市 新潟県立長岡高等学校 軽音楽部
7006 長岡市 新潟県立長岡大手高等学校 軽音同好会
9505 長岡市 長岡工業高等専門学校 軽音楽部
7022 南魚沼市 新潟県立八海高等学校 軽音楽同好会
7017 柏崎市 新潟県立柏崎高等学校 フォークロック同好会
7019 柏崎市 新潟県立柏崎総合高等学校 軽音楽同好会
6962 妙高市 新潟県立新井高等学校 ニューミュージック部

■富山県
7048 魚津市 富山県立新川みどり野高等学校 軽音楽部
7039 高岡市 高岡第一高等学校 軽音楽同好会
7041 高岡市 高岡龍谷高等学校 軽音楽同好会
7036 高岡市 富山県立高岡高等学校 軽音楽部
7040 高岡市 富山県立高岡南高等学校 軽音楽部
9514 射水市 富山高等専門学校 射水キャンパス
7042 富山市 高朋高等学校 軽音楽部
7066 富山市 富山県立富山工業高等学校 ギター部
7080 富山市 富山県立雄峰高等学校 軽音楽部
9513 富山市 富山高等専門学校 本郷キャンパス 軽音楽部

■石川県
7084 羽咋市 石川県立羽咋高等学校 軽音楽部
7127 河北郡 石川県立内灘高等学校 軽音楽部
9515 河北郡 石川工業高等専門学校 軽音楽同好会
7088 金沢市 金沢学院高等学校 軽音楽部
7095 金沢市 石川県立金沢西高等学校 軽音楽同好会
7133 金沢市 北陸学院高等学校 軽音楽部
7125 七尾市 石川県立田鶴浜高等学校 軽音楽部
7116 小松市 石川県立小松北高等学校 軽音楽部

■福井県
7149 小浜市 福井県立若狭高等学校 軽音楽部
7157 大野市 福井県立大野高等学校 音楽愛好部
7155 福井市 仁愛女子高等学校 軽音楽部
7171 福井市 福井工業大学附属福井高等学校 芸能部
7175 福井市 北陸学園北陸高等学校 アコースティック同好会

■山梨県
7182 甲府市 甲斐清和高等学校 ギター部
7183 甲府市 山梨県立甲府工業高等学校 ギター部
7186 甲府市 山梨県立甲府城西高等学校 軽音楽同好会
7188 甲府市 山梨県立甲府第一高等学校 フォークロック部
7189 甲府市 山梨県立甲府東高等学校 軽音楽部
7190 甲府市 山梨県立甲府南高等学校 軽音楽部
7209 上野原市 日本大学明誠高等学校 音楽部

7205 大月市 山梨県立都留高等学校 軽音楽部
7204 笛吹市 山梨県立笛吹高等学校 フォークソング部
7179 南アルプス市 山梨県立巨摩高等学校 軽音楽同好会
7213 南アルプス市 山梨県立白根高等学校 軽音楽部
7199 南巨摩郡 身延山高等学校 軽音楽同好会
7211 韮崎市 山梨県立韮崎高等学校 ギター部
7176 富士吉田市 山梨県立ひばりが丘高等学校 軽音楽部
7217 北杜市 山梨県立北杜高等学校 軽音楽部
7203 北杜市 帝京第三高等学校 軽音同好会
7218 北杜市 北杜市立甲陵高等学校 ギター同好会

■長野県
7297 安曇野市 長野県南安曇農業高等学校 軽音楽部
7306 安曇野市 長野県穂高商業高等学校 軽音楽部
7307 安曇野市 長野県豊科高等学校 LMC 部
7312 安曇野市 長野県明科高等学校 軽音楽部
7234 伊那市 長野県伊那北高等学校 軽音楽部
7235 伊那市 長野県伊那弥生ヶ丘高等学校 軽音楽部
7251 伊那市 長野県高遠高等学校 軽音楽部
7237 塩尻市 長野県塩尻志学館高等学校 軽音楽部
7295 塩尻市 長野県田川高等学校 ギター部
7239 岡谷市 長野県岡谷東高等学校 軽音楽部
7231 下伊那郡 長野県阿智高等学校 軽音楽同好会
7232 下伊那郡 長野県阿南高等学校 軽音楽部
7246 茅野市 長野県茅野高等学校 軽音楽部
7323 茅野市 東海大学付属諏訪高等学校 音楽部
7248 駒ヶ根市 長野県駒ヶ根工業高等学校 軽音楽同好会
7278 駒ヶ根市 長野県赤穂高等学校 軽音楽部
7236 佐久市 佐久平総合技術高等学校 軽音楽部
5639 佐久市 長野県岩村田高等学校 軽音楽部
7314 佐久市 長野県野沢南高等学校 軽音楽部
7315 佐久市 長野県野沢北高等学校 軽音楽部
7256 小諸市 長野県小諸高等学校 軽音楽部
7257 小諸市 長野県小諸商業高等学校 軽音楽部
7224 松本市 松商学園高等学校 軽音楽同好会
7229 松本市 松本国際高等学校 軽音楽部
7228 松本市 信濃むつみ高等学校 軽音楽部
7233 松本市 長野県梓川高等学校 軽音楽部
7260 松本市 長野県松本蟻ヶ崎高等学校 軽音楽部
7261 松本市 長野県松本県ヶ丘高等学校 軽音楽部
7262 松本市 長野県松本工業高等学校 軽音楽部
7263 松本市 長野県松本深志高等学校 ギター部
7264 松本市 長野県松本筑摩高等学校 音楽部
7265 松本市 長野県松本美須々ヶ丘高等学校 FMC 部
7266 上伊那郡 長野県上伊那農業高等学校 フォーク同好会
7282 上伊那郡 長野県辰野高等学校 軽音楽部
7311 上伊那郡 長野県箕輪進修高等学校 軽音楽部
7227 上田市 上田西高等学校 軽音楽部
7247 上田市 長野県丸子修学館高等学校 軽音楽部
7267 上田市 長野県上田高等学校 現代音楽班
7268 上田市 長野県上田千曲高等学校 軽音楽班
7269 上田市 長野県上田染谷丘高等学校 軽音・フォーク班
7270 上田市 長野県上田東高等学校 軽音楽班
7252 塩尻郡 長野県坂城高等学校 軽音部
7245 諏訪郡 長野県下諏訪向陽高等学校 器楽部
7305 諏訪郡 長野県富士見高等学校 バンド部
7271 諏訪市 長野県諏訪実業高等学校 軽音楽部
7272 諏訪市 長野県諏訪清陵高等学校 フォークソング部
7273 諏訪市 長野県諏訪二葉高等学校 現代音楽部
7275 須坂市 長野県須坂高等学校 FMC 同好会
7274 須坂市 長野県須坂創成高等学校 軽音楽部
7241 千曲市 長野県屋代高等学校 軽音楽班
7242 千曲市 長野県屋代南高等学校 フォークソング部
7280 大町市 長野県大町岳陽高等学校 軽音楽部
7285 中野市 長野県中野立志館高等学校 軽音楽部
7253 長野市 長野県篠ノ井高等学校 フォーク部
7254 長野市 長野県篠ノ井高等学校犀峡校 音楽部
7259 長野市 長野県松代高等学校 ミュージック部
7286 長野市 長野県長野吉田高等学校 軽音楽班
7287 長野市 長野県長野吉田高等学校戸隠分校 軽音部
7288 長野市 長野県長野工業高等学校 軽音楽班
7289 長野市 長野県長野高等学校 フォークソング班
7292 長野市 長野県長野西高等学校中条校 軽音楽部
7294 長野市 長野県長野南高等学校 軽音楽部
9506 長野市 長野工業高等専門学校 軽音楽部
7317 長野市 長野市立長野高等学校 軽音楽部
7318 長野市 長野俊英高等学校 軽音楽部
7319 長野市 長野女子高等学校 軽音楽部
7320 長野市 長野清泉女学院高等学校 フォークソング部
7296 東御市 長野県東御清翔高等学校 軽音楽部
7255 南佐久郡 長野県小海高等学校 軽音楽班
7300 飯山市 長野県飯山高等学校 軽音同好会
7301 飯田市 長野県飯田 OIDE 長姫高等学校 軽音楽部
7302 飯田市 長野県飯田高等学校 軽音楽部
7304 飯田市 長野県飯田風越高等学校 軽音楽部
7283 北安曇郡 長野県池田工業高等学校 軽音楽部
7298 北安曇郡 長野県白馬高等学校 軽音楽部
7249 北佐久郡 長野県軽井沢高等学校 軽音楽部
7279 木曽郡 長野県蘇南高等学校 軽音楽部
7313 木曽郡 長野県木曽青峰高等学校 軽音楽部

■岐阜県
7335 可児市 岐阜県立可児高等学校 軽音楽部
7327 岐阜市 ぎふ国際高等学校 音楽部
7366 岐阜市 清美高等学校 フォークソング部
7399 高山市 岐阜県立斐太高等学校 軽音楽部
7395 土岐市 岐阜県立東濃フロンティア高等学校 軽音楽部
9510 本巣市 岐阜工業高等専門学校 軽音楽同好会
7394 養老郡 岐阜県立大垣養老高等学校 軽音楽部

■静岡県
7416 伊豆の国市 静岡県立伊豆中央高等学校 軽音楽部
7426 掛川市 静岡県立掛川工業高等学校 ギター部
7430 菊川市 菊川南陵高等学校 音楽部
7462 菊川市 常葉学園菊川高等学校 音楽部
7500 御前崎市 静岡県立池新田高等学校 音楽部
7438 御殿場市 御殿場西高等学校 軽音楽同好会
7439 御殿場市 静岡県立御殿場南高等学校 音楽部
7515 三島市 日本大学三島高等学校 軽音楽部
7424 沼津市 加藤学園高等学校 フォークソング部
7434 沼津市 桐陽高等学校 軽音楽部
9511 沼津市 沼津工業高等専門学校 軽音楽同好会
7456 沼津市 沼津中央高等学校 軽音楽部
7451 沼津市 静岡県立沼津工業高等学校 軽音部
7411 榛原郡 キラリ高等学校 音楽部（軽音）
7469 静岡市 清水国際高等学校 軽音楽部
7487 静岡市 静岡県立静岡西高等学校 音楽部
7511 藤枝市 静岡県立藤枝東高等学校 ギター部
7410 浜松市 オイスカ高等学校 軽音楽部
9446 浜松市 クラーク記念国際高等学校 浜松キャンパス 軽音楽部
7473 浜松市 聖隷クリストファー高等学校 軽音楽部
7531 浜松市 静岡県立浜松工業高等学校 ギター部
7536 浜松市 静岡県立浜松城北工業高等学校 軽音楽部
7540 浜松市 静岡県立浜松南高等学校 音楽研究部
7542 浜松市 静岡県立浜松北高等学校 軽音楽部
7525 浜松市 浜松開誠館高等学校 軽音楽部
7527 浜松市 浜松学芸高等学校 ポピュラー音楽部
7534 浜松市 浜松修学舎中学校・高等学校 ギター同好会
9528 富士宮市 富士宮高等専修学校 軽音楽部
7431 富士市 静岡県立吉原工業高等学校 総合文化部（ギター部）
7550 富士市 静岡県立富士高等学校 音楽部

■愛知県
7569 安城市 安城学園高等学校 軽音楽部
7577 一宮市 愛知県立一宮興道高等学校 音楽部
7635 一宮市 修文女子高等学校 音楽部
7556 稲沢市 愛知啓成高等学校 軽音楽部
7593 岡崎市 愛知県立岡崎高等学校 音楽部
7655 岡崎市 岡崎学園高等学校 軽音楽同好会
7606 刈谷市 愛知県立刈谷北高等学校 ギター同好会
7607 岩倉市 愛知県立岩倉総合高等学校 フォーク部

7642 春日井市 中部大学春日丘高等学校 軽音楽部
7772 小牧市 誉高等学校 軽音楽部
7658 瀬戸市 愛知県立瀬戸高等学校 フォークソング部
7659 瀬戸市 愛知県立瀬戸西高等学校 アコースティックギター部
7661 瀬戸市 愛知県立瀬戸窯業高等学校 PSLMC
7665 瀬戸市 聖カピタニオ女子高等学校 軽音楽部
7666 瀬戸市 聖霊中学校・高等学校 軽音楽部
7668 西尾市 愛知県立西尾高等学校 ギター部
7694 知多郡 愛知県立東浦高等学校 ギター部
7710 知多郡 日本福祉大学付属高等学校 音楽部
7679 知多市 愛知県立知多翔洋高等学校 ギター部
7589 東海市 愛知県立横須賀高等学校 軽音楽同好会
7697 東海市 愛知県立東海商業高等学校 フォークソング部
7685 日進市 中部大学第一高等学校 軽音楽部
7712 半田市 愛知県立半田工業高等学校 音楽部
7713 半田市 愛知県立半田高等学校 フォークソング部
7567 尾張旭市 愛知県立旭野高等学校 軽音楽部
7726 豊橋市 愛知県立豊橋工業高等学校 音楽部
7730 豊橋市 豊橋中央高等学校 軽音楽部
9500 豊田市 ルネサンス豊田高等学校 軽音楽部
7735 豊田市 愛知県立豊田工業高等学校 音楽部
7736 豊田市 愛知県立豊田高等学校 ギター部
7737 豊田市 愛知県立豊田西高等学校 ギター部
7741 豊田市 愛知県立豊田北高等学校 軽音楽部
7693 豊田市 杜若高等学校 軽音楽部
7663 豊明市 星城高等学校 軽音楽部
9525 名古屋市 KTC おおぞら高等学院 名古屋キャンパス
9530 名古屋市 クラーク記念国際高等学校 名古屋キャンパス 軽音同好会
9447 名古屋市 愛知芸術高等専修学校 ミュージックコース
7563 名古屋市 愛知県立愛知商業高等学校 音楽部
7566 名古屋市 愛知県立旭丘高等学校 軽音楽部
7575 名古屋市 愛知県立惟信高等学校 軽音楽同好会
7647 名古屋市 愛知県立昭和高等学校 軽音楽部
7648 名古屋市 愛知県立松蔭高等学校 アンサンブル部
7656 名古屋市 愛知県立瑞陵高等学校 ギター部
7683 名古屋市 愛知県立中川商業高等学校 フォークソング部
7684 名古屋市 愛知県立中村高等学校 音楽部
7766 名古屋市 愛知県立名古屋南高等学校 軽音楽部
7769 名古屋市 愛知県立明和高等学校 PM 部
7773 名古屋市 愛知県立緑丘高等学校 軽音楽部
7560 名古屋市 愛知産業大学工業高等学校 軽音楽部
7610 名古屋市 菊華高等学校 軽音楽部
9499 名古屋市 菊武ビジネス専門学校 高校課程 軽音楽部
7613 名古屋市 金城学院高等学校 軽音楽部
7614 名古屋市 啓明学館高等学校 軽音楽部
7632 名古屋市 至学館高等学校 軽音楽部
7657 名古屋市 椙山女学園高等学校 ギター部
7674 名古屋市 大同大学大同高等学校 軽音楽部
7682 名古屋市 中京大学附属中京高等学校 バンド研究部
7695 名古屋市 東海学園高等学校 軽音楽同好会
7696 名古屋市 東海中学校・高等学校 軽音楽同好会
7700 名古屋市 東邦高等学校 軽音楽部
7703 名古屋市 同朋高等学校 フォークソング部
7705 名古屋市 南山高等・中学校女子部 ギター部
7744 名古屋市 名古屋経済大学高蔵高等学校 軽音楽部
5640 名古屋市 名古屋経済大学市邨高等学校 軽音楽部
7747 名古屋市 名古屋国際中学校・高等学校 軽音楽部
7749 名古屋市 名古屋市立向陽高等学校 フォークソング部
7750 名古屋市 名古屋市立工業高等学校 ギター同好会
7751 名古屋市 名古屋市立工芸高等学校 軽音楽同好会
7752 名古屋市 名古屋市立桜台高等学校 軽音楽部
7753 名古屋市 名古屋市立山田高等学校 軽音楽部
7754 名古屋市 名古屋市立若宮商業高等学校 ギター部
7759 名古屋市 名古屋市立名古屋商業高等学校 軽音楽部
7760 名古屋市 名古屋市立名東高等学校 軽音楽部
7761 名古屋市 名古屋市立緑高等学校 軽音楽部
7762 名古屋市 名古屋女子大学高等学校 軽音楽部
7564 弥富市 愛知黎明高等学校 軽音楽部

■三重県
7774 伊賀市 三重県立あけぼの学園高等学校 軽音楽部
7788 伊勢市 三重県立宇治山田商業高等学校 軽音楽部
7792 亀山市 三重県立亀山高等学校 軽音楽部
7797 桑名市 三重県立桑名高等学校 軽音楽同好会
7798 桑名市 三重県立桑名西高等学校 音楽部
7800 三重郡 三重県立四郷高等学校 軽音楽部
7804 四日市市 三重県立四日市工業高等学校 音楽部
7807 四日市市 三重県立四日市商業高等学校 軽音楽部
7841 四日市市 三重県立北星高等学校 バンド部
7823 四日市市 大橋学園高等学校 軽音楽部
7814 松阪市 松阪高等学校 ギター同好会
9522 津市 一志学園高校 軽音楽部
7826 津市 三重県立津工業高等学校 軽音楽部
7827 津市 三重県立津高等学校 軽音楽部
7829 津市 三重県立津西高等学校 オリジナルソング部
7831 津市 三重県立津東高等学校 ロッキン部
7834 津市 青山高等学校 けいおんサークル
7833 度会郡 三重県立南伊勢高等学校南勢校舎 軽音楽部
7840 尾鷲市 三重県立尾鷲高等学校 軽音楽部
7819 鈴鹿市 三重県立石薬師高等学校 音楽部
7837 鈴鹿市 三重県立白子高等学校 軽音楽部
7839 鈴鹿市 三重県立飯野高等学校 軽音楽部
9512 鈴鹿市 鈴鹿工業高等専門学校 アコースティックギター部

■滋賀県
7851 愛知郡 滋賀県立愛知高等学校 軽音楽同好会
7898 近江八幡市 滋賀県立八幡工業高等学校 軽音楽同好会
7852 草津市 綾羽高等学校 軽音楽部
7884 草津市 滋賀県立草津東高等学校 軽音楽部
7865 大津市 幸福の科学学園関西高等学校 軽音楽同好会
7882 大津市 滋賀県立石山高等学校 軽音楽同好会
7882 大津市 滋賀県立膳所高等学校 軽音楽部
7885 大津市 滋賀県立大津高等学校 軽音楽部
7887 大津市 滋賀県立大津清陵高等学校 通信部 軽音楽部
7886 大津市 滋賀県立大津清陵高等学校馬場分校 軽音楽愛好会
7893 大津市 滋賀県立東大津高等学校 音楽部
7872 大津市 滋賀短期大学附属高等学校 軽音楽部
7901 大津市 比叡山高等学校 軽音楽部
7890 長浜市 滋賀県立長浜農業高等学校 軽音楽部
7895 東近江市 滋賀県立能登川高等学校 軽音楽部
7897 東近江市 滋賀県立八日市南高等学校 音楽同好会
7859 彦根市 近江高等学校 軽音同好会
7902 彦根市 滋賀県立彦根工業高等学校 軽音楽部
7906 彦根市 滋賀県立彦根翔西館高等学校 軽音楽部
7909 野洲市 滋賀県立野洲高等学校 軽音同好会

■京都府
5643 宇治市 京都府立城南菱創高等学校 フォークソング部
5645 宇治市 京都府立莵道高等学校 フォークソング部
5647 宇治市 京都翔英高等学校 軽音楽部
5648 亀岡市 京都府立亀岡高等学校 軽音楽部
5656 京丹後市 京都府立丹後緑風高等学校 久美浜学舎 軽音楽部
5654 京丹後市 京都府立峰山高等学校 軽音楽部
9527 京丹後市 京都府立峰山高等学校 弥栄分校 軽音楽部
5657 京田辺市 京都府立田辺高等学校 軽音楽部
5673 京都市 ノートルダム女学院中学高等学校 軽音楽部
5664 京都市 花園高等学校 軽音楽部
5696 京都市 華頂女子高等学校 軽音楽部
5663 京都市 京都学園高等学校 ギター同好会
5708 京都市 京都橘高等学校 軽音楽部
5701 京都市 京都教育大学附属高等学校 軽音楽同好会
5665 京都市 京都光華高等学校 軽音楽部
5693 京都市 京都国際高等学校 軽音楽部
5667 京都市 京都産業大学附属高等学校 軽音楽部
5711 京都市 京都市立紫野高等学校 軽音楽部
5687 京都市 京都市立西京高等学校 軽音楽部
5689 京都市 京都市立銅駝美術工芸高等学校 フォークソング部
5686 京都市 京都市立堀川高等学校 軽音楽部
5694 京都市 京都女子高等学校 軽音楽部
5671 京都市 京都精華学園高等学校 軽音楽部

5707 京都市 京都聖母学院中学校・高等学校 軽音楽部
5677 京都市 京都府立鴨沂高等学校 軽音楽部
5681 京都市 京都府立桂高等学校 フォークソング部
5660 京都市 京都府立嵯峨野高等学校 軽音楽部
5710 京都市 京都府立山城高等学校 軽音楽部
5685 京都市 京都府立朱雀高等学校 軽音楽部
9526 京都市 京都府立清明高等学校 軽音楽部
5702 京都市 京都府立東稜高等学校 フォークソング部
5704 京都市 京都府立桃山高等学校 軽音楽部
5703 京都市 京都府立洛水高等学校 軽音楽部
5682 京都市 京都府立洛西高等学校 軽音楽部
5675 京都市 京都府立洛東高等学校 フォークソング研究部
5669 京都市 京都府立洛北高等学校 音楽研究部
5672 京都市 京都文教高等学校 軽音楽部
5695 京都市 大谷高等学校 軽音楽部
5670 京都市 同志社高等学校 軽音楽部
5678 京都市 同志社女子高等学校 軽音楽部
5679 京都市 平安女学院中学校・高等学校 軽音楽部
5712 京都市 洛星高等学校 軽音楽同好会
5691 京都市 洛陽総合高等学校 軽音楽部
5713 向日市 京都府立向陽高等学校 フォークソング部
5716 城陽市 京都府立城陽高等学校 軽音楽部
5718 相楽郡 京都廣学館高等学校 通信課程ギター同好会
9503 舞鶴市 舞鶴工業高等専門学校 軽音楽部

■大阪府
8040 大阪市 大阪市立桜宮高等学校 音楽部
4272 大阪市 大阪市立都島工業高等学校 軽音楽部
8047 大阪市 大阪市立都島第二工業高等学校 軽音楽部
8048 大阪市 大阪市立東高等学校 フォークソング部
8011 大阪市 大阪府立西野田工科高等学校 軽音楽部
7986 大阪市 昇陽高等学校 軽音楽部
8039 大阪市 大阪市立咲くやこの花高等学校 軽音楽部
8042 大阪市 大阪市立住吉高等学校 音楽部
7956 大阪市 大阪府立港高等学校 軽音楽部
7979 大阪市 大阪市市岡高等学校 NMC（軽音楽）部
8044 大阪市 大阪府立泉尾工業高等学校 軽音楽部
8019 大阪市 大阪府立泉尾高等学校 軽音楽部
7943 大阪市 興國高等学校 軽音楽部
7976 大阪市 四天王寺高等学校 軽音楽部
8003 大阪市 清風高等学校 軽音楽部
4276 大阪市 大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校 軽音楽部
7959 大阪市 大阪府立高津高等学校 軽音楽部
8002 大阪市 大阪府立清水谷高等学校 ギター部
8135 大阪市 大阪府立夕陽丘高等学校 YMW 部
8061 大阪市 大阪夕陽丘学園高等学校 軽音楽部
7963 大阪市 大阪府立今宮高等学校 軽音エレキ部
7955 大阪市 好文学園女子高等学校 軽音楽部
8052 大阪市 大阪市立淀商業高等学校 軽音楽部
7936 大阪市 関西大学北陽高等学校 フォークソング部
8034 大阪市 大阪高等学校 フォークソング部
8057 大阪市 大阪成蹊女子高等学校 軽音楽部
4286 大阪市 大阪府立柴島高等学校 軽音楽部
8120 大阪市 大阪府立北淀高等学校 フォークソング部
7915 大阪市 プール学院高等学校 フォークソング部
8041 大阪市 大阪市立生野工業高等学校 軽音楽部
7985 大阪市 大阪府立勝山高等学校 軽音楽部
8091 大阪市 大阪府立桃谷高等学校 CSI・Ⅱ部 軽音楽部
8062 大阪市 大阪偕星学園高等学校 軽音楽部
7993 大阪市 常翔学園高等学校 軽音楽部
7920 大阪市 大阪府立旭高等学校 音楽部
8136 大阪市 大阪府立淀川工科高等学校 軽音楽部
8036 大阪市 大阪産業大学附属中学校・高等学校 軽音楽部
8056 大阪市 大阪信愛学院高等学校 軽音楽部
7998 大阪市 大阪府立成城高等学校 軽音楽部
7913 大阪市 あべの翔学高等学校 軽音楽部
8037 大阪市 大阪市立工芸高等学校 軽音楽部
7918 大阪市 大阪府立阿倍野高等学校 軽音エレキ部
7981 大阪市 大阪府立住吉高等学校 軽音楽部
8080 大阪市 大阪府立天王寺高等学校 軽音楽部
8066 大阪市 大谷中学校・高等学校 フォークソング部
4282 大阪市 桃山学院高等学校 軽音楽部
8130 大阪市 明浄学院高等学校 軽音楽部
7951 大阪市 建国高等学校 軽音楽部
4289 大阪市 大阪府教育センター附属高等学校 軽音楽部
7965 大阪市 大阪府立阪南高等学校 軽音楽部
8078 大阪市 帝塚山学院中学校高等学校 軽音楽部
8140 大阪市 浪速高等学校 軽音楽部
7992 大阪市 城南学園高等学校 軽音楽部
7962 大阪市 大阪府立今宮工科高等学校 軽音楽部
8010 大阪市 大阪府立西成高等学校 軽音楽部
4298 大阪市 英真学園高等学校 軽音楽部
8049 大阪市 大阪市立東淀工業高等学校 軽音楽部
8090 大阪市 大阪府立東淀川高等学校 軽音楽部
8119 大阪市 大阪府立北野高等学校 ジャズ・フォークソング部
4284 大阪市 大阪市立鶴見高等学校 軽音楽部
8051 大阪市 大阪市立汎愛高等学校 音楽部
7922 大阪市 大阪府立茨田高等学校 軽音楽部
4292 大阪市 大阪市立住吉高等学校 フォークソング部
4273 大阪市 大阪府立港南造形高等学校 軽音楽部
8069 大阪市 大阪府立長吉高等学校 軽音楽部
8084 大阪市 大阪府立東住吉高等学校 軽音楽部
8112 大阪市 大阪府立平野高等学校 軽音楽部
8079 大阪市 天王寺学館高等学校 軽音楽部
8085 大阪市 東住吉総合高等学校 ギター部
7949 大阪市 金蘭会高等学校 フォークソング部
8043 大阪市 大阪市立扇町総合高等学校 軽音楽部
7990 大阪市 城星学園中学校・高等学校 軽音楽部
8022 大阪市 相愛高等学校 音楽部
8046 大阪市 大阪市立中央高等学校 軽音楽部
8053 大阪市 大阪女学院高等学校 軽音楽部
8063 大阪市 大阪府立大手前高等学校 軽音楽部
7954 茨木市 向陽台高等学校 軽音楽部
4299 茨木市 大阪府立茨木工科高等学校 軽音楽部
9444 茨木市 大阪府立茨木工科高等学校 定時制 軽音楽部
7923 茨木市 大阪府立茨木高等学校 軽音楽部
7924 茨木市 大阪府立茨木西高等学校 軽音楽部
7983 茨木市 大阪府立春日丘高等学校 軽音楽部
8110 茨木市 大阪府立福井高等学校 軽音楽部
8117 茨木市 大阪府立北摂つばさ高等学校 軽音楽部
8074 茨木市 追手門学院高等学校 軽音楽部
4266 羽曳野市 大阪府立懐風館高等学校 軽音楽部
8001 河内長野市 清教学園高等学校 軽音楽部
8031 河内長野市 大阪暁光高等学校 軽音楽部
8072 河内長野市 大阪府立長野高等学校 フォークソング部
8073 河内長野市 大阪府立長野北高等学校 軽音楽部
7931 貝塚市 大阪府立貝塚高等学校 軽音楽部
4287 貝塚市 大阪府立貝塚南高等学校 軽音楽部
7940 岸和田市 岸和田市立産業高等学校 軽音楽部
7944 岸和田市 近畿大学泉州高等学校 軽音楽部
4291 岸和田市 大阪府立岸和田高等学校 軽音楽部
7941 岸和田市 大阪府立久米田高等学校 軽音楽部
4290 岸和田市 大阪府立和泉高等学校 軽音楽部
7953 交野市 大阪府立交野高等学校 軽音楽部
7925 高石市 羽衣学園高等学校 フォークソング部
8004 高石市 清風南海高等学校 軽音楽部
7958 高石市 大阪府立高石高等学校 フォークソング部
7919 高槻市 阿武野高等学校 軽音楽部
7946 高槻市 金光大阪高等学校 アコースティックギター同好会
7960 高槻市 高槻高等学校 軽音楽部
7929 高槻市 大阪府立芥川高等学校 軽音ロック部
7961 高槻市 大阪府立高槻北高等学校 軽音楽部
7972 高槻市 大阪府立三島高等学校 軽音楽部
8024 高槻市 大阪府立大冠高等学校 軽音楽部
8076 高槻市 大阪府立槻の木高等学校 軽音楽部
8018 阪南市 大阪府立泉鳥取高等学校 軽音楽部
7952 堺市 賢明学院中学高等学校 軽音楽部
4277 堺市 香ヶ丘リベルテ高等学校 軽音楽部

4275 堺市 堺市立堺高等学校 軽音楽部
8055 堺市 大阪商業大学堺高等学校 軽音楽部
7966 堺市 大阪府立堺工科高等学校 軽音楽部
4283 堺市 大阪府立堺上高等学校 軽音楽部
7967 堺市 大阪府立堺西高等学校 軽音楽部
7968 堺市 大阪府立堺東高等学校 軽音楽部
7999 堺市 大阪府立成美高等学校 軽音楽部
8020 堺市 大阪府立泉北高等学校 軽音楽部
8081 堺市 大阪府立登美丘高等学校 フォークソング部
8089 堺市 大阪府立東百舌鳥高等学校 軽音楽部
8097 堺市 大阪府立農芸高等学校 音楽部
8105 堺市 大阪府立美原高等学校 軽音楽部
8111 堺市 大阪府立福泉高等学校 軽音楽部
8115 堺市 大阪府立鳳高等学校 フォークソング部
4270 堺市 東大谷高等学校 軽音楽部
4301 堺市 大阪府立泉陽高等学校 PMC
4300 堺市 初芝立命館高等学校 新音楽研究部
4265 堺市 大阪府立金岡高等学校 軽音楽部
8082 三島郡 大阪府立島本高等学校 軽音楽部
7978 四條畷市 大阪府立四條畷高等学校 軽音楽部
8035 守口市 大阪国際大和田高等学校 フォークソング部
4294 守口市 大阪国際滝井高等学校 軽音楽部
4271 守口市 大阪電気通信大学高等学校 軽音楽部
7921 守口市 大阪府立門真高等学校 軽音楽部
4297 守口市 大阪府立守口東高等学校 軽音楽部
4279 松原市 阪南大学高等学校 軽音楽部
7987 松原市 大阪府立松原高等学校 軽音楽部
8006 松原市 大阪府立生野高等学校 軽音楽部
8067 松原市 大阪府立大塚高等学校 軽音楽部
8059 寝屋川市 香里ヌヴェール学院中学校・高等学校 軽音楽部
8009 寝屋川市 大阪府立西寝屋川高等学校 フォークソング部
8116 寝屋川市 大阪府立北かわち皐が丘高等学校 軽音楽部
8094 寝屋川市 同志社香里高等学校 軽音楽部
8025 吹田市 大阪学院大学高等学校 軽音楽部
7973 吹田市 大阪府立山田高等学校 軽音楽部
7996 吹田市 大阪府立吹田高等学校 軽音楽部
7997 吹田市 大阪府立吹田東高等学校 軽音楽部
8014 吹田市 大阪府立千里高等学校 フォークソング部
8118 吹田市 大阪府立北千里高等学校 軽音楽部
8000 摂津市 星翔高等学校 音楽部
8033 摂津市 大阪薫英女学院高等学校 軽音楽部
8013 摂津市 大阪府立摂津高等学校 フォークギター部
4268 泉佐野市 大阪府立佐野工科高等学校 K 音部
7964 泉佐野市 大阪府立佐野高等学校 軽音楽部
8017 泉大津市 大阪府立泉大津高等学校 器楽部
4267 泉南郡 大阪体育大学浪商高等学校 軽音楽部
8129 泉南郡 大阪府立岬高等学校 軽音楽部
7917 泉南市 大阪府立りんくう翔南高等学校 軽音楽部
7942 大阪狭山市 大阪府立狭山高等学校 軽音楽部
7977 大東市 四條畷学園高等学校 歌声部
8134 大東市 大阪府立野崎高等学校 フォークソング部
8139 大東市 緑風冠高等学校 軽音楽部
7982 池田市 渋谷高等学校 アコースティック音楽同好会
7926 池田市 大阪府立園芸高等学校 軽音楽部
8068 池田市 大阪府立池田高等学校 軽音楽部
7988 東大阪市 アナン学園高等学校 軽音楽部
7945 東大阪市 近畿大学附属高等学校 軽音楽部
4269 東大阪市 樟蔭高等学校 軽音楽部
7916 東大阪市 大阪府立みどり清朋高等学校 軽音楽部
7928 東大阪市 大阪府立花園高等学校 フォークソング部
7991 東大阪市 大阪府立城東工科高等学校 総合音楽部
8107 東大阪市 大阪府立布施工科高等学校 軽音楽部
8108 東大阪市 大阪府立布施高等学校 軽音楽部
8109 東大阪市 大阪府立布施北高等学校 軽音楽部
5737 東大阪市 大阪府立枚岡樟風高等学校 軽音楽部
8086 東大阪市 東大阪市立日新高等学校 軽音楽部
8087 東大阪市 東大阪大学敬愛高等学校 軽音楽部
4280 藤井寺市 大阪女子短期大学高等学校 軽音楽部
8092 藤井寺市 大阪府立藤井寺工科高等学校 軽音楽部
8093 藤井寺市 大阪府立藤井寺高等学校 現代音楽研究部
4296 南河内郡 上宮太子高等学校 軽音楽部
7938 柏原市 関西福祉科学大学高等学校 ギター部
8088 柏原市 東大阪大学柏原高等学校 ギター部
7974 八尾市 大阪府立山本高等学校 軽音楽部
8102 八尾市 大阪府立八尾高等学校 軽音楽部
8103 八尾市 大阪府立八尾翠翔高等学校 軽音楽部
8104 八尾市 大阪府立八尾北高等学校 軽音楽部
7911 富田林市 PL 学園高等学校 軽音楽部
7927 富田林市 大阪府立河南高等学校 軽音楽部
4288 富田林市 大阪府立金剛高等学校 軽音楽部
8106 富田林市 大阪府立富田林高等学校 軽音楽部
7970 豊中市 大阪府立桜塚高等学校 軽音楽部
8015 豊中市 大阪府立千里青雲高等学校 軽音楽部
4295 豊中市 大阪府立刀根山高等学校 軽音楽部
8113 豊中市 大阪府立豊中高等学校 軽音楽部
8114 豊中市 大阪府立豊島高等学校 軽音楽部
8098 豊中市 梅花高等学校 フォークソング部
8096 豊能郡 大阪府立能勢高等学校 軽音楽部
4293 枚方市 常翔啓光学園高等学校 軽音楽部
8038 枚方市 大阪市立高等学校 軽音楽同好会
7957 枚方市 大阪府立香里丘高等学校 軽音楽部
8070 枚方市 大阪府立長尾高等学校 軽音楽部
8121 枚方市 大阪府立牧野高等学校 軽音楽部
8123 枚方市 大阪府立枚方高等学校 フォークギター部
8008 箕面市 アサンプション国際中学校高等学校 軽音楽部
8126 箕面市 大阪府立箕面高等学校 民謡研究部
8125 箕面市 箕面学園高等学校 軽音楽部
8128 箕面市 箕面東高等学校 軽音楽部
8132 門真市 大阪府立門真なみはや高等学校 ロック研究部
8133 門真市 大阪府立門真西高等学校 軽音楽部
7994 和泉市 大阪府立信太高等学校 軽音楽部
8099 和泉市 大阪府立伯太高等学校 軽音楽部
4281 和泉市 大阪府立和泉工業・総合高等学校 軽音楽部

■兵庫県

5738 南あわじ市 兵庫県立淡路三原高等学校 音楽部
5740 たつの市 兵庫県立龍野北高等学校 軽音楽同好会
9452 芦屋市 甲南高等学校 プラスアンサンブル部
5745 芦屋市 甲南高等学校 器楽部
5742 芦屋市 兵庫県立芦屋高等学校 ギター研究部
5748 伊丹市 伊丹市立伊丹高等学校 ギター部
5749 伊丹市 兵庫県立伊丹高等学校 フォークソング部
5753 加古川市 兵庫県立加古川東高等学校 ギターフォーク同好会
5755 加古川市 兵庫県立加古川南高等学校 音楽部
5757 加古川市 兵庫県立東播工業高等学校 軽音楽部
5761 加東市 兵庫県立社高等学校 音楽部
5764 高砂市 兵庫県立高砂高等学校 音楽部
5772 三田市 三田学園高等学校 軽音楽部
5776 三木市 兵庫県立三木高等学校 軽音楽部
5777 三木市 兵庫県立三木東高等学校 アコースティックギター部
5774 三木市 兵庫県立三木北高等学校 音楽部
5779 宍粟市 兵庫県立山崎高等学校 ギター同好会
5780 宍粟市 兵庫県立千種高等学校 カルチャー部
5788 小野市 兵庫県立小野工業高等学校 ギター部
5787 小野市 兵庫県立小野高等学校 ギター部
5794 神戸市 啓明学院高等学校 軽音楽部
5838 神戸市 松蔭高等学校 BAND 部
5844 神戸市 神戸学院大学附属高等学校 軽音楽部
5849 神戸市 神戸弘陵学園高等学校 軽音楽部
5802 神戸市 神戸国際大学附属高等学校 軽音楽部
5840 神戸市 神戸市立神港高等学校 軽音楽部
5811 神戸市 神戸市立摩耶兵庫高等学校 音楽部
5827 神戸市 神戸常盤女子高等学校 ギター部
5814 神戸市 神戸第一高等学校 軽音楽部
5824 神戸市 神戸野田高等学校 軽音楽部
5815 神戸市 神戸龍谷高等学校 軽音楽部
5793 神戸市 須磨学園高等学校 軽音楽部
5796 神戸市 海川高等学校 軽音楽部
5805 神戸市 兵庫県立伊川谷高等学校 軽音楽同好会
5845 神戸市 兵庫県立神戸甲北高等学校 軽音楽部
5801 神戸市 兵庫県立神戸商業高等学校 音楽部
5848 神戸市 兵庫県立神戸北高等学校 軽音楽部
5847 神戸市 兵庫県立神戸鈴蘭台高等学校 ギター部
5792 神戸市 兵庫県立須磨友が丘高等学校 ギター同好会
5829 神戸市 兵庫県立東灘高等学校 軽音楽部
5799 神戸市 兵庫県立舞子高等学校 軽音楽部
5841 神戸市 兵庫県立兵庫工業高等学校 軽音楽部
5818 神戸市 兵庫県立兵庫高等学校 ギターアンサンブル部
5819 神戸市 兵庫県立夢野台高等学校 ギター部
5852 神崎郡市 市川高等学校 ギター同好会
5869 西宮市 神戸女学院高等学部 軽音楽部
5862 西宮市 仁川学院高等学校 軽音楽部
5856 西宮市 西宮市立西宮東高等学校 軽音楽部
5858 西宮市 兵庫県立西宮甲山高等学校 軽音楽部
5854 西宮市 兵庫県立鳴尾高等学校 軽音楽部
5872 西脇市 兵庫県立西脇高等学校 ギター部
5878 川西市 兵庫県立川西緑台高等学校 軽音楽部
5881 川辺郡 兵庫県立猪名川高等学校 軽音楽同好会
5883 相生市 兵庫県立相生産業高等学校 軽音楽部
5884 多可郡 兵庫県立多可高等学校 軽音楽同好会
5887 丹波市 兵庫県立柏原高等学校 ギター部
5888 淡路市 兵庫県立淡路高等学校 ギター部
5892 朝来市 生野学園高等学校 バンド部
5904 尼崎市 園田学園高等学校 フォークソング部
5895 尼崎市 尼崎市立尼崎双星高等学校 アコースティックギター部
5905 尼崎市 百合学院高等学校 フォークソング部
5901 尼崎市 兵庫県立神崎工業高等学校 軽音楽部
5897 尼崎市 兵庫県立尼崎工業高等学校 軽音楽部
5899 尼崎市 兵庫県立尼崎高等学校 軽音楽部
5894 尼崎市 兵庫県立尼崎西高等学校 軽音楽部
4274 尼崎市 兵庫県立武庫荘総合高等学校 軽音楽部
5908 美方郡 兵庫県立香住高等学校 フォークソング同好会
5907 美方郡 兵庫県立浜坂高等学校 ギターサークル
5924 姫路市 淳心学院高等学校 軽音楽部
5922 姫路市 東洋大学附属姫路高等学校 コーラス部
5918 姫路市 姫路市立琴丘高等学校 フォークソング部
5931 姫路市 姫路市立飾磨高等学校 フォークソング部
5917 姫路市 姫路市立姫路高等学校 フォークソング部
5930 姫路市 兵庫県立飾磨工業高等学校 ギター部
5912 姫路市 兵庫県立姫路工業高等学校 軽音楽部
5932 姫路市 兵庫県立姫路南高等学校 軽音楽部
5911 姫路市 兵庫県立姫路別所高等学校 フォークソング部
5921 姫路市 兵庫県立姫路北高等学校 軽音楽部
5937 宝塚市 兵庫県立宝塚東高等学校 軽音楽部
5949 明石市 兵庫県立明石城西高等学校 音楽部
9517 明石市 明石工業高等専門学校 音楽部

■奈良県

5965 橿原市 聖心学園中等教育学校 軽音楽部
5963 橿原市 奈良県立橿原高等学校 Sound Art Society
5962 橿原市 奈良県立畝傍高等学校 フォークソング部
5968 吉野郡 奈良県立十津川高等学校 音楽部
5967 吉野郡 奈良県立大淀高等学校 軽音楽部
5969 五條市 奈良県立五條高等学校 軽音楽部
5973 御所市 奈良県立御所実業高等学校 音楽部
5979 桜井市 関西中央高等学校 軽音楽部
5977 桜井市 奈良県立桜井高等学校 ギター部
5987 大和郡山市 奈良学園中学校・高等学校 軽音楽部
5985 大和郡山市 奈良県立郡山高等学校 軽音楽同好会
9497 大和郡山市 奈良工業高等専門学校 軽音楽部
5994 天理市 天理高等学校 第一部 フォークソング同好会
5991 天理市 奈良県立添上高等学校 音楽部
6005 奈良市 育英西高等学校 音楽部
6007 奈良市 東大寺学園高等学校 音楽部
6008 奈良市 奈良育英高等学校 軽音楽部
6002 奈良市 奈良県立山辺高等学校 軽音楽同好会
6000 奈良市 奈良県立西の京高等学校 軽音楽部
6010 奈良市 奈良女子高等学校 軽音楽サークル
5996 奈良市 奈良女子大学附属中等教育学校 軽音楽部
6009 奈良市 奈良大学附属高等学校 軽音楽部

■和歌山県

8162 伊都郡 高野山高等学校 軽音楽・ダンス部
8148 伊都郡 和歌山県立笠田高等学校 ギター部
8160 海草郡 慶風高等学校 軽音楽部
8144 海草郡 和歌山県立海南高等学校大成校舎 軽音楽部
8146 海南市 海南市立海南下津高等学校 軽音楽同好会
8143 海南市 和歌山県立海南高等学校 軽音楽部
8178 紀の川市 和歌山県立粉河高等学校 軽音部
8154 橋本市 和歌山県立橋本高等学校 ギター部
8176 御坊市 和歌山県立日高高等学校 フォークソング部
8173 田辺市 和歌山県立南紀高等学校 バンド部
8175 田辺市 和歌山県立南部高等校龍神分校 音楽愛好会
8180 有田郡 和歌山県立有田中央高等学校 軽音楽同好会
8167 和歌山市 和歌山県立星林高等学校 軽音楽部
8182 和歌山市 和歌山県立和歌山工業高等学校 軽音楽部
8183 和歌山市 和歌山県立和歌山高等学校 総合音楽部 軽音楽班
8184 和歌山市 和歌山市立和歌山高等学校 軽音楽部
8186 和歌山市 和歌山信愛中学校・高等学校 軽音楽部

■鳥取県

8194 鳥取市 青翔開智中学校 軽音楽部
9518 米子市 米子工業高等専門学校 軽音楽同好会

■島根県

8266 益田市 明誠高等学校 軽音楽部
8254 江津市 石見智翠館高等学校 軽音楽部
8233 江津市 島根県立江津工業高等学校 音楽部
8232 鹿足郡 島根県立吉賀高等学校 音楽部
8241 出雲市 出雲西高等学校 軽音楽同好会
8247 松江市 松江西高等学校 軽音楽同好会
8252 松江市 松徳学院中学校高等学校 ロックバンド部
8249 松江市 島根県立松江南高等学校 フォークソング同好会

■岡山県

8275 岡山市 岡山学芸館高等学校 軽音同好会
8285 岡山市 岡山県立岡山操山高等学校 音楽部
8289 岡山市 岡山県立岡山朝日高等学校 音楽部
8291 岡山市 岡山県立岡山南高等学校 軽音楽同好会
8293 岡山市 岡山県立岡山芳泉高等学校 軽音楽部
8326 岡山市 岡山県立西大寺高等学校 フォークソング同好会
8283 岡山市 岡山商科大学附属高等学校 軽音楽部
8316 岡山市 山陽女子中学校・高等学校 軽音愛好会
8317 岡山市 就実高等学校 ギター・マンドリン部
8324 岡山市 瀬戸南高等学校 ギター同好会
8328 岡山市 創志学園高等学校 軽音同好会
8355 岡山市 明誠学院高等学校 軽音楽部
8307 玉野市 岡山県立玉野高等学校 軽音楽部
8309 玉野市 玉野市立玉野備南高等学校 軽音楽部
8277 高梁市 岡山県高梁日新高等学校 軽音楽部サークル
8270 浅口市 おかやまし陽高等学校 ギター部
8310 浅口市 金光学園中学・高等学校 軽音楽部
8304 倉敷市 岡山県立玉島高等学校 軽音楽部
8337 倉敷市 岡山県立倉敷商業高等学校 フォークソング同好会
8340 倉敷市 岡山県立倉敷中央高等学校 軽音楽同好会
8331 倉敷市 倉敷高等学校 軽音楽部
8333 倉敷市 倉敷市立工業高等学校 ミュージック部
8335 倉敷市 倉敷市立精思高等学校 軽音楽部
8278 津山市 岡山県作陽高等学校 軽音楽部
8359 美作市 岡山県立林野高等学校 軽音楽同好会

■広島県

8379 安芸郡 広島県立海田高等学校 軽音楽部
8408 安芸郡 広島国際学院高等学校 軽音楽部
8381 安芸高田市 広島県立吉田高等学校 軽音楽部
8397 安芸高田市 広島県立向原高等学校 音楽部
8396 呉市 呉青山中学校・高等学校 音楽部
8372 呉市 広島県立音戸高等学校 軽音楽同好会
8392 呉市 広島県立呉三津田高等学校 フォークソング部
8394 呉市 広島県立呉商業高等学校 軽音楽部
8398 呉市 広島県立広高等学校 軽音楽部
8361 広島市 AICJ 中学校・高等学校 軽音楽部
9271 広島市 クラーク記念国際高等学校 広島キャンパス 軽音部
8367 広島市 広島県立安古市高等学校 軽音楽部
8375 広島市 広島県立可部高等学校 軽音楽部
8380 広島市 広島県立祇園北高等学校 軽音楽部
8388 広島市 広島県立五日市高等学校 軽音楽部
8402 広島市 広島県立広島皆実高等学校 軽音楽部
8404 広島市 広島県立広島観音高等学校 軽音楽同好会
8406 広島市 広島県立広島工業高等学校 軽音楽部
8409 広島市 広島県立広島泰寺高等学校 軽音楽部
8421 広島市 広島県立広島商業高等学校 軽音楽部
8429 広島市 広島県立高陽高等学校 ギター部
8430 広島市 広島県立高陵高等学校 軽音楽部
8416 広島市 広島市立基町高等学校 フォークソング部
8416 広島市 広島市立丹入高等学校 軽音楽部
6016 広島市 広島大学附属高等学校 軽音楽班
8428 広島市 広陵学園 広陵高等学校 フォークソング部
8437 広島市 山陽高等学校 軽音楽部
8440 広島市 修道中学校・修道高等学校 音楽班
8448 広島市 進徳女子高等学校 軽音楽部
8449 広島市 崇徳中学校・高等学校 軽音楽部
8471 広島市 比治山女子中学・高等学校 フォーク部
8457 江田島市 広島県立大柿高等学校 音楽部
8470 三原市 如水館高等学校 軽音楽部
8435 三次市 広島県立三次高等学校 音楽部
8373 山県郡 広島県立加計高等学校 軽音楽部
8374 山県郡 広島県立加計高等学校芸北分校 バンド同好会
8455 山県郡 広島県立千代田高等学校 軽音楽部
8462 竹原市 広島県立忠海高等学校 軽音楽部
8376 東広島市 広島県立河内高等学校 軽音楽部
8377 東広島市 広島県立賀茂高等学校 軽音楽部
8488 東広島市 広島県立豊田高等学校 軽音楽部
8382 廿日市市 広島県立宮島工業高等学校 軽音楽部
8432 廿日市市 広島県立佐伯高等学校 音楽部
8467 廿日市市 広島県立廿日市高等学校 ギター部
8468 廿日市市 広島県立廿日市西高等学校 軽音楽同好会
8438 廿日市市 山陽女学園中等部・高等部 軽音楽部
9270 尾道市 広島県立因島高等学校 軽音楽部
8475 尾道市 広島県立尾道北高等学校 音楽部
8473 尾道市 尾道中学校・高等学校 軽音楽部
8445 府中市 広島県立上下高等学校 軽音楽同好会
8476 府中市 広島県立府中高等学校 フォーク部
8371 福山市 英数学館高等学校 軽音楽部
8387 福山市 広島県立戸手高等学校 軽音楽部
8443 福山市 広島県立松永高等学校 音楽研究部
8447 福山市 広島県立神辺高等学校 軽音楽部
8479 福山市 広島県立福山葦陽高等学校 アコースティックギター部
8424 福山市 広島大学附属福山中・高等学校 軽音楽部
8458 豊田郡 広島県立大崎海星高等学校 音楽部

■山口県

8520 宇部市 慶進中学校・高等学校 軽音楽同好会
8494 宇部市 山口県立宇部高等学校 器楽部
8498 宇部市 山口県立宇部中央高等学校 軽音楽同好会
8500 下関市 下関国際高等学校 軽音楽部
8558 下関市 梅光学院中学校・高等学校 軽音楽部
8529 山口市 山口県立山口高等学校 ギター部
8491 山陽小野田市 サビエル高等学校 軽音楽部
9502 周南市 晃英館中学校 軽音楽部
8552 周南市 山口県立徳山高等学校 軽音楽部
8559 萩市 萩光塩学院高等学校 軽音楽部
8538 美祢市 成進高等学校 軽音同好会

■徳島県

8579 徳島市 香蘭高等学校 音楽部
8587 徳島市 徳島県立城東高等学校 軽音楽部
8600 徳島市 徳島文理中学校・高等学校 音楽同好会

■香川県

8614 さぬき市 寒川高等学校 軽音楽部
8615 観音寺市 香川県立観音寺第一高等学校 ギター同好会
8622 丸亀市 香川県藤井高等学校 軽音楽部
8618 丸亀市 香川県立丸亀城西高等学校 軽音楽同好会
8626 高松市 香川県立高松工芸高等学校 軽音楽部
8630 高松市 香川県立高松西高等学校 軽音楽同好会
8634 高松市 香川県立高松南高等学校 軽音楽部
9520 高松市 香川高等専門学校 高松キャンパス 軽音楽部
8631 高松市 高松第一高等学校 フォーク部
9521 三豊市 香川高等専門学校 詫間キャンパス 軽音楽部
8645 小豆郡 香川県立小豆島中央高等学校 ギター部
8646 善通寺市 尽誠学園高等学校 軽音楽同好会

■愛媛県

8690 松山市 愛媛県立松山東高等学校 ギター研究部
8685 松山市 松山城南高等学校 軽音楽部
8703 松山市 聖カタリナ学園高等学校 軽音楽同好会

■高知県

8731 安芸市 高知県立安芸中・高等学校 ギター部
6017 吾川郡 高知県立伊野商業高等学校 軽音楽部
8745 吾川郡 高知追手前高等学校 吾北分校 軽音楽部
8733 高岡郡 高知県立窪川高等学校 軽音楽部
8737 高知市 高知県立高知丸の内高等学校 フォークソング部
8738 高知市 高知県立高知工業高等学校 音楽部
8740 高知市 高知県立高知小津高等学校 フォークソング部
8741 高知市 高知県立高知西高等学校 ギター部
8744 高知市 高知県立高知追手前高等学校 軽音楽同好会
8758 高知市 高知県立春野高等学校 音楽同好会
8739 高知市 高知市立高知商業高等学校 軽音楽同好会
8742 高知市 高知中央高等学校 軽音楽部
8743 高知市 高知中学校・高等学校 軽音楽同好会
8747 高知市 高知東高等学校 ギター部
8764 高知市 土佐塾高等学校 軽音楽部
8769 高知市 土佐女子高等学校 音楽部
8770 高知市 土佐女子高等学校 フォークソング部
8771 高知市 土佐中学校・高等学校 軽音楽部
8754 室戸市 高知県立室戸高等学校 音楽部
8761 須崎市 高知県立須崎高等学校 軽音楽部
8734 土佐市 高知県立高岡高等学校 軽音楽同好会
8763 南国市 清和女子中高等学校 軽音楽部

■福岡県

6021 遠賀郡 福岡県立遠賀高等学校 軽音楽同好会
6022 嘉穂郡 福岡県立嘉穂総合高等学校 軽音楽同好会
6036 久留米市 久留米大学附設高等学校 音楽部
6030 久留米市 久留米市立南筑高等学校 軽音楽部
6029 久留米市 福岡県立久留米筑水高等学校 軽音楽部
6037 宮若市 福岡県立鞍手竜徳高等学校 軽音楽部
6041 古賀市 福岡県公立古賀竟成館高等学校 軽音楽部
6050 小郡市 福岡県立三井高等学校 軽音楽部
6053 糟屋郡 福岡県立宇美商業高等学校 軽音楽部
6057 太宰府市 筑陽学園高等学校 ギター同好会
6065 大牟田市 大牟田高等学校 軽音楽愛好会
6063 大牟田市 福岡県立ありあけ新世高等学校 軽音楽同好会
6067 大野城市 福岡県立筑紫中央高等学校 軽音楽同好会
6077 中間市 希望が丘高等学校 軽音楽同好会
6076 中間市 福岡県立中間高等学校 軽音楽部
6088 田川市 福岡県立田川科学技術高等学校 軽音部
6089 田川市 福智高等学校 軽音楽部
6093 八女市 西日本短期大学附属高等学校 軽音楽同好会
6092 八女市 福岡県立八女農業高等学校 総合音楽部
6098 飯塚市 近畿大学附属福岡高等学校 軽音楽愛好会
6124 福岡市 九州産業大学付属九州高等学校 コーラス・ギター愛好会
9524 福岡市 星稜国際高等学校 軽音楽部
6137 福岡市 精華女子高等学校 軽音楽部
6101 福岡市 中村学園女子高等学校 軽音楽同好会
6102 福岡市 福岡県立玄洋高等学校 軽音楽同好会
6120 福岡市 福岡県立香椎高等学校 フォーク同好会
6099 福岡市 福岡県立城南高等学校 音楽部
6127 福岡市 福岡県立筑紫丘高等学校 ギターアンサンブル部
6103 福岡市 福岡県立筑前高等学校 軽音楽部
6136 福岡市 福岡県立博多青松高等学校通信制 軽音楽部
6111 福岡市 福岡県立福岡講倫館高等学校 軽音楽同好会
6100 福岡市 福岡市立博多工業高等学校 軽音楽部
6104 福岡市 福岡市立福岡女子高等学校 軽音楽部
6129 福岡市 福岡市立福翔高等学校 ギター部
6130 福岡市 福岡女学院高等学校 軽音楽同好会
9448 福岡市 北海道芸術高等学校 福岡サテライトキャンパス 軽音楽部
6122 福岡市 立花高等学校 軽音楽同好会
6141 福津市 福岡県立水産高等学校 軽音楽同好会
6173 北九州市 仰星学園高等学校 軽音楽部
6175 北九州市 九州国際大学付属高等学校 軽音楽部
6150 北九州市 高稜高等学校 軽音楽部
6171 北九州市 自由ヶ丘高等学校 軽音楽同好会
6155 北九州市 常磐高等学校 軽音楽部
6162 北九州市 真鍋館高等学校 軽音楽部
6160 北九州市 東筑紫学園高等学校 ギター部
6159 北九州市 美和野女子高等学校 軽音楽部
6153 北九州市 福岡県立小倉東高等学校 音楽部
6168 北九州市 福岡県立八幡工業高等学校 ギター部
6174 北九州市 福岡県立八幡高等学校 フォーク同好会
6165 北九州市 福岡県立八幡南高等学校 軽音楽部
6166 北九州市 福岡県立北筑高等学校 ギター部
6178 北九州市 豊国学園高等学校 軽音楽部
6147 北九州市 明治学園中学高等学校 器楽部
6183 柳川市 杉森高等学校 軽音楽部

■長崎県

8826 長崎市 活水高等学校 軽音楽同好会
8844 長崎市 純心中学校・純心女子高等学校 軽音楽同好会
8866 長崎市 長崎玉成高等学校 軽音楽部
8867 長崎市 長崎県立長崎工業高等学校 ギター部
8859 諫早市 創成館高等学校 音楽部

■熊本県

8909 菊池市 菊池女子高等学校 軽音楽同好会
8914 玉名市 熊本県立玉名工業高等学校 軽音楽同好会
8915 玉名市 熊本県立玉名高等学校 ギター部
8902 熊本市 ルーテル学院中学・高等学校 軽音楽部
8907 熊本市 開新高等学校 軽音楽部
8921 熊本市 熊本県立熊本高等学校 アコースティックギター同好会
8925 熊本市 熊本県立熊本商業高等学校 ギター部
8936 熊本市 熊本県立済々黌高等学校 軽音楽同好会
8977 熊本市 熊本県立湧心館高等学校 音楽部
8922 熊本市 熊本県国府高等学校 軽音楽部
8928 熊本市 熊本中央高等学校 軽音楽部
8931 熊本市 慶誠高等学校 軽音楽部
8943 熊本市 尚絅中学・高等学校 軽音楽同好会
8933 上益城郡 熊本県立甲佐高等学校 音楽部
8965 八代市 熊本県立八代工業高等学校 軽音楽部
8940 八代市 秀岳館高等学校 軽音楽部

■大分県

9000 大分市 大分県立情報科学高等学校 音楽部
9004 大分市 大分国際情報高等学校 音楽研究同好会
9017 竹田市 竹田南高等学校 音楽同好会
9040 別府市 明豊中学・高等学校 軽音楽部

■宮崎県

9087 えびの市 日章学園九州国際高等学校 軽音楽部
9072 延岡市 延岡学園高等学校 軽音楽部
9045 延岡市 宮崎県立延岡工業高等学校 軽音楽同好会
9073 延岡市 聖心ウルスラ学園高等学校 軽音楽同好会
9051 宮崎市 宮崎学園中学校・高等学校 器楽同好会
9096 宮崎市 鵬翔中学校・高等学校 軽音楽部
9079 都城市 宮崎県立都城西高等学校 音楽部
9078 都城市 都城聖ドミニコ学園高等学校 音楽部
9094 日向市 宮崎県立富島高等学校 軽音楽部
9081 北諸県郡 都城東高等学校 軽音楽部

■鹿児島県

9117 いちき串木野市 鹿児島県立串木野高等学校 軽音楽同好会
9177 阿久根市 鹿児島県立鶴翔高等学校 軽音楽部
9193 姶良市 龍桜高等学校 軽音楽同好会
9168 薩摩川内市 鹿児島県立川内高等学校 軽音楽部
9126 指宿市 鹿児島県立山川高等学校 軽音楽部
9134 鹿屋市 鹿屋市立鹿屋女子高等学校 軽音楽部
9133 鹿屋市 鹿児島県立鹿屋高等学校 軽音楽同好会
9143 鹿児島市 鹿児島実業高等学校 軽音楽同好会
9147 鹿児島市 鹿児島情報高等学校 軽音楽部
9190 出水市 鹿児島県立鶴田女子高等学校 軽音楽部
9158 出水市 出水中央高等学校 軽音楽同好会
9153 西之表市 種子島高等学校 軽音楽部
9146 日置市 鹿児島城西高等学校 軽音楽部
9149 霧島市 鹿児島第一高等学校 軽音楽部

■沖縄県

9213 うるま市 沖縄県立具志川高等学校 軽音部
9214 うるま市 沖縄県立具志川商業高等学校 軽音楽部
9225 うるま市 沖縄県立前原高等学校 軽音楽部
9228 うるま市 沖縄県立中部農林高等学校 軽音楽部
9258 うるま市 沖縄県立与勝緑が丘中学校・与勝高等学校 軽音部
9197 浦添市 浦添高等学校 現代音楽部
9196 浦添市 沖縄県立浦添工業高等学校 軽音楽部
9230 浦添市 沖縄県立那覇工業高等学校 軽音楽部
9259 浦添市 沖縄県立陽明高等学校 軽音楽部
9220 浦添市 昭和薬科大学附属高等学校 軽音部
9194 沖縄市 沖縄県立コザ高等学校 軽音楽部
9211 沖縄市 沖縄県立球陽高等学校 軽音楽部
9244 沖縄市 沖縄県立美東工科高等学校 軽音楽部
9246 沖縄市 沖縄県立美里高等学校 軽音楽部
9222 沖縄市 星槎国際高等学校沖縄学習センター 軽音楽部
9199 宜野湾市 沖縄カトリック中学高等学校 軽音部
9206 宜野湾市 沖縄県立宜野湾高等学校 軽音楽部
9227 宜野湾市 沖縄県立中部商業高等学校 軽音同好会
9247 宜野湾市 沖縄県立普天間高等学校 軽音楽部
9208 宮古島市 沖縄県立宮古工業高等学校 音楽部
9209 宮古島市 沖縄県立宮古高等学校 軽音楽部
9210 宮古島市 沖縄県立宮古総合実業高等学校 軽音楽部
9205 国頭郡 沖縄県立宜野座高等学校 軽音楽部
9248 国頭郡 沖縄県立辺土名高等学校 軽音楽部
9251 国頭郡 沖縄県立北山高等学校 軽音楽部
9202 糸満市 沖縄県立沖縄水産高等学校 軽音楽部
9216 糸満市 沖縄県立糸満高等学校 軽音楽部
9241 石垣市 沖縄県立八重山高等学校 軽音楽部
9242 石垣市 沖縄県立八重山商工高等学校 軽音楽同好会
9243 石垣市 沖縄県立八重山農林高等学校 軽音楽部
9223 中頭郡 沖縄県立西原高等学校 軽音楽部
9229 中頭郡 沖縄県立読谷高等学校 軽音楽部
9252 中頭郡 沖縄県立北谷高等学校 現代音楽部
9253 中頭郡 沖縄県立北中城高等学校 軽音楽部
9204 島尻郡 沖縄県立開邦高等学校 軽音楽部
9207 島尻郡 沖縄県立久米島高等学校 軽音楽部
9215 島尻郡 沖縄県立向陽高等学校 軽音楽部
9226 島尻郡 沖縄県立知念高等学校 軽音楽同好会
9236 島尻郡 沖縄県立南部商業高等学校 軽音楽部
9238 島尻郡 沖縄県立南風原高等学校 軽音楽部
9217 那覇市 沖縄県立首里高等学校 軽音楽部
9218 那覇市 沖縄県立首里東高等学校 軽音楽部
9219 那覇市 沖縄県立小禄高等学校 軽音楽部
9221 那覇市 沖縄県立真和志高等学校 軽音楽部
9231 那覇市 沖縄県立那覇高等学校 軽音楽部
9232 那覇市 沖縄県立那覇国際高等学校 軽音楽部
9233 那覇市 沖縄県立那覇商業高等学校 軽音楽部
9234 那覇市 沖縄県立那覇西高等学校 軽音楽部
9212 那覇市 興南高等学校 軽音楽部
9237 豊見城市 沖縄県立南部農林高等学校 軽音楽部
9249 豊見城市 沖縄県立豊見城高等学校 軽音楽部
9250 豊見城市 沖縄県立豊見城南高等学校 軽音楽部
9254 名護市 沖縄県立北部農林高等学校 軽音同好会
9256 名護市 沖縄県立名護高等学校 軽音楽部
9257 名護市 名護商工高等学校 軽音楽部

INTERVIEW

学校に来づらくなっている生徒が登校するきっかけになるような部活動にしたい

【石川県】金沢学院高等学校 軽音楽部 顧問　長出泰典

残暑もコロナも少し落ち着いたかな、と思われる９月の初旬。入れ替えでやってくる台風への備えも行いながら、来たるべく文化祭や体験入学での演奏を控えて大変お忙しい中、石川県の軽音楽部にとってはまさに夏の嵐のような存在の長出先生に、リモート画面では納まらない様々なことについてお聞きしました。

文化祭でおしまいでは寂しかった

ー まずは、軽音楽部の顧問になられた経緯からお聞きしたいと思います。

▶実は、ずっと運動部の顧問と掛け持ちなんですが、軽音楽部が正式な部活動として認められて今年で 11 年目になります。その前の同好会だった時代が２年、さらにその前のカオス状態だった（笑）１年間を含めると、下地作りに３年ほどかかりましたが、無事に出港できたのが 11 年前です。

ー 立ち上げから関わっておられるんですね。

▶当校に赴任した１年目が生徒会担当で、毎年９月に行われる文化祭の仕事も担当することになりました。委員会で生徒からバンド演奏をしたいという発案があって、私が音楽をやっていたものですから､上司から「間に入ってやってくれ」と言われました。それで、ドラムは何を揃えたら良いかとか、アンプはどんなものを借りたら良いかとかの相談に乗ってあげたのがきっかけかもしれません。

ー そこから火がついて同好会へと。

▶当校では、特進コースが隔週の土曜日に授業をやっていまして、土曜日に部活動がない生徒を何とか学校に来させようというプロジェクトが当時あったんです。そこで私が手を挙げて、午前中に３時間ぐらい「ギター・クリニック」のようなことをしたいと提案しました。文化祭が終わって「はい、おしまい」では寂しかったので…。それが次の段階につながったんだと思います。潮の流れが変わったというか、追い風になったんじゃないでしょうか。

「楽器が弾けるなら」と学校に来る

ー 順風満帆な出港ですね。

▶いやいや、波には乗れましたが逆風は常に吹いていましたよ（笑）。正式な「部」ではないので活動場所もなく、自分の教室を放課後に解放して練習したりしていました。本当に「同好会」って感じでしたね。「ちょっと面白そうだ」くらいで参加している生徒もいましたし。

ー 同好会らしい楽しい雰囲気ですね。

▶当時はまだいわゆる素行が悪い生徒もいて、そんな生徒にも「土曜日はギター担いで学校来いよー」なんて言ったりすると、意外と素直に来るんですよね。一番嬉しかったのは、ちょっと気持ちが弱くて学校に満足に通えていなかったり、心のトラブルとかがあって学校に足が向かなくなってしまっていた生徒が、「楽器が弾けるなら」ということで顔を出すようになったことですね。

ー その頃の部員は何人いたんですか？

▶１年目はちゃんと活動できる生徒だけを入部させたので、土曜日のギター・クリニックに参加していた３年生が２人、２年生が１人、１年生が３人の合計６人でした。周りの方の協力で機材などを何とか揃えて、学校に怒られながらも空き教室で練習したりしていました。今では考えられないですけど、当時は遅い時間まで部活動をやっていたこともあります。地方ならではかもしれませんが、遅くなる時は保護者に連絡して生徒を車で送ったりしていました。やはり、学校と家とでは態度が違うんでしょうね。子供が何かに打ち込んでいることがわかって感謝されることも多かったです。かなりマンパワーでやっていましたが、20 代後半だったからできたことかもしれません。当校には部活動に昇格するには「部員が 10 人以上いること」という規約があるので、２年間は何とか部員を 10 名以上集めて、次の年（2010 年）に部活動に昇格することができました。

学校からの評価は生徒のおかげ

ー 10 年でこれだけ学校に認められる部活動になるのは、とても早いと感じるのですが。

▶そうですね、早いと思います。でも苦労の多い 10 年だったとも言えます。顧問通信に掲載されている先生方のお話を読むと、本当に共感することばかりです。でも、学校からの評価は間違いなく生徒のおかげだと思っています。例えば、文化祭の催しの中でも軽音楽部は延べ 250 人から 300 人ぐらい集客があったり、体験入学の時に軽音楽部に体験入部してくれる人が多くなってきたことが、だんだん学校側の見方も変わってきた要因だと思います。

ー 現在の部員は何名ですか？

▶２年生が８人、１年生が 12 人です。３年生が５人いるのですが、今はセミ・リタイヤ中なので部活動に出てきていません。春に受験を控えている生徒は別ですが、数名は上級校への内定がそろそろ出るので、１年生の指導に戻って来てくれると思います。でも、例年でさえ１年生と３年生は４月から６月までの３ヶ月ほどしか顔を合わせないので、あまり交流がなかったりするのですが、今年はコロナ禍でさらに付き合いは薄くなりましたね。たぶん顔も名前もお互いにわからない、という状態じゃないでしょうか。

ー 本当に大変な年になりました。

▶今年度はどうなるかわかりませんが、そんな３年生にはご褒美で毎年２月に「卒業ライブ」を長出プレゼンツでやってあげているんです。毎年なのでバレバレなんですが、花束や寄せ書きの色紙を贈呈したり、芸術デザインコースの部員が消耗品を使って手作りのプレゼントを贈ったりしています。去年は割れたシンバルの破片を使ってペンダントを作ってましたね。

合奏練習がサンドイッチされてます

ー 普段はどんな活動をされていますか？

▶基本的に毎日３時間ほど練習時間があるのですが、最初の１時間は特進クラスがまだ授業をやっているので、参加できる部員はウォーミング・アップをしたり、パート練習や個人練習をしています。で、次の１時間が合奏練習です。移動が少ないドラム部屋に集まって行っています。部室には電子ドラムがあるので、まだ大きな音に慣れていない１年生が主に使っています。以前は合奏練習を最後にやって、片付けて終礼という流れだったのですが、合奏練習が終わってからもそれぞれが確認とかをしたいというリクエストがあって、今では最後の１時間がまた個人の練習時間になっています。合奏練習がサンドイッチされている感じです。

ー ミーティングはされていますか？

▶はい。終礼は毎日行っていて、翌日、来週、来月の確認などをしていますが、今はコロナの関係でミーティングへの参加を強制できないので、全員参加というわけではありません。でも、LINE グループを作ったり様々な方法で連絡が行き届くようにしています。

ー 他に、コロナ感染防止対策はどんなことをされていますか？

▶当校では、部活動前に手を洗ったかとか、終礼前に手を洗ったかといったことをチェックするシートがありまして、それに毎日記入しています。そうそう、某楽器メーカーから発売されているハイハット・スタンドを改良した「足踏み式消毒液ポンプ」があるじゃないですか。あれを美術部の協力も得て GW 前から自作して導入したんです。結構評判が良くて、部活動が再開するまでは職員室や玄関、保護者懇談会の時のホール入り口などに置いておきました。あとは、演奏中はもともと必ずマスク着用なんですが、マイクには風防カバーをかぶせて、さらにブーム式のマイク・スタンドを使って自作した透明シートを立ててやらせています。もちろん、終礼後にはみんなで使った教室を細かく消毒スプレーをかけて拭くといった除菌作業もしています。全部で30分ぐらいかかってしまいますが、そのぐらいやらないと軽音楽部は活動できないかなと思っています。「ちゃんとやってますよ」アピールにもなりますしね。

高校生の経験値を上げてあげたい

ー 近い目標は文化祭ですか？

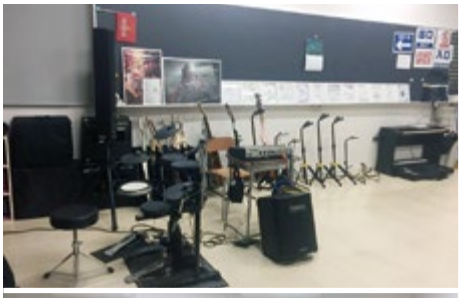
▶来週の文化祭では、２年生と３年生が演奏します。今年はまだ１年生がライブ・デビューできていないんですが、今月（９月）末に体験入学があるので、そこに来てくれた中学生の前で初めて演奏させようと考えてます。今はそれに向けてお尻を叩いている感じです。先日、他校さん…まだ同好会の手前な感じの学校さんの１年生バンドが堂々と３曲ぐらい演奏している映像を見て、闘志がメラメラと湧いてきているみたいです（笑）。うまくいっても失敗しても成長するきっかけになりますので頑張って欲しいです。大きな目標の１つとしては、自分たちでオリジナル曲を作ろうなって言っています。

ー 石川県全体の動きはいかがですか？

▶石川県高文連の音楽専門部には、合唱、郷土芸能（和太鼓）、ハンドベル、室弦楽という部門があるんですが、そこに軽音楽部門を加えてもらいました。現在、軽音楽部門に加わっている学校は６校ですが、他にまだ同好会レベルの学校もいくつかあるので、今後部活動に昇格して参加してくれたら嬉しいなと思っています。昨年は、２日間行われた音楽専門部の合同音楽会の２日目に、軽音楽部門だけでクリニックや演奏会を自前企画ですけれども行いました。今後、音楽専門部から暖簾分けしてもらって、軽音楽専門部を立ち上げたい気持ちはあります。しかし、それには他県の皆さんからのアドバイスに従って、一緒にやっていただける「仲間」を増やしていくことが大事だと思っています。軽音楽部の熱は高まって来ていると感じているので、活動が活発になってきている学校の先生たちと連絡を取り合って頑張っていきたいと思います。コロナが収まれば、当校での合同演奏会にお誘いしたいですね。

ー 最後に、どんな思いで顧問をされているかをお聞きしたいと思います。

▶メンタル的に学校に来づらくなっている生徒が登校するきっかけになって欲しくて軽音楽部を始めました。もちろん、礼儀やコミュニケーション能力など、社会に出た時のために身につけて欲しいこともたくさんありますが、部活動を通して高校生としての経験値を上げてあげたいと思っています。その気持ちは軽音楽部を立ち上げた時から変わっていません。実際に、中学の時は引きこもりだったという生徒が、３年次には皆勤で卒業していった、なんてことも多いんです。運動部は身体的な発散になるかと思うのですが、文化部は内に溜まっている心のモヤモヤをガス抜きできると思うんです。軽音楽部で、自分という存在が良い方向に変わってくれたら良いなと思います。



▲今年度から新しくなった部室の様子

INTERVIEW

自分たちでいろいろなことをクリエイトできるところがすごく良いと思います

【東京都】新渡戸文化高等学校 軽音楽部 顧問　塚越 環

東京のど真ん中、中野区に所在する歴史ある新渡戸文化高等学校は、軽音楽部が新しく成長している学校です。まだまだコロナ禍で十分な活動ができなかったり、感染対策に神経を使わなければいけないご時世の中、部員のモチベーションを保ち、部活動の在り方を考えることは急務です。塚越先生にお話を伺って、「時代に合った距離感」の必要性を感じました。

今年の目標は「ファンを作る」

ー 現在の部員数を教えてください。

▶２年生が６人、３年生が２人です。新入生はまだ入部していません。例年だと、GW 明けに入部という流れなんですが、１学期はすべてオンラインでの授業だったので、部活動もなるべくしない、できないという状態でした。部活動紹介も今年はリモートで行い、実際に部活動ができるようになったのは夏休みからです。８月に体験入部をして、最終的に入部すると思われるのは５人です。

ー 学内での認知度や地位はいかがですか？

▶軽音楽部はすごく活動し始めているので、学内でかなり認められてきていると思います。当校では剣道部が一番なんですが、その次ぐらいに頑張っていると言っていただいています。文化部では最も評価してもらっている感じです。

ー すごいですね。珍しいんじゃないですか？

▶はい。ありがたいと思います。毎年、軽音楽部で目標を立てているんですが、今年の目標は「ファンを作る」になりました。今年はコロナ禍でライブに出向いていったり、他校と交流することがなかなかできないので、外に発信していく前に、まず校内で軽音楽部やそれぞれのバンドのファンを作りたいっていうのが、部員の中で目標として出ました。

ー 素晴らしいアイデアですね。

▶来週（注：取材日９月５日）の木曜日に、初めて学校の中庭でライブを開くことになりました。大きい音は出せないのでアコースティックで行うつもりなんですが、部員みんなで協力して管理職の先生や部活動を総括している先生に許可をもらいに行ったりしました。さらに「アフタースクール」という学童保育の方にも交渉しにいって、何とか実現することになりました。付属の小学校からは「子どもたちにも聴かせたい」と言っていただいたりして、とても活動しやすい環境にあると思います。「全員マスクしてやります」って言ったら、「顔が見えないのは寂しい。フェイス・シールドあげるから使いなさい」と言っていただけました。

「部則」を作ったことが大きい

ー 顧問になられた経緯を教えてください。

▶たまたまだと思います（笑）。前任の顧問の先生が退職なされたタイミングで私が着任し、ちょうど音楽の先生だったというだけだと思います。でも、その年に「もう軽音楽部はなくなるから」って言われていたんです。なので、私と一緒に入学した１年生が最後の部員になる予定でした。それが今の３年生なんですが、みんなすごくやる気があって、最後なのであれば、良い形で終わらせてあげたいなと思ってやっていたら、他の先生方から「頑張っているから続けさせてあげて欲しい」という声があったりして、継続ということになりました。

ー それは良かったですね。廃部どころか今や文化部で１番になってるわけですからね。

▶そうですね（笑）。活動の幅も他の文化部より多いと思います。当校は普通科に様々なコースがあるんですが、美術コースの部員が部活動紹介や体験入部のためのポスターをデザインしたり、動画を作ったりして活躍してくれています。

ー 何だかドラマのシンデレラ・ストーリーのようですが、他の先生方が応援してくれるようになった理由はどこにあると思いますか？

▶以前、デジレコ・ジュニア誌に掲載していただきましたが、一番は「部則」を作ったことだと思います。他の部活動ではあまり聞かないのですが、ちゃんと部則を作って、そこに向かってやっているっていうところが評価していただけている大きな理由だと思います。あと、前任の顧問の先生の時には、外に出て行うライブが１回と文化祭の年２回しか演奏する機会がなかったと聞いています。今では積極的に外に出てライブを

▲新渡戸文化高等学校 軽音楽部の部則

行っているので、そういった面も頑張っていると感じてもらっている部分なのかなと思います。

ー 部則は効果的ですね。

▶当時、部員が 15 名ほどいたんですが、あまり部活動としてまとまっていなかったんです。個々に勝手にやっている感じで…。もちろん、軽音楽部はバンドごとの活動がメインになるんですけど、部活動としてやっているからには何かみんなで一緒にやっていきたいなという気持ちがありました。目標があった方がみんながまとまれるんじゃないかと思って部則作りを提案したら、賛同してくれる部員が多かったのでみんなで考えました。私は中学、高校と吹奏楽部だったので、はじめはそれに比べると軽音楽部はユルいなぁと思いましたけど（笑）、その自由さが今の時代には合っているとも思います。自分たちでいろいろなことをクリエイトできるところなんかはすごく良いなと思います。

「広報係を作ろう」「僕やる！」

ー 今後の目標のようなものはありますか？

▶特に大きなものはなくて、毎年その年の生徒に合わせてやっています。去年の生徒たちには「とにかくライブをやりたい。そういった場を作ってくれ、サポートしてくれ」って言われていたので、それをメインにやっていました。今年の生徒たちは、ライブがしたいっていうのはもちろんなんですが、とにかく「外に発信していきたい」という力がものすごく強くて、それが今年度の目標の「ファンを作る」につながっているんだと思います。あとは、SNS などを使って外に発信していきたいとも言っていて、先日のミーティングでは、「じゃあ、広報係を作ろう」「僕やるー！」なんていう声が上がったりしていました。SNS は慎重にやらなければいけない部分も多いので、しっかりサポートしながらバックアップしていきたいと思います。

ー 軽音楽部は音楽を演奏するだけではなく、企画力や制作力が養えるのも良いところですね。

▶はい。今度の中庭でのライブに向けても、管理職の先生方に見てもらうために自分たちで図面を iPad で作ったり、資料をプリントして 1 枚 1 枚配ったりと、いろいろ工夫していました。質問やアドバイスを 1 つずつクリアしていっている姿がすごく良いなと思います。コロナの感染予防対策についても、学校では消毒や検温などはもちろんしているのですが、普段の練習中にこちらが何も言わなくても、自分たちで「マスクしろ！」とか言ってやってます。普段は、毎日最初の点呼や終礼でやることなどを確認しています。2 週間に 1 度は全員参加のミーティングを行ったり、LINE のグループを作って情報共有をしたりしています。それでもこの間、終礼後に部員同士で「今日リモート会議やろう！」なんて言いながら帰っていました。

▲インタビュー取材後に行われた中庭でのライブの様子

ー 何か、イケイケ状態で良いですね。

▶そうですね（笑）。部員が少ないからまとまれてるっていう部分もあると思いますけど、生徒たちも「やってる感」があるようで、楽しんでいるみたいです。人数が少ないので全員に役割があるっていうことが大きいのかなって思います。もともとライブの時でも、演奏していない時は裏方をするっていうのが普通ですからね。

音楽は幸せを作る

ー 普段はどんな指導をされていますか？

▶本当に私は何にもしていなくて。それこそ裏方というか、生徒が何かしたいって言ってきたら、「じゃあ、こうしてみれば」とか「こうやって交渉すれば」とか言って生徒を動かしているだけです。当校が掲げている目標の 1 つに「自立型学習者」というものがあるんですが、自学自習というか、なるべく自分で考えて行動するようにさせています。練習を見にいってアンサンブルをアドバイスすることはありますが、実技面は自分たちで調べたりしてやっています。

ー オリジナルとコピー、どちらが多いですか。

▶東京はオリジナルを作っている学校が多いので、他校さんの演奏を見たりしてオリジナルを作るようになってきています。私はどちらでも構わないと思っているんですが、自分たちで考えてそうしているようなので、それぞれのバンドに任せています。

ー 目指している軽音楽部像のようなものはありますか？

▶当校の初代校長である新渡戸稲造先生が、「この世に生まれた大きな目的は、人のために尽くすことにある。自分の名誉や利益のためではない。自分が生まれた時からこの世を去るまで、まわりの人々が少しでも良くなれば、それで生まれた甲斐があるというものである」という言葉を残されているんです。また、学校も「Happiness Creator（幸せの創造者）」として他の人が幸せになるように、ということを目標にしています。音楽って聴いても演奏しても「幸せを作る」と思うんです。音楽と関わっていると平和に向かっていけると思うので、自分だけではなく、いろんな人を幸せにできる人になって欲しいなと思っています。そういったことは部活動を通してよく言っています。

ー 音楽の先生らしいお考えですね。

▶今年はコロナ禍でみんな「幸せ」とか「希望」について考えたと思うんですね。そんな中で、哲学的に「何で音楽を聴いたら幸せになるんだろう」って考えてみたり、「音楽を聴いてハッピーになった」と感じる瞬間があると思うので、その辺りも今後軽音楽部として出せていけたら良いなと思っています。

リモート顧問交流会レポート

ウィズコロナの軽音楽部

①宮城県：聖和学園高等学校 平林先生
②東京都：新渡戸文化高等学校 塚越先生
③神奈川県：柏木学園高等学校 佐藤先生
④千葉県：柏市立柏高等学校 玉置先生
⑤茨城県：茨城県立盲学校 甲斐先生
⑥愛知県：名古屋経済大学市邨高等学校 中村先生
⑦愛知県：名古屋市立名東高等学校 本夛先生
⑧愛知県：愛知県立瀬戸窯業高等学校 佐藤先生
⑨滋賀県：滋賀短期大学附属高等学校 安田先生
⑩兵庫県：兵庫県立兵庫高等学校 山之内先生
⑪愛知県：名古屋ビジュアルアーツ 大野先生
⑫全国学校軽音楽部協会：理事長 三谷

三谷：今日はお忙しい中をお集まりいただきまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルスの感染防止対策ということで、世間ではリモート会議が一気に広まり、今日のように、東から西まで各地の先生方に一堂に集まっていただき、こういう交流会を開くことが実現しました。今日は「ウィズコロナの中での部活動」というテーマでお話しいただければと思います。置かれた環境は地域ごとや学校ごとに違いますので、その対策に唯一の正解はないと思います。各地、各校の事例が何かの参考になればと思い、今日の交流会に至りました。このウィズコロナは来年以降もまだしばらく続くと思います。騒音防止のために閉め切って練習する環境で「空気の換気をしなさい」と言ったり、ドラムを中心に丸くなって練習しても密集になり、ボーカルが声を張り上げて練習すると密接になるということで、軽音楽部の活動の中で３密を避けるというのはすごく難しいと思います。そんな中、今日お集まりの先生方がどのように対応されているのかを披露していただければと思っています。余談ですが、当協会が推薦している、音を出さない練習システムの「サイレント･スタジオ」はこんな時代にマッチしているのかもしれません。校内で大きな音を出さないというか、大きな音が出ないシステムは、これからの軽音楽部にとって検討の余地がある機材ではないなと思います。

前置き長くなりましたが、さっそく平林先生から順にお願いします。

平林先生：聖和学園高校の軽音楽部の顧問をしております、平林と申します。実は昨年度、宮城県でバンドクリニックを開催できないかということで三谷先生にご相談させていただいた経緯がありました。１回目は台風で延期に、２回目はコロナで中止ということになり、結局昨年度は開催できずに大変残念でした。聞いたところですと、最近はまたバンドクリニックを再開されているというお話でしたので、また時期を見て相談させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

それで本校の様子ですが、５月には分散登校が少しずつ再開されまして、６月からは学校が本格的に始まりました。それに合わせて部活動も再開されました。ただですね､やはり換気と消毒、それから検温には基本として取り組むように学校や文科省からのガイドラインで指示されましたので、練習の時は完全にドアを開けた状態で換気を行い、さらに練習前後の手指の消毒、それから練習前の検温。検温については、毎回の

体温を記録してっていうような。そういうことを義務付けた形で今年度の練習を再開しました。

ただ、宮城県高文連の夏の県大会や仙台の定禅寺ジャズフェスティバルなどのイベントはすべて中止になってしまい、今年は練習の目標が定まらないものになってしまったなと思っています。部活動は再開したものの、来なくなっちゃった部員もいたり、新入生の入部も今年は例年よりちょっと少なかったというのが正直なところです。ただ、大会に追われない夏ということもありましたので、普段できなかったようなことを今年はやってみようと思いました。

今までできなかったこととして、私も楽器をやるものですから、「こうやって弾くんだよ」と生徒に演奏指導もするんですが、そこをあえて生徒主導のスタイルに変えていけないかということを今年は進めてみまして、大会やイベントに追われない分だけ、そういうところに時間を割くことができたかなと思っています。ただ、オンラインでライブを配信したり、映像を残したりは、本校ではなかなか上手にできなかったですね。同じ宮城県にある多賀城高校さんは、オンラインでのライブ配信や高知高文祭用の動画撮影など非常に上手にやっていたのが印象的でした。

９月に入りまして、ようやく自粛が緩和される部分がありましたので、他校との合同ライブや文化祭りの代わりのステージ発表会みたいなものができるようになりました。引退のステージが見つからなかった３年生は、先日の文化祭代わりのステージで無事に引退を迎えることができました。ただ、宮城県ではまた感染者が増え始めているようでして、秋以降もどういった形でライブや大会が開催できるのか、まだ定まっていないなっていうのが実状です。

本校の現状ですが、向こう数ヶ月の情報もあまり入ってこなくなったなというところがあります。イベント開催のお知らせや合同ライブのお誘いなどは、例年に比べるととても少ないですね。ライブハウスでの高校生イベントも昨年度までは数多くあったようですが、今年度はそういうものも、まだ自粛されているようでして、部員たちの間にもそういった情報は入ってこないようです。その辺が今後どの段階で再開されていくのかがまだ見えないということが今課題としてある状況です。

三谷：ありがとうございました。何かご質問は皆さんありますか？ 私から少し質問があるのですが、部室の中でのビニールシートなどでシールドを設けたりとか、物理的な対策はされていますか？

平林先生：そうですね、まずは距離ですね。マスクしているときは１メートル、マスク外しているときは２メートルっていうような…。ボーカル以外は常にマスク着用を基本としています。練習中もやっぱり楽器同士の立ち位置だったりですね。その辺はもう一度、指示をし直しました。今まではお互いに向き合う練習を基本にしていましたが、今はそうさせないで、あえて正面向いて距離をとるように指示をしています。それから、マイクのグリルボールの消毒です。やっぱりボーカル周りが一番気を遣っているかなと思います。

三谷：ありがとうございました。次は、新渡戸文化高校の塚越先生、よろしくお願いします。

塚越先生：新渡戸文化高校軽音楽部顧問の塚越と申します。東京都の中野区にある私立の学校です。まずはじめに学校のことを説明をさせていただきます。新渡戸文化高校は、新渡戸稲造先生が初代校長先生だった学校です。学校の目標として、ハピネス・クリエーターっていうことを掲げています。ハピネス・クリエーターっていうのは、「幸せの創造者」のことで、自分だけではなくて、自分の大切な人だったりとか、自分の関わっている人、あと周りの人とか、すべての人を幸せにできるような人を作っていくっていうことを目指しています。なので、学校の目標でもあるように、軽音楽部としても幸せを創るということを目標にしてやっています。自分だけではなくて、他の人の幸せっていうことを考えると、やっぱり自分だけではなくて、利他的に考えることが必要になってくるので、自立して自分から発信していけることを目指しています。

１学期間は全部リモートでの授業だったんですが、その中でも自分たちでミーティングを開いていろんなことを話し合ってきました。このミーティングは私がやろうって言ってやったものではなくて、生徒の中から、活動を止めないで、自分たちで活動をしていきたいということで自発的にこのミーティングが上がってきました。

ようやく夏休みになって、登校できるようになったので、実質、活動がちゃんと始められたのが夏休みからになります。本入部が９月11日ということで、本当にこの間、やっと新入部員が入り、今日もさっきまで新入生歓迎会をしていました。みんなで頑張っていこうっていうことをやっと決められました。

リモートでのミーティングでは、これからの活動についてと新入生の勧誘の２つを主に話していました。これからの活動については、やっぱり活動ができない不安の中で、自分たちは何ができるんだろうっていうことをよく考えていました。自分たちにできる最大限のことをしていかなきゃいけないけど、自分たちも音楽がやりたいのにできないという状況を、すごく悔しいというか、歯がゆく思っているところがすごくありました。各バンドではリモートでもオリジナル曲を作ったりとか、どのようにしてこれからやっていこうかということをよく話し合っている様子がありました。

新入生勧誘のことに関してなんですが、部活動紹介も部活動体験もすべてオンラインで１学期間に行っていました。体験って言っても、楽器をZoomでやるということは不可能なので、各楽器について自分たちで調べたりして、デジレコ・ジュニアを毎号いただいていたので、そういうのを参考にしながら、自分たちで絵を描いたりして、1年生に伝えていました。Zoomだったので、ブレイク・アウト・ルームという小グループに分けるような機能を使って、それぞれのパートの希望を聞いて、１年生と２、３年生がしっかり話し合えるような場を作ったりもしていました。

夏休みになってやっと学校に来られるようになった時にはやっぱりコロナウイルス対策ということで、マスク着用、あと、密にならないようにするということと、20分から30分に一度は換気をしましょうとか、共有楽器の使用後の消毒を徹底していました。これらのことは軽音楽部だけではなくて、他の部活とも共有して、学校全体としてこのルールを守っていました。

他には、今年の目標、「ファンを作る」ということを立てました。なぜ、この目標にしたのかというと、コロナ禍の中で外には出ていけないので、まずは学校の中で、軽音楽部のファンだったりとか、各バンドのファンを作っていきたいということからです。そして、これから外にどんどん発信していけるようになった時には、外にも新渡戸のファンを作っていけたらいいなという思いを込めて、生徒たちがこのような目標を立てました。

そしてコロナ禍なんですけど、やっぱりライブをしたいということがあり、みんなでアコースティック・ライブを開催しました。学校の中庭で開催したので密になりにくいように思いますが、屋外で開催するといってもお互いくっついてしまうということもあるので、マーカーを置いたり、演奏者はマスクやフェイスシールドをして、コロナ対策もばっちりにして行いました。そもそも中庭でのライブは前例がないということと、コロナ対策が心配ということで、企画書を作って、いろいろな管理職の所に回った

りとか、学園の学校なので、小学校にも放課後こういう活動をしますということをお願いしにいったりしていました。このライブには観客として小学生がいるんですけど、小学生が最後、高校生の所に来て、今度歌を教えてくださいとか、一緒に演奏したいっていうようなことを言ってきてくれて、コロナ禍で不安もある中だけどやってよかったなと感じていました。今度は高校生と小学生が一緒にライブをやることになって、それも今企画中ということで、それに向かって頑張っています。

最後に、これは軽音とはあんまり関係ないんですけど、コロナ禍でやっぱり音楽ができなかったりとか、いろんな不安がある中だからだと思うんですけど、音楽の大切さを感じてる生徒がすごくいるように思いました。「僕の思う音楽とは人を変える力です」っていうのが私はすごく素敵な言葉だなと感じています。生徒も人を幸せにするとか、人の心を癒すとか、そういう音楽の可能性を信じてやっているんだなということを感じました。音楽ができるのは当たり前じゃないっていうことを、このコロナ禍で知ったと思うので、部則に掲げている「挨拶、礼儀、感謝」があるんですが、その感謝を持ってこれからも活動できたらいいな、と思っています。今日もさっき歓迎会の後に 2、3 年生がミーティングをして、やっぱりいろんな人に幸せを伝えたいねっていうことを言ってたので、これから新渡戸としては、いろんな人を幸せにできるような活動ができたらいいなって思っています。ご清聴ありがとうございました。

三谷：ありがとうございました。先ほどリモートでの活動っていうことがあったんですけど、そのリモートっていうのは演奏ですか、ミーティングですか？

塚越先生：ミーティングをよくしてました。生徒間で、LINE でいろんなやりとりの中でお互いに演奏を送りあって、今こんな感じだよっていう練習の状況を送り合ってるっていうのはよく聞いていたので、学校で行うものとしては、話し合い、ミーティングがメインでした。

三谷：ありがとうございました。次は、千葉の玉置先生、お願いします。

玉置先生：千葉県の柏市立柏高等学校の玉置です。よろしくお願いします。本校は休校中に 2ヶ月近く何も活動ができず、その間にうちの部活の生徒のライブ演奏や合同ライブの模様を載せている「YouTube チャンネル」（市立柏軽音 YouTube で検索お願いします！）を風化させたくないなと思い、何かできることはないかと考えました。私はギターを弾いているのですが、自分の演奏動画でも投稿してみようと思い、「ロック課外授業」という名目で、ギターソロを 1日1曲コピーして、コロナ収束の願掛けも込めて、50 日連続で投稿してみたんです。現代の高校生は昔のロックをあまり知らなかったりするので、そのきっかけになってもらいたいと思い、ガンズとか、KISS とか、エアロスミスとか、その辺りを中心に、髭男や King Gnu なども取り入れ、高校生に忖度しつつ（笑）、1日1ネタずつ投稿していきました。すると、部員のみならず、OB や他校の部員からもリアクションがあり、入部希望の 1 年生たちも、それでギターの練習をしてくれたようです。「自粛期間の楽しみが増えた」と、嬉しい声も聞くことができました。ゲリラ的にいきなりやったんで、生徒もビックリしたと思うのですが、これがきっかけで過去の演奏動画を見てくれる人もいたりと、いろいろな形で刺激を与えることができ、やって良かったと感じています。

時差登校期間中には、入部希望の 1 年生を一人ひとり呼んで、希望パートを聞きながら、デジレコ・ジュニアのバックナンバーを渡し、自主練に役立ててもらいました。活用させていただきました。ありがとうございます。

それで、6月半ばから時差登校が明けまして、6月終わりから、全員での活動ができるようになったんですが、やはりライブ等の発表は7月末までは禁止ということになりました。夏休みにも、合同ライブはできませんでした。なので、ライブの代替として、いつもライブをやっている教室に機材の設営をして、収録した演奏を YouTube で流すというようなことをやっています。ちなみに、千葉県の軽音楽連盟では、夏に県大会が毎年あるのですが、残念ながら今年度は中止となってしまいました。ところが、生徒の側から「何か他の形でできませんか」という声が上がったんです。それで連盟の教員間で話し合って、各校の部長と一緒に Zoom 会議を持ち、代替案を検討することにしました。その結果、今年度はオンラインの形式でイベントを実施することができました。そこでも三谷さんにプログラム作成など、いろいろとご協力いただき、本当にありがとうございました。

うちの3年生をはじめ、最後にオリジナル曲を作って県大会に臨むつもりだった生徒たちにとって、大会がなくなってしまったことで残念そうでしたが、いわゆる「最後の夏」という3年生の想いも、オンライン大会の形で叶えることができました。逆に、こういうコロナ禍の中だからこそ、自由度が増した、という側面もあります。例えば、普段の大会では 1 次審査のエントリーに動画を使いますが、編集は一切禁止です。ところが、今年は大会がライブ形式ではできないので、動画を PV の形にしてみたり、編集 OK にしてみたり、というように、規定がいろいろと変わりました。そのことによって、演奏のみならず、そういう部分に力を入れたバンドも多かったです。なので、審査の基準も何も、異種格闘技戦状態でなかなか難しいところはあったんですけども、こういうご時世だからこそ、そういうことができたんじゃないかなという、そういう意味では思い出に残る 2020 年になったんじゃないかなと思います。11 月には、軽音楽連盟で新人戦があるんですけども、それもオンラインでの実施となりました。新人戦は動画の編集は禁止で、より実技形式に近い感じですが、県の連盟主催の大会はしばらくはオンラインでという流れになりそうです。

あと、学校内での活動ですが、本校の場合は先ほども言いましたが、合同ライブなどはやれていないのですが、校内で吹奏楽部やダンス部といった他の文化部と一緒に文化祭の開会式で演奏させていただいたり、来週は初の試みなのですが、体育祭でグラウンドで演奏させていただくことになっています。今日はそのためのブルーシートを買いに行ってきました。こうした、初の試みもいろいろありつつ、何とか3年生を充実した形で引退させてあげられそうです。また、消毒等については、やはり先ほど平林先生もおっしゃられていたように、マイク周りの消毒を重点的にやっています。スプレータイプのクリーナーと、そのあとは、カポッとかぶせるやつですね。某通販サイトで 450 個入りっていうのがお得でしたので、買ってきて、バンドの入れ替え毎に付け替えています。あとは窓は開けながらマスク着用。鍵盤類はクリーナーで消毒するというような形でやっています。

三谷：ありがとうございました。では次、茨城県の甲斐先生、お願いします。

甲斐先生：茨城県立盲学校の甲斐です。よろしくお願いいたします。前任校は普通高校で、2 年間軽音部の顧問をしていました。今年で顧問歴は3年になりますが、どちらの学校も部員数が少なく、週に 1～2日活動している状態です。

本校は幼稚部から高等部専攻科までありますが、部活動に所属できるのは中学部以上で、中

高合わせて３名しかメンバーがおりません。ですので、バンドを成立させるために、顧問も楽器を担当しています。しかし、前任校からお世話になっている外部指導の方がボランティアで本校にも指導に来てくださっているので、少人数ながらも、楽しく、活気ある活動ができているかと思います。

本校は６月中旬から通常登校が可能となり、軽音部も７月から少しずつ部活動を実施できるようになりました。活動場所は音楽室で、部活前後の手指消毒や教室内や楽器の消毒、換気を徹底しています。小学部から高等部までみんな音楽室を使うので、感染予防に努めています。昨年度までは、文化祭や地域のお祭り等で発表する機会があったのですが、今年度は発表の機会がなくなってしまったので、普段の部活中に本校の生徒や職員、保護者を数人ずつ招いて演奏を披露できたらいいねと話しています。今は有名な J-POP をコピーしていますが、本校のオリジナルソング（前顧問が作った曲）の「ブロックんロール」や「点字レボリューション」なども演奏して、視覚障害者の理解促進につなげられればと考えています。

三谷：盲学校で軽音楽部ですよね。コロナと関係がないのですが、皆さん、どのようにして練習しているのですか？

甲斐先生：はい、見える度合いは人それぞれで、弱視や視野狭窄の方もいれば、全盲の方もいますので、練習方法は「見え方」によって違うと思います。中世から琵琶法師や箏曲家、三味線演奏家など、音曲を生業にする視覚障害者は多かったようです。本校は高等部専攻科で理療について学び、国家資格の取得を目指すことができるのですが、指先で触れてつぼを探して、按摩や鍼治療、お灸を行うんです。ギターやベースなどもどこで、どんな音が鳴るのか探って、覚えて、曲を演奏するのだと思います。ちなみに、点字楽譜もありますが、もう一人の顧問の先生は耳コピで演奏しています。

三谷：すごいな。ありがとうございました。また一度どこかで、合同演奏会でもやりたい気持ちになりますね。では、佐藤先生、お願いします。

佐藤（柏木）先生：神奈川県柏木学園高校の佐藤です。神奈川県の大和市にあって、位置で言うと神奈川県の真ん中のところにある学校です。外出自粛の時にやっていたことは、本校は、iPad を全員が購入するシステムなので、生徒は iPad を持っています。そのなかに Zoom のアプリが入っています。それで、Zoom によって週１回ミーティングをしたり、あとはこちら側が、例えば、Zoom を使って基礎練習をやりましょうという形で課題などを出したり、その進捗状況などを確認していました。

登校になった時はまずは分散登校。本校は私立なので、神奈川の県立とはちょっと違いまして、県立よりも分散登校が早く終わり、時差登校も県立よりも１週間くらい早く始まりました。その時には、マスクの徹底は当たり前なのですけど、手指消毒ですね。これは必ず部活動が始まる前には全員で行うことを徹底させています。私が保健体育科の教員ということもあって、常日頃、授業で道具を使うので、授業前にも手指消毒を徹底させています。練習場所は、本校はありがたいことに小ホールのようなところがあって、そこで何バンドかを転換させてやっています。また、皆さんがおっしゃるように、マイクや手で触れたアンプのつまみ、ドラムも手で触る箇所が多いので、そういったところを消毒してから片付けるということも徹底させています。

このコロナ禍で、生徒たちは目標を見失ってしまいました。さて、どのようにして目標を設定させようと日夜考えていました。運動部は、いろいろな部活動で代替大会が決まり、感染症に対するガイドラインが設けられたため、次々と部活動が再開されるようになりました。文化部においては、神奈川県の軽音楽連盟が、ガイドラインを作成して代替大会も決まりましたので、本校においても活動を再開できるようになりました。これは、本当にありがたいことだと思いました。

今は通常通りに部活動を再開していまして、神奈川県の代替大会も、９月 21 日に終えました。皆さん驚くかもしれないですけど、ライブ審査だったのですよ。無観客のライブ審査をやりました。ライブ審査は、決勝大会だったのですけど、24 組が決勝に進めて、午前 12 組、午後 12 組という、２部の入れ替え制で大会が実施されました。予選に関しては、神奈川県の場合は音源審査なのですが、カメラで演奏を動画撮影して、それを連盟事務局まで送付するという形式です。審査員は動画を見ずに、音だけ聴いて審査します。動画は連盟役員が見て、不正がないかっていうところをちゃんと確認するために行っています。おそらく秋の大会、新人戦もそのような形でやるのではないかなと思われます。今回の代替大会が開催できたのも、１、２年くらい前に県民共済の方々とのお付き合いができまして、県民共済のみらいホールっていうところが、300 席あるぐらいのホールで、そこをお借りして行いました。一般のお客さんはまったく借りられない状態だったのですけど、県民共済様のご厚意により、神奈川県の高校生を応援したいっていうことで、特別な許可を得てライブ審査ができるようになりました。

最後になりますが、コロナの影響によって本校の軽音楽部三送会が昨年度は実施できませんでした。何とか卒業生のために三送会が実現できないかと考えまして、部活動が再開されたタイミングをみて、この時期にやってしまおうと起案しました。これも９月にようやく実現できて、約 6、7 ヶ月ぶりぐらいだと思うのですけど、本校の小ホールで部員と卒業生との交流演奏会が実現できました。卒業生も検温、手指消毒を徹底させた上で、ライブをやりました。観客は声を発しないということも徹底させたので、歓声がなくてちょっとつまらなかった部分はあったかもしれないですれけど、生徒たちは久しぶりの演奏会ということもあり、とても楽しそうにしていました。音楽の力というものは、言葉では表せない、言葉以上のものがあると実感しました。音楽を通じて人との交流を深められる日常が戻ってくることを願っています。どうもありがとうございました。以上でございます。

三谷：ありがとうございました。次は愛知県市邨高校、中村先生お願いします。

中村先生：名古屋経済大学市邨高校の中村と申します。今日は全国軽音協と名古屋ビジュアルアーツ専門学校の大野先生の協力を得まして、愛知県の合同演奏会を開催していただきまして、本当に久しぶりに生徒が喜んで演奏ができました。対外試合っていう位置づけで、集まった各高校の部員がすごく楽しくやれたので、本当に良かったと思います。なかなかこんな機会なかったんですけれども、また、こんな機会があれば良いかなと思っています。

それから市邨高校ですけれども、うちも私立ですので、タブレットがありましたので、４月、５月、６月も、わりと部員間の連絡は取れました。ただ、休校になった時に、なんとかこういうのをチャンスにしようと部員同士の話がありました。とにかくオリジナルの活動をしてますので、この休校中に、この思いを曲にしようという、すごく強いメッセージが、ああいう時は出るだろうということを私も思ったので、「このうっぷんを曲にとにかく込めよう」というのをさんざん言いました。４月、５月で、１人、2、3 曲できてきたんですね。学校が始まった時に、それをみんなで披露しようっ

ていうのを１つの目標にしました。

それから、Teams を使ってたので、毎日、「今日はこんな練習をした」とか、コピーの場合は「この曲のこの部分のソロを練習した」というのを部長に全部報告させて、それが僕のところにも報告がありました。意外なことに、普段から土日も含め、めちゃくちゃ練習はしていたんですけれども、そんな時よりも、この４月、５月の方がうまくなったという印象がありました。これは個人的なこともあるんですけれども、なんかすごくうまくなった気がするんですね。やっぱり合奏っていうか、アンサンブルの練習ができる環境をありがたいと思いましょうっていうのを、こちらはもちろん、部員もすごく感じたみたいです。練習時間も確かにちょっと短くなってるんですけれども、すごく短い中でどれだけ密度の濃い練習ができるかっていうので、すごくアンサンブルの時間も充実したような感じになったんで、逆にコロナで、今、できた曲のアレンジがしきれないというような状況が出ています。

あと、うちは昔からセッティング練っていうのをよくやっていまして、セッティングを全部ばらして、廊下に全部出して、何分でセッティングできるかっていうのを、本番を想定してやるんです。それもちょっとコロナの関係で、どうやったら密にならずにできるかっていうのでやってるんですけれども。７月から入った新入部員は、バンド練習よりも、その時間をいかに縮めるかっていうので、ものすごく楽しんでやっているような状況があります。あとは消毒とかは他校と変わらないような状況で、気を付けてはやってますけど、最近、ちょっと緩んできた感じはあるので、徹底してやっていこうかなと思っています。以上です。

三谷：ありがとうございます。では、続きまして、名東高校の本寻先生、よろしくお願いします。

本寻先生：名古屋市立名東高校、軽音楽部顧問の本寻です。よろしくお願いします。名東高校は、1984 年創立の名古屋市立の公立高校です。普通科の他に、国際英語科が設置され、国際教育などにも力を入れております。インターハイ出場経験を持つサッカー部などを中心に、文武両道の進学校というのが、本校の特色です。コロナ騒動以降の本校軽音楽部の活動状況についてお伝えいたします。６月の学校再開以来、軽音楽部顧問として、以下の２点をどのように実現していくか、ということが大きな課題でした。１つ目は、「新３年生の引退の区切り」をどのように設定するか。２つ目は、「新１、２年生の目標としてのライブ」をどのように実現していくか、という２点です。

まず、部活動再開以降の新３年生の引退についてです。本来、新３年生は、５月の初旬あたりに、校内において、在校生や保護者などを招いて引退ライブを行って、活動の区切りとしてきました。しかし、今回は、５月に入っても休校が続いたため、従来の引退時期を過ぎた中で、新年度が始まりました。いたずらに引退時期を延ばしては、受験にも影響することになるので、３年生にどのように区切りをつけてあげるか、ということは、とても悩ましいものでした。そこで、休校期間中に、部員たちとリモートでのミーティングを重ねてきました。結論として、部活が再開されたのち、通常のいち部活動の練習日というなかで、１、２年生の部員を前に、部内での“ライブ”をすることで、引退ライブとして区切りにしよう、ということでまとまりました。新３年生は、最後の晴れ舞台のため、新年度が始まってからわずか１か月間の短い期間でしたが、大会さながらの練習を重ねて、当日は無事に立派な“引退ライブ”を行うことができました。目標にしていた大会などが中止になり悔しさもたくさんあったと思いますが、最後の引退式では、清々しい笑顔と晴れやかな涙を無事に見届けることができました。

次に、新１・２年生にとっての目標とライブステージをどのように実現していくか、という２つ目の問題についてです。軒並み各種大会などが中止されていたので、顧問として、何とか彼らに目標を設定してあげたい、という強い思いがありました。そのなか、幸い本校では、例年とは大きく異なる形ではありますが、文化祭を実施することが決定しました。そのうえで、軽音楽部としてのステージを何とか実施することができないか、と模索をしてまいりました。

まず、日常の練習についてです。本校の軽音楽部は、特定の部室を持たないので、音楽室を利用できる日以外は、普通の教室をバンドごとに貸していただき、練習をしています。その点においては、練習におけるソーシャルディスタンスは、従来通りの練習の方法で十分確保できるので、問題はありませんでした。次に、文化祭では、大ホールを使って、ステージから客席まで５メートル以上の距離を空けて、さらに座席を格子状に組むような形にして、会場の設定を行いました。通常だったら立ち見なども含めると満員で 150 人ぐらいは入ることができますが、それを上限 36 人ぐらいの客席に替えて企画を立てました。さらに、入場する際には、チケット制を採用し、出演バンドごとのチケットを事前に配付し、該当バンドの演奏が終わると、次のバンドのチケットを持っている客に入れ替えを行いました。そういう意味では、限られた人数ではありましたが、本当に聴いて欲しい人、本当に聴きに来てくれた人にそれぞれ伝え合うことができたのではないかと思います。

このように、文化祭は、無事２日間ともライブを終えることができました。今後は、11 月中旬に予定している保護者の方を呼んだ自主ライブ、12 月下旬の愛知県大会に向け、さらなる研鑽を積んでいこうと考えています。以上が、名東高校軽音楽部の近況報告になります。ありがとうございました。

三谷：それでは瀬戸窯業高校の佐藤先生、お願いします。

佐藤（瀬戸）先生：愛知県立瀬戸窯業高校の佐藤です。よろしくお願いします。本校は全国で唯一、校名に窯業。知らない人に話すと農業高校ですかって聞き返されることがありますが、全国で唯一校名に窯業が付く高校ということでやっています。学校は瀬戸物で有名な愛知県の瀬戸市にあります。僕もそこに住んでいます。陶芸コースとデザインコースというのがありまして、そこは卒業しても２年間専攻科に進むことができるので、５年一貫教育、そして、そこから大学に編入可能ということを売りにしています。全国で唯一の窯業を名乗る高校と言いましたが、残念ながら来年、本校は瀬戸工科高校に名前が変更されます。全国唯一の窯業高校が３月でなくなるということになります。残念です。

本校の軽音楽部の部員は３年生が３人、２年生が９人、１年生が 17 人、計 29 名在籍しています。愛知の県立高校ではゴールデン・ウィーク明けから部活が再開になりまして、本校のコロナ対策としては、登校する時に検温をしてから登校する。あと、部活としては自主的に、部活の始めと終わりに手洗いをするというのを、８月末まで必ずさせていました。マスク着用ですが、基本ボーカルも取らないっていうことでやっています。あと、毎週金曜日は、使用教室の全部の机とスイッチ類を消毒させています。窓は対角線上に開けさせ、また３密を避けろと言っておりますが、ちょっとのどかな学校で、あと、人なつこい子が多いものですから、ベタベタしているため、「３密だね」って他の先生が、部室に来るとつぶやきます。まずいなと思って冷や汗をかく瞬間ですけど。

そんな感じで部活は始まりました。５月に体験入部を２週間行い、それで６月から１年生を迎え入れてスタート。これまで 10 人ちょっ

とでずっと活動していたものですから、29 人というのがすごく多く感じて、顧問としては気が小さいので大変プレッシャーを感じております。ちなみに 3 月に 200 人入るホールを借りてライブを予定していたんですけど、これが中止、4 月の新入生向けの部紹介ライブが中止、9 月は瀬戸なので、せともの祭というのがあるんですけど、祭自体が中止でライブも中止、招き猫祭りというのもあったんですけど、このライブも残念ながら祭りがなくなり中止ということで、ちょっとモチベーションが下がっています。発表の機会がなくなっているんですけど、7 月末に部内ライブを無観客で行いました。視聴覚室でしたが、すべて窓を開けてガンガンにやったところ、保護者会の最中で、教務主任が慌ててやってきて怒られました。その時、初めての試みなんですが、OB も生徒も保護者も呼べなかったので、YouTube を活用して、関係者、OB と保護者に YouTube アドレスを伝え、限定公開でライブを YouTube で公開するということを行いました。

あと、今思うことは、今後も続くだろうコロナの状況、これにうまく付き合っていって、学外での活動、本日、愛知県では合同演奏会でしたが、大会などをやっていけるように、道筋をつけていければと思っています。以上です。

三谷：では次に、滋賀県の滋賀短期大学附属高校、安田先生お願いします。

安田先生：滋賀県の滋賀短期大学附属高校の軽音楽部顧問をしております、安田と申します。うちの学校は私立高校で、先ほど柏木学園高校さんでしたか、私立で割と前倒しでやっておられたようですが、うちもそんな感じです。iPad は昨年の 1 年生から全員に配布、ただし今年の 1 年生は 4 月に間に合わず、現 2 年生だけが所持でした。私たち教員も全員 iPad で、Wi-Fi 環境なんかも割と整っていたんで、4 月の半ばから動画授業が始まり、5 月からは半分登校、半分オンラインの双方向同時進行授業、6 月からは全員登校の感じで始まりました。滋賀県は公立･私立の割合が 4 対 1 ぐらいで、公立の県です。私も実はずっと公立高校の教員で、昨年からこちらの私立に移らせてもらったんですが、公立と比べると随分進んでいるかなという感じです。公立はまだ学校へ行っていない感じだったんで。

クラブの方なんですけど、今年から 3 月にホールで定期演奏会をやろうと言って、生徒もその準備を進めていたんですけど、もちろん中止。普段の練習もできず、生徒には、せっかく時間があるんやから普段あまりできない個人練習をとにかくやるようにと言いました。あと、私はこんな音楽を聴いてきたよっていう話とかをプリントにして渡したりしたくらいで、残念やけどほとんどほったらかしでした。アナログな私は慣れない動画やオンラインの授業の準備で四苦八苦していたっていうのもありまして。ただ、久しぶりに生徒たちに会ったら、かなりうまくはなっていましたね。

でも、いろんなイベントがすべてなくなってしまって。特に滋賀県は野洲市でやるので「野洲コン」って言うんですけど、春の高校総体の時に学校対抗戦をしてるんです。各学校が 25 分間の持ち時間で好きに使っていい、バンドごとの採点でバンドの順位もつけるけど、学校対抗の勝負をやるので、それがものすごく盛り上がるんですよ。毎年テーマがあって、今年は「エモい音楽」。昨年は「温故知新」。何かテーマがあって、それについて自分たちで考えて、学校の特色を出してステージを作る。連覇する学校があったり、それを阻止しようとする学校があったり、次は絶対負けないとか 1 度でも優勝してみたいとか、学校単位で勝負するので、ものすごく盛り上がるんですわ。でも残念ながらそれもなくなっちゃって。

モチベーションなんですけど、うちの学校は本当なら 6 月に体育祭、8 月の終わりに文化祭。もちろん 6 月の体育祭は中止でしたが、なんとか何かさせてやりたい、縮小版でもいいからさせてやりたいというのを、学校側が早くから考えてくれてました。なので、生徒たちにも、学園祭が何らかの形であるかも知れないから、それに向けて準備しておこうと一生懸命言ってきまして、生徒も文化祭があるであろうという前提で練習をしてくれてました。

結局、9 月の頭に半日だけの体育祭、2 日間の文化祭が行われて、文化祭での発表はオンラインになってしまいましたけど。でも幸い、一応それで引退公演をすることはできて、生徒は納得してくれました。これは他の学校でも聞きましたが、最後の引退がどこでできるかというのは、とても大きいことだったんだなと思います。

私にとって嬉しい誤算だったのは、今年 1 年生が 19 名入ってくれたんですが、夏頃平常の練習が始まってから、この新入生に 2、3 年生がものすごく熱心に教えてくれたんです。「Stand By Me」を課題曲として、1 年生に組ませたバンドで練習させるんですが、それぞれの 1 年生バンドに 2、3 年生のバンドが担当みたいなのを決めて、毎日本当に一生懸命、自分たちのバンドの練習は後回しで教えてくれて。うちの練習場所はかなり広い防音の音楽室なのですが、消毒と換気も上級生が徹底してやってくれました。1 年生も入学してから 2、3 か月の間何もなかったんですね。でもいつもよりしっかりと演奏ができるぐらいになっていて、これはとってもありがたいことやったなと思っています。

あと、今まで割と滋賀県の軽音楽部会は行政と一緒にいろんなことをやってきたんですけど、今年も「びわ湖大津秋の音楽祭 2020」といって、大津市が「いつでも好きに使ってください。お金はいりません」と琵琶湖のほとりに立派なステージを用意してくださったんです。9 月 5 日にはそれを使って 5 つの学校が演奏させてもらいました。ついこの間の 20 日にも、後ろが琵琶湖という別のなぎさの公園で、7 校 34 バンドのコンテストをしました。これらは外だし、とても広いし、まあ雨が降ったら終わりなんだけど、市の指導の下、ロープ張って観客席は制限して、体温チェックや消毒なんかを徹底して、今ちょっとずつ、こうやったらイベントができるかなというのを、探りながらやっています。来年の総文祭、どうなるかわからないけど、それに向けての冬のコンテストをどうやるかと考えなあかんので、今試しているわけです。

最後に、滋賀県の軽音楽部会はまだ高文連に入れてないんですね。いつか入りたいと思っていますが。実は滋賀県、ご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、以前から村田先生という強烈な先生が先頭切っていろんなことを企画するっていう感じだったんですけど、最近は若い先生たちもいろいろと面白い意見言ってくれるんで、顧問同士がもっと話をしようやないかと考えてます。部会を、組織としてもっと強固なものにしたいなと。なかなか全体で集まっての顧問会議ができていないという部分があったので、今この時期、いろんなことができないから、逆にこの時間を使って顧問の先生がもっと集まっていろんなこと、これからのこととかを話したいなと。外でいろんなことをやるということ、そして内で顧問の先生とかがもっと話したりするということ、この両面を今、やりたいなと思っています。これが今の滋賀県、そしてうちの学校の感じですかね。

三谷：次は兵庫県の兵庫高校山之内先生、お願いします。

山之内先生：兵庫県立兵庫高校の山之内です。この学校に勤めて今年で 12 年ということで、連盟関係の行事も 3 ～ 4 年前ぐらいから参加するようになってきているところです。今、部員数が、なんと 1、2 年合わせて 78 人もおりまして、

かなり多いんですけれども、なんとか普段通りの活動が最近はだいぶできるようになってきているといった状況です。

本校は３月の頭から月末まで休校、４月に入りまして最初の週は平日のみ自主練で、４月８日に始業式があって、９日から５月末まで休校となりました。休校の間、部活は基本的には何もできなかったというような状況です。その間に例年、文化祭がゴールデン・ウィーク中にあったんですが、中止となりました。３年生は結局、最後の演奏機会を失ったまま引退というようなことになりました。学校が６月に再開しまして、最初のうちは分散登校で、中旬から通常の形で授業が行われるようになって、そこから１年生勧誘ということで、例年より２ヶ月ほど遅れて、入部式がやっと６月の終わりに開けたという状況です。

学校再開後、練習は割と早くから始められるようになりました。分散登校が終わってからは、40 人の教室に 40 人入って授業が受けられるというようになりましたので、部活もそれ以上の「密」は避けて、もちろんマスクは必ず着用と、そういう形で行っています。毎日使用教室は部活で使った後、消毒の作業をさせています。

６月、７月は、発表の機会をいかにして確保するかというのをずいぶん考えていました。７月頃から他の部活動でそういった発表会の企画が出始めまして、それに合わせるように生徒指導部がガイドラインを作りました。例えば、本校には講堂があるんですけれども、そこは何人まで入れてどういったルールを作れば実施ができるのかと、そういったガイドラインができてきました。

例年、７月の終わり頃、終業式の前後に校内ライブを行います。1、2年の合同バンドを組ませて､このライブが１年生の初舞台となっています。それをやっと先日、３日に分けて行いました。通常であれば 200 人ぐらいが入れる広さの同窓会館で、1 メートル間隔を空けて椅子を並べまして、最大 47 席を設けました。保護者と本校生の友達も呼べるという形で行いました。ボーカル以外は基本的にマスク着用のまま演奏させました。初めはステージと客席の間にシールドを設置することも考えたんですけども、なかなかそこまでは手が回らなくて、できませんでした。

対外的な行事としては、兵庫県の総合文化祭が 11 月に行われるんですが、その予選に先日参加してきました。無観客で、２部完全入れ替え制でした。選考結果は入れ替え制だったので当日発表はなく、後日連絡ということになっています。これが今年度に入りまして、初めてのコンテストということになりました。

今後の対外的な行事としては、大阪でケーブルテレビ局が主催するオータム・フェスティバルというものがあり、映像審査に応募したところ、なんとか無事に通過しまして、11 月に本番があります。また、来年の全国総文祭に向けた兵庫県の予選会が冬に計画されている、といった状況です。

３密を避けると言われますが、やはり、うちも割と生徒同士の仲が良いと言いますか、例えば、女子生徒がすぐにハグし合う、といったことがコロナ前には日常的にありました。気をつけてはいるんですけれども、やはりそのような接触は時折見かけます。また、学校再開当初はボーカルもマスクをつけて練習しろと言っていたんですけれども、どうしても息が苦しいわけです。そこで最近は、ボーカルだけは他のメンバーの方を向かずに、距離を置くことで、歌っている時はマスクを外しても良い、という形にしています。換気は定期的に行っています。教室では窓を少し開けて、電子ドラムを使って小さい音で練習させています。最近はちょっと音が漏れる程度だと苦情があまり来なくなったので、そういう意味では助かっています。

今後の課題としては、これまで行ってきた、近隣のライブハウスでの活動なども含め、発表の機会をどのように確保していくかです。以上です。

三谷：次は音楽専門学校の事例ということで、大野先生、お願いします。

大野先生：専門学校名古屋ビジュアルアーツの大野です。我が校としては、６月１日から分散授業、対面授業をスタートしました。それまではリモートでやっていましたけれども、通常行うべき授業数は６月１日からなんとか前期分終了しました。音楽の学校ですので、リモートだけでは伝えられない部分が大きくありますので、なんとか対面でやれる形としまして３密対策を徹底してきたつもりです。

まず、他校さんと一緒ですけども、熱が 37.5 度以上の学生は問答無用で、学校の入口で、職員だろうと誰だろうと入館拒否という形でやっています。後は、アルコール消毒もですけども、ワンテイクごとにマイクも消毒しております。マイク・ホルダーごといきますとなるべく感染も減るというところです。後は発声などの授業の時は口の動きを確認する必要があるので、飛沫防止シートというコンビニのカーテンのようなものを置いた上で、授業を開催しています。うちもボーカル以外は全員マスクをした状態で演奏していますけど、空気が滞留しないようにということで、20 分おきに換気をしながら授業はやってきました。

後は、やはり現場の経験を積まないとどうしようもないというところで、なんとか現場実習も７月の後半から行ってきました。会館と共にリスケジュールを３度、４度するのが今年は当たり前の状況になっていますが、キャパシティが 1,500 名とかの場所でも参加 100 名みたいなところで、相当ソーシャル・ディスタンスが取れるということであれば、保護者様の理解も得られるというところで、必要以上に距離を取って、なんとか実習をしてきました。

ただ、やはりうちの学生含め、やはり専門学校というところで、自分の夢を叶えるでありましたり、目標に到達するというところにどこまでコミットできるかっていうところが仕事としても大事な部分になりますので、保護者様はなるべくリモートでという要望がある中、学生たちはほぼ 100 パーセントに近いほど、対面授業を望んでいるのが現実です。世の中の風潮とある種、逆行した身近な要望というところに、どこまでバランスを取れるかっていうところになってくるかと思いますけども、両構えで今は行っております。

わが校は前期後期の２部制に分かれていますが、その間も本来は一月空いているんですが、今年は夏休みが 10 日間のみですぐ後期に入りますので、なかなか職員共々大変ではありますが、リモートも含めてダブル・バックアップの状態で 2020 年度は走ろうかなと思っています。

うちの学生たちもそうですし、その後輩たち、いわゆる高校生とか中高生の子たちが、やはり引退の場であったり、１つの節目というものを失っているっていう声をたくさん聞きます。僕自身もやりたいことをやらせていただいてきた人生を送ってきましたので、やはり何をするにも人生の節目というのは大事かと思います。一生懸命好きでやってきた音楽を、形を一つ成して次のものに切り替えるべきと僕も思いますので、なるべく多くの機会といいますか、うちの学生だけではなく、必要とされる機会を作れれば良いかなと思います。やはり、気持ち的にも健全な状態で何事も挑む方が、ポジティブにクリエイトできるかなと思いますので、音楽を通して学んだことをたくさん発信していける次世代の若手が、多く軽音楽経験者から出ていって欲しいなと願っています。

三谷：皆さん、今日は長い時間、貴重な話をありがとうございました。

文化庁による「部活動指導員」派遣に関する アンケート調査結果

NPO 法人 全国学校軽音楽部協会／令和２年７月９日実施／令和2年７月31日集計／回答数：89人

文化庁では教員の「働き方改革」を推進するに当たり、部活動の円滑な運営を支援するために「部活動指導員制度」を用意していますが、残念ながらその制度が広く活用されていると言えないのも現実です。

当協会では軽音楽系部活動が校内で円滑に指導が行われ、部員のスキルアップや部活動への意欲向上の一助として、公的なサポートの必要性を感じており、その一つとして「部活動指導員」制度を活用すべく、文化庁と足並みを揃えたり、支援を受けるための基盤作りが大切ではないかと考えます。

そこで､「顧問通信」をお読みの軽音楽系部活動の顧問の先生方に「部活動指導員制度」に関するアンケートの協力をお願いしました。以下は、軽音楽系部活動に於ける「部活動指導員制度」の現状と課題を集計、整理したレポートです。今後、当協会の支援活動の参考にさせていただくと共に、過日、文化庁及び、文化庁より委託を受けている三菱総合研究所に提出致しました。

全国学校軽音楽部協会 行　　〆切：7月31日（金）

FAX.045-913-1900　メール **info@keionkyo.org**

文化庁による「部活動指導員」派遣に関するアンケート調査

回答者（公開しません）	氏名：	学校名：　高等学校	都道府県
	メールアドレス：		

質問１：あなたが顧問を務める軽音楽部では校外指導者を招聘していますか？

□ はい

1）外部講師はどの様な方ですか？［複数回答可］

□ レッスンプロ　□ 専門学校講師　□ アマチュア音楽家　□ 部の卒業生　□ 保護者　□その他（　　）

2）レッスンの頻度は？

□ 週１回以上　□ 週２回以上　□ 週３回以上　□ 月１回程度　□ 必要に応じて

3）指導内容は？［複数回答可］

□ パート別レッスン　□ バンドアンサンブル　□ 音楽理論　□ その他（　　）

4）指導への報酬（謝金）額は？

□ 無料ボランティア　□ １回（　　円／　時間）　□ その他（　　）

5）指導への報酬（謝金）の支出元は？［複数回答可］

□ PTA 部活動費　□ 学校後援会費　□ 学校同窓会費　□ 生徒会部活動費　□ 徴収部費等保護者

□ 教育委員会の部活動人材活用費／名称（　　）

□いいえ

6）外部講師を活用しない理由は？［複数回答可］

□ 顧問による技術指導が可能　□ 部員相互の学び合いが可能　□ 外部指導者に心当たりが無い

□ 外部指導者の雇用費用が無い　□ 部運営上の必要性を感じない　□その他（　　）

自由欄

質問２：今後、公的な「部活動指導員」のシステムが構築されたら活用したいですか？

□ いいえ

□ はい

1）その場合に必要な条件はどのようなものですか？［複数回答可］

□ 生徒の強い希望がある　□ 指導者の選択を顧問ができる　□ 雇用責任を顧問が負わない

□ 費用負担を部が負わない　□その他（　　）

2）レッスンの頻度の希望は？

□ 週１回以上　□ 週２回以上　□ 週３回以上　□ 月１回程度　□ 必要に応じて

3）指導内容は？［複数回答可］

□ パート別レッスン　□ バンドアンサンブル　□ 音楽理論　□ その他（　　）

具体的にテーマや要望がありましたら教えてください。

質問３：学校や自治体による公的な部活動指導員派遣事業を御存じでしたら教えてください。

名称：　　主催：

人選：　□ 事業主催者からの紹介　□ 顧問が自分で探す

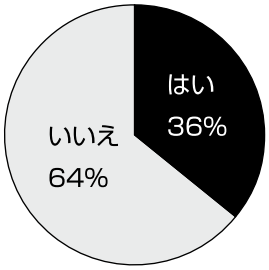
条件：　回数：年間　　回／時間：年間　　時間　時給等：　　円

実際に活用されている方は、改善したい点や要望がありましたら教えてください。

質問４：部活動の指導に校外の方を依頼することへのお考えを自由にお書きください。

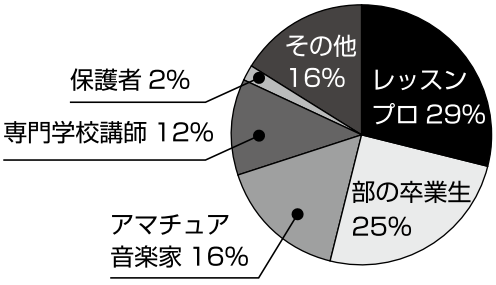
ご協力ありがとうございました。

質問１：あなたが顧問を務める軽音楽部では校外指導者を招聘していますか？



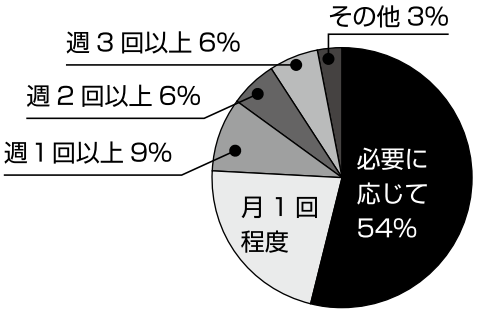
■ はい

1）外部講師はどの様な方ですか？［複数回答可］



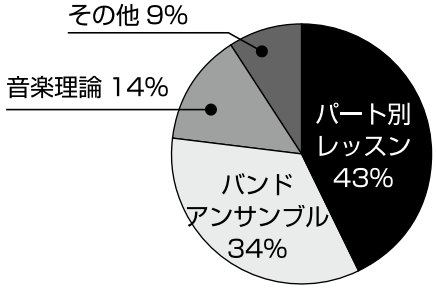
●その他
・友人
・作曲家／プロミュージシャン
・地元の音楽事業従事者
・楽器店の方
・他校教諭
・音楽家

2）レッスンの頻度は？



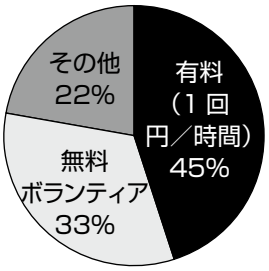
●その他
・年間 34 時間まで

3）指導内容は？［複数回答可］



●その他
・音響機材の接続方法
・機材、PA、REC など
・DTM
・文化祭のサポート
・ドラム

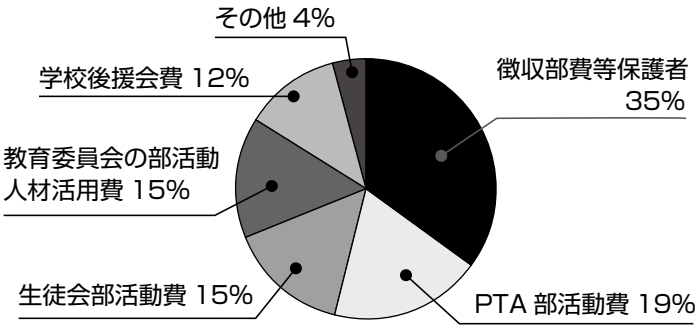
4）指導への報酬（謝金）額は？



●有料（1 回）
・10,000 円／2～3時間
・12,000 円／2時間
・10,000 円／3時間
・ 4,000 円／ 1.5 時間
・ 2,000 円／2時間
・ 3,000 円／2時間
・ 2,000 円／1時間
・10,000 円／1日
・ 5,000 円／6時間
・17,000 円／5時間
・2,000～4,000 円／1時間
・2,500～3,500 円／1時間
・300 円／2時間

●その他
・足代 1,000 円／回
・食事、交通費
・年間 60,000 円
・月 15,000 円

5）指導への報酬（謝金）の支出元は？［複数回答可］

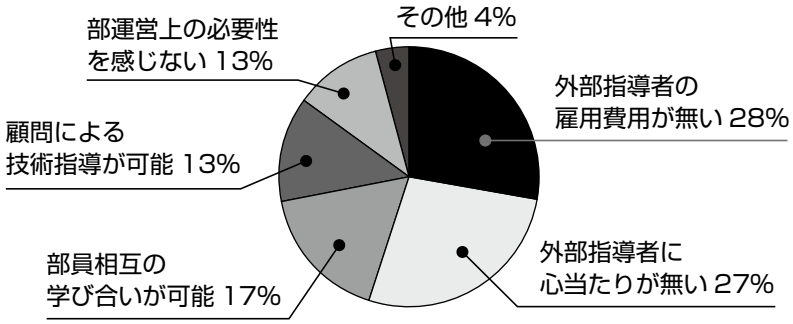


● 教育委員会の部活動人材活用費／名称
・文化の匠の音楽事業従事者
・交通費として
・部活動外部指導員報償費

●その他
・学費

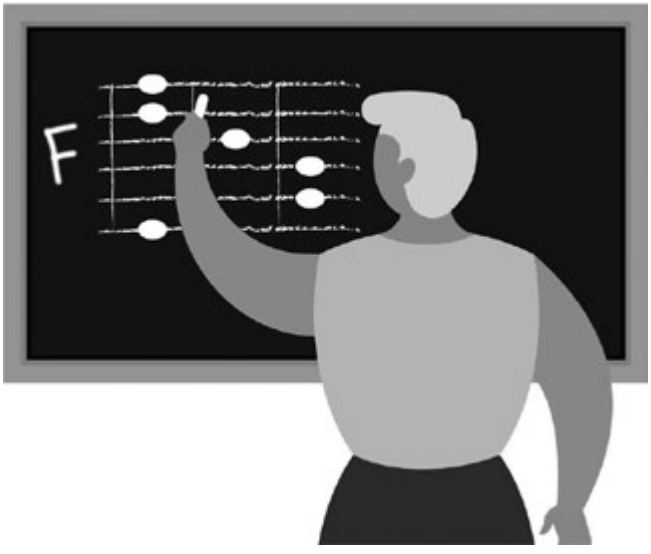
■ いいえ

6）外部講師を活用しない理由は？［複数回答可］

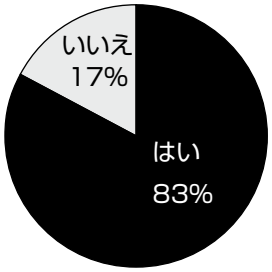


■質問１：あなたが顧問を務める軽音楽部では校外指導者を招聘していますか？（自由欄）

●今年度転勤してきたばかりなので、よくわからない。さしあたって必要はない。部員相互の学び合いが可能、顧問による指導も、ある程度可能。
●外部指導者が学校の内情を理解してくれない場合がある。
●たまたま顧問がバンド経験者であり、20 年以上指導にあたっているので何とかやっていますが、未経験の先生だと厳しいところだと思います。本校の場合、ほとんどが初心者スタートなので。
●生徒が一度に揃う曜日があまりない。指導をお願いできる人のツテがない。
●年に１回OBを講師にした講習会は行っていますが、講習会というよりは、交流会に近いものです。外部講師を招へいするなら、プロ（大学や専門学校の教員を含む）にきちんと習わせたい。ただ、そういった方にある程度の回数、またパートごとに来ていただくとなると、一番の問題は費用ということになります。音楽大学や専門学校など、つてがないわけではありませんが、継続的に来ていただけるかどうかは未知数です。
●定期的に招へいすることは行っておりませんが、過去、無料のバンド・クリニックをお願いしたことはありました。
●高体連では外部指導者制度が整備されているが文化部にまでは開かれていない。
●部の OB、OG が見学、アドバイスに来る。個別に現部員が相談するといったことは度々あります。
●予算があれば、もっと回数を増やしたいところです。音大の無料出張レッスンを受けたこともありました。
●技術や知識のために外部講師を呼ぶことのメリットは高いのは確かですが、金銭面や学校活動である部活動としてのバランスを考えてくださる方が、中々いないので、結局自分でやってしまいます。
●ある程度の技術指導はできるし、やりたいと思っているが、普段の業務と平行して行うのは時間が足りないと感じています。
●仕事量が増え続ける中で、本当は講師を依頼したいが、費用を出してもらえない。
●顧問が元スタジオ勤務、バンドマンということもあり、知人のベーシストに頼んで年１回ベースセミナーを開催しています。
●立派な人格者ならお金を徴収してでもお願いするが、そこらへんの人はすぐ女子生徒とメールアドレスを交換する。顧問が校長に怒られる。
●現在、活動場所の制限や生徒側の意識、目標の差が大きいので、統一した活動、指導が難しい。
●外部指導者の人数制限があり、運動部でも足りないので枠が回ってこない。
●学習中心の進学校であり、文化祭や定期ライブでの活躍を目標としている。
●１学期に OB を呼び、２学期に専門学校講師を呼んでいます。昨年は保護者の中で協力的な方がいて３回ほど指導していただきました。
●今後、部員が集まり活動が活発になれば、指導員を探してみたいと考えている。
●外部講師に関しては、こちらが必要を感じたり、講師からお話がきた場合に考えます。昨年度は「Jabberloop」というバンドの元リーダーのドラマー、齋藤洋平氏がドラム講座を、そして「ガイア・クアトロ」というバンドが日本ツアーの一環で我が校でライブをされた際、オプションとしてヤヒロトモヒロ氏にリズム講座をしていただきました。どちらも軽音楽部と吹奏楽部の両方を対象としていただきました。いずれも顧問の友人ということで、講師の方から話がきました。齋藤氏には軽音、吹奏楽がそれぞれ部費から 5,000 円ずつ謝礼として渡し、ヤヒロ氏はライブに関連したサービスで無料でした。今年度は近々ギターアンプを新調するので、「ギターの音作り講座」および「ギター・ベース・ドラムスのバンド講座」を、ギターショップとプロのミュージシャンを講師として迎えるつもりです。これは、生徒も顧問もあまり得意でない分野であり、ぜひとも必要であるということから考えています。音作りの講師はアンプを購入する店のオーナー、バンド講座はそれぞれのミュージシャンが生徒を募集する意味合いも兼ねているので、それぞれ無料となります。
●大会の前など楽器店の方、学校の OB などにご好意でワンポイントアドバイスをいただいている程度です。定期的に指導者が関わっていただけたら、より効果が出やすくなると思いますが、まだ未開拓です。

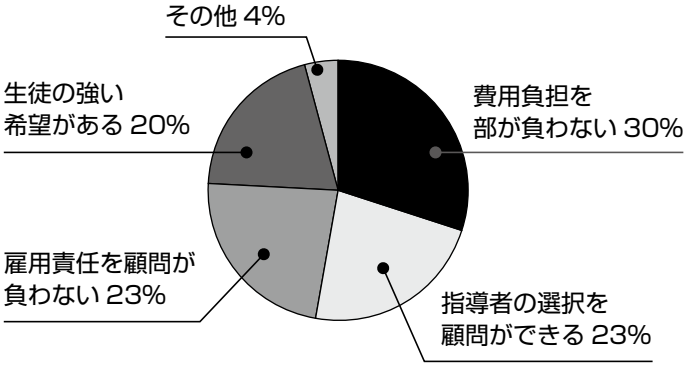


質問２：今後、公的な「部活動指導員」のシステムが構築されたら活用したいですか？



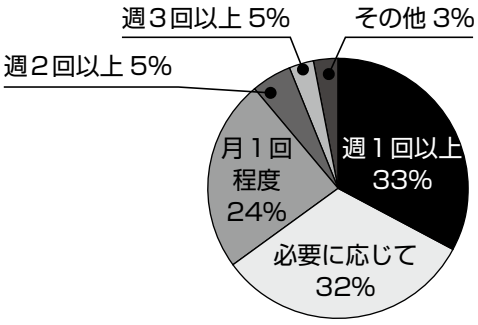
■ はい

1）その場合に必要な条件はどのようなものですか？［複数回答可］



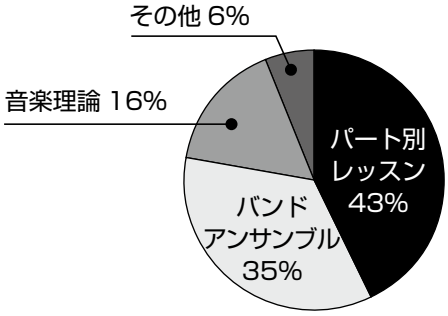
●その他
・理解力があり柔軟な外部指導者であること
・費用、指導者の質、継続性など
・活用のノウハウが確立されていればこその制度だと思う
・専門性の高さ
・指導してほしい内容を選択できる
・人物適正に関して審査がある
・指導内容や来校スケジュールの策定

2）レッスンの頻度の希望は？



●その他
・２週間に１度
・バンド数が多いので学年別の指導
・大会前（に向けて）、バンド対象

3）指導内容は？［複数回答可］



●その他
・状況によりけり。
・技術指導全般
・メンテナンス、管理方法
・音響機器の操作
・楽曲制作のノウハウ
・作詞、作曲、編曲

■質問２：今後、公的な「部活動指導員」のシステムが構築されたら活用したいですか？
具体的にテーマや要望が有りましたら教えてください

●お金で援助してくれるならありがたいです。
●実技的なことは練習あるのみですが、アンサンブルや音楽の楽しみ方を教えてあげられたらと思います。
●細かな手さばき、指さばき。
●各パートの深い知識を指導して欲しい。生徒がネットや雑誌で学んだ知識にはないようなテクニックを学べると、とても良い経験になると思う。
●平日、各バンド１時間ずつ行っているので、可能ならまんべんなく見ていただきたい。技術面の指導をお願いしたい。
●初心者で始めた生徒が、いかにして楽器、音楽を続けられるか。私自身独学でギターを始めたので、初心者への楽器指導がテーマです。あとは、ドラムの指導がまったくできません。
●初心者が少しできるようになるまで、基本的なことを指導して欲しい。
●顧問が指導しにくい専門的なこと、アンサンブル、作曲などの指導をして欲しい。
●音作り、バンドアンサンブル、機材の使い方の指導をお願いしたいです。
●吹奏楽部のように、パート別指導者、クリニック、ほかに楽器の状態を見ていただける、または、周辺機器の効果的な使用方法を生徒へ教えていただける機会があると良いです。学校ごとでなくても全県とかでもOKです。
●作曲。メインの旋律に各楽器の音を合わせていく方法。
●機材（証明、音響、ステージ監督など）の扱い方。保守、管理。
●どのパートもリズムを中心としたものであって欲しい。次回までの「課題」があると良く、また、毎日の練習で繰り返ししておくべき練習方法を教えていただけるとありがたいと思う。
●特に１年生には課題曲を設定し、その中で必要な基本的テクニックを指導してもらいたい。
●作曲、作詞、アレンジ術などの指導。
●ボイトレやリズム練習といった基礎練習など。生徒たちだけでは合っているかどうかわからないから。
● PA 講座のようなものがあると嬉しい。
●全パートの指導が十分にできるわけではないので、まずはパート別のレッスンを希望したいところです。ただ今後、顧問が交代し、軽音楽の指導ができない顧問だけになることも考えられます。そういった事態を見越せば、兼任でも構わないのでバンドアンサンブルや音楽理論の指導体制も確立したいと思います。
●音楽に正解はないという方もいますが、ある程度の正解（基本中の基本）、正しい知識は各学校に平等に伝わると県全体の底上げにつながってくるような気がします。
●ドラムの指導者はぜひとも来ていただきたい。初心者向きの課題曲などを指導していただければ、スムーズな上達が計れるのではないかと思う。
●ボイス・トレーニングの講師をさがして、今までお二人の指導を受けました。生徒が個別にレッスンに行って、劇的にうまくなったこともあり、また、変わらないこともありました。ボイトレのすごい方の指導を受けてみたいです。
●顧問の異動や退職などにより、年度ごと学校ごとに必要とする分野が異なると思います。各校の状況に応じて顧問が必要とするサポートをしてくれるようになって欲しいと考えます。

質問３：学校や自治体による公的な部活動指導員派遣事業を御存じでしたら教えてください。

■名称：部活動インストラクター　　主催：神奈川県

■名称：部活動外部指導者制度　　主催：愛知県名古屋市
人選：顧問が自分で探す　　条件：時給等：2,700 円
※各校ごとに年間総時間が配分され、外部指導者を依頼したい部で配分を決めます。
本校の場合、年間総配当時間は 335 時間です。

■名称：①部活動指導員　②外部指導員　　主催：東京都教育委員会
人選：顧問が自分で探す　　年間：640 時間
条件：時給等：①1,880 円、2,310 円、2,860 円　②2,500 円、3,200 円、4,000 円
※本校では既に相撲部に部活動指導員が配置されている。都教育委員会は「『部活動指導員未配置の学校』を優先して配置していく」としているので、軽音楽部まで順番が回ってくるのはずっと先になってしまうのではないかと思う。予算をしっかりと増額して必要な部活動にはきちんと配置できるようにしてほしい。

■質問３：実際に活用されている方は、改善しいたい点や要望が有りましたら教えてください

●ほかの部活動顧問をやっていた頃に使っていたことがあるが、講習会に参加するなど、顧問の負担が多くなる制度だった。また、負担は多いが指導していただける回数は少なく、生徒への効果的な指導へ活用できたかは疑問である。こういった経験から生徒のためになる制度となってくれるよう、指導回数など工夫してもらえるよう期待したい。
●指導員は運動部がメインになっているようで、あまり情報はありません。
●関西では音楽系の専門学校が出張でクリニックを無料で実施してくれており、特に必要性は感じません。
●詳しくはわかりませんが、吹奏部に顧問の教え子が年 100 日くらい来校指導をしていました。
●前任校で私が陸上部の顧問をしていた際、まったく陸上の経験がない私は、校長に要望してコーチに来てもらってました。コーチ自体は知り合いの陸上部の先生から紹介を受けましたが、月に 3、4 回程度で、1 回につき 2,000 円か 3,000 円のお金を学校から支払ってもらっていました。PTA のお金だったかと思います。

質問４：部活動の指導に校外の方を依頼することへのお考えを自由にお書きください。

●顧問が元バンドマン＆スタジ勤務経験があり、楽器の指導などはある程度はできますが、外部の方から指導を受けられると生徒にとってより刺激になると考えています。他校が専門学校と講習会をされる際にお声がけしていただいたこともあります。ただ、本校の課題はどちらかというと「生徒の積極性が足りない」という部分。音楽をやりたいと入部してきたのに話ばかり、また中学の頃不登校の傾向がある生徒も多く、前に出ること自体が難しい場面も。外部講師に来ていただけるなら、そのあたりを刺激してもらいたいと思います。
●担当の部活が専門外や経験がない場合は、校外の方へ指導を依頼できるのであれば、教員生徒双方に大変有意義なことであると思う。運動部でも有能なコーチにより、力をつけていく場合があるので、顧問の責任の下に、外部指導者は大いに活用するべきであると考えます。逆に顧問が十分な指導を行えるのであれば、無理に外部指導者を依頼する必要もないと考えます。信頼できる外部指導者を顧問が選べることが大切であると考えます。
●クラブごとにポリシーなどがあると思うので、技術指導のみに徹していただくか、顧問が指導者とよくすり合わせをする必要があると思います。
●顧問の仕事は部員にビジョンとプランを示して行くことだと考えています。ビジョンに対し具体的な目標設定をしていく中で、顧問による指導や部員内での教えあいでは限界が出てきます（例え、顧問がどんな優れたプレイヤーでも、です）。ですので、顧問の仕事の 1 つとして、外部指導者の開拓と選定、交渉は重要だと私は考えています。変な見栄やプライドは捨てて、積極的にいろいろな外部指導者を活用してみると良いですよね。そして、外部の大人の方と関わることに慣れるのは生徒の人間力を高めてくれます。教員でない大人が対等に話してくれることは本当にありがたいことです。
●体育系ではこれまでも経験があり、文化系でもごく少数ではあるが知っている。ただ、本校の場合、多くの生徒を一度に指導していただく場所などに課題があり、実質的には難しい。また、生徒同士で教え合ったり、時々顧問も一緒に指示したり、考えたりする場面もあり、程良い関係もできているため、現在は不要と考えている。
●ライブハウスなどへの誘導が少し懸念され、私自身は積極的ではありません。
●生徒たちはコンクールで優勝したいなどという希望は特になく、学内の学園祭に出演し盛り上げられればとりあえず満足のようです。人数も多く、場所が 1 ヶ所に限られているため、週 1 回活動できるかどうかの状態です。
●学校部活動の教員顧問は、必ずしも専門指導が可能な人間ばかりではありません。生徒のニーズを満たすためには、専門的指導ができる人間による直接指導が不可欠であるのは言うまでもない。部活動を頑張りたい、部活動を学校生活の大切な柱と考えたい、といった生徒たちの自己肯定感を高めてあげることが、部加入の必須条件としているならば、尚更必要であると考えます。但し、学校教育の場で行う教育活動の一環として捉えるならば、顧問には該当校教師が就くこともマストであると考えます。生徒指導面やスケジュール管理を教員顧問が担う。実技指導は校外技術指導者が担う。その際のイニシアチブは、学校顧問が執ることとする。これも、大切な前提条件だと考えるべきです。さて、もう 1 つ欠かせない条件が、校外指導者への謝金の保証です。本給を保証された上で、休日には特殊勤務手当を支給されている学校職員とは異なり、郊外の方には部活動指導とは関係ないところでの収入確保が不可欠です。ボランティア精神に依存する部活動指導の在り方を、教職員以外の世界の方にも同様に求めるのは間違いであると思います。相手が、自立した生活を営むべき社会人であることをわきまえた上での指導報酬の支給を、文化庁の施策の中に明確に位置付けることも併せて申し添えさせていただきます。
●生徒がより専門的な知識を学ぶことができるため、とても良いと思う。顧問が校外指導者に任せっきりにならないよう、明確な役割分担（外部指導者が技術指導、顧問が生徒指導など）が必要だと思う。
●機材の扱い、各楽器の入門〜初級までは教えられる方がいると良いと思います。
●音楽理論や楽器指導にたけている指導者がいることで、より一層音楽の楽しさや深みを味わうことができると思うので、外部指導者は積極的に活用していきたいと考えている。また、生徒たちも学校内外の人たちと関わることで見えてくるものや学ぶものもあると思います。
●身近なな人から教わるよりも良い緊張感が生まれ、部員もより素直に指導を受けてくれるので良い。部全体でレッスンを受けることにより、部活動としての取り組みが感じられ、部のまとまりが向上する。
●顧問ができることにも限りがありますので、苦手な分野や足りないところをサポートしていただけるなら、どんどん活用すべきだと思います。
●今現在、お世話になっている外部講師の方は、学校側の事情についてとてもよく理解していただいて対応してくださるので、とても助かっています。校外の方は学校ならではの事情がわかっていただける状態になってから、指導者として来ていただけるようになる仕組みがあると良いと思います。
●高総文、全国的に知名度の高い大会がない、あるいは少ない部活は、校外指導者の依頼が難しいかなと個人的に思っています。また、本校は現在

10バンド以上が存在し、活動場所や機材が限られているため、毎日バンド活動がある状況です。指導員の負担、指導の公平さ、生徒の熱量からみても現時点で本校では不要かと考えていました（地域、公立、様々なことはあると思いますが…）。

●記述指導については高学年から低学年に、またYouTubeなどはじめとした映像コンテンツなどを活用することで充足していると考えています。バンドサウンドについてのみ、顧問がバランスなど指導する程度で良いのではないでしょうか。趣旨がブレているかと思いますが、初心者の指導時に一斉にレッスンすることで効率が著しく下がるため、定期的にいただいている通信の初心者への特集の映像版のようなものがあると非常に助かります（本校では高学年の生徒と協力して作成しています）。

●私自身が素人であるので、費用の面、指導者のつてがあれば検討したいです。

●コンテストで勝つための指導が勝ち過ぎると、クラブ活動視点からは外れてしまいます。顧問がうまくバランスをとらないとまず失敗しますよ。

●本来、軽音は校外の自主活動と考える。教員の働き方改革の推進上、大きなネックとなっている。

●校内だけでなく外に積極的に参加するためにも、良いことだと思います。

●学校という教育環境の範囲内での指導ということへの理解や合意が前提なのですが、現場の実情がどこまで理解してもらえるかというところです。

●生徒の成長のために良いと思うが、当然その人の言動に問題がないことが前提である。

●音楽のプロであって教育のプロではないので、生徒とのトラブルが心配。

●顧問が指導すべき生活面、大会などの申し込み申請、部員間トラブルの解決などと顧問のスキルに不足する専門的なことの住み分けができると感じています。

●前任校ではドラムパートの指導やライブでの助言、支援などを外部指導者にお願いできていた。学校外の意見や考え、姿に触れる良い機会だと考えています。

●方向性や温度の共有などの図り方について、慎重になる部分があります。

●「部活動の指導は顧問教員、そして顧問はその学校の教員」という考えは実際成り立たないと思います。生徒たちは当然技術指導も求めますが、それが学校の中だけでできるはずはありません。私のように自分自身が音楽と多少は関わっている者でさえ、得意分野と不得意分野があります。まして経験のない部活動の顧問を教員が任された場合、もちろんいろんな場合はありますが、基本それは生徒にとっても教員にとっても不幸であることが多いでしょう。また、ミュージシャンや音楽関係者も、特にこれからのコロナの時代、正直生活が厳しくなっていくと思われます。音楽を学びたい生徒と教えたいミュージシャンたち、この双方の利害は一致しているはずです。質問3で答えた通り、陸上経験のない私は、コーチに来ていただいたおかげで本当に助かった。生徒たちが生き生きと活動する姿を見るのは、私にとっても幸せなことでした。政府や地方自治体は、ぜひともこういった指導が実現するように、本当に生きたお金の使い方、支援の仕方をして欲しいと思います。

●他府県との情報交換や行事（イベント）情報、文化祭でのパフォーマンス形態など、共有できると嬉しいです。

●良いと思いますが、費用はどこが負担？指導員の安全性は？

●教員の勤務条件を考えると外部指導員が主顧問になっていく方が望ましいと思うが、学校建物の管理や生徒の保護などの義務の問題をどうクリアするかは課題。

●顧問が経験者でない場合は、活用の仕方によっては機能していくと思います。

●これまで校外の指導者にお願いした経験上、問題となる事案としては、クラブの運営方針そのものに口を挟もうとする。部員個人と連絡を取り合おうとする。大会に向けたバンドを「プロデュース」したがる。といったことがある。これらは比較的共通した傾向と言える。学校のクラブは、あくまで学校教育の中の活動として行っているので、音楽を専門にされている方の文脈通りにいかない。音楽というアプローチからすれば、いびつに見えるかもしれないが、それは顧問がわかってやっていることであるということが、なかなか理解されない。顧問にしっかりとした運営方針があれば良いが、そうでなければ、悪い言い方をすれば操られてしまう可能性が拭えない。外部指導者に対する一定の指導が必要と感じている。

●特に必要性を感じない。顧問ができる範囲で指導することで十分であると思う。

●技術はもとより、人間性を重視し、学校の内情や顧問の部活動運営に理解のある方が必要。あくまで裏方なので、学校や顧問、生徒を尊重できる方が良いと思う。

●概ね賛成です。部活動は課外活動であり、社会教育の一貫です。社会人の方、その道の先達者に指導していただくことに問題はないですし、それを希求している顧問はたくさんいると思います。あとは、金銭的な問題と身分保証の問題だと思います。

●部活動の種目、種類を問わず、校外の方に指導をお願いすると部員（生徒）が教員（顧問）の指導に従わなくなる、という懸念を耳にしたことがあります。故に顧問の指導方針に協力的であることが重要になってくると思います。

●教育現場での指導であることを理解してもらうことが大前提であり、それがないままの導入は少しためらうが、現状を考えると、ぜひ、公的なシステムとして構築して欲しい。

●部活運営や技術指導以外の指導は顧問がすべき、技術指導についてはインストラクターにお願いすることはありだと思う。

●顧問の力のなさを他の方に頼ってしまうことに対して申し訳ない気持ちになってしまいます。しかし、専門性の高い顧問ではないところや度々顧問が変わってしまうことなどを考えると、外部コーチの安定した提供はありだと思います。

●校外（児童館）で練習をしている生徒がいます。児童館を通して、実際のプロの人が指導しているようです。児童館が手当てを出しているので、かなり助かっています。児童館での指導のため、本校の生徒だけではなく小学生から高校生までの指導をしているようです。本校以外の生徒との交流もはかれて、とても良い取り組みだと評価しています。本校独自で手当てを出して指導を依頼することができない。ボランティアや知り合いにお願いすることもできると思いますが、できればしっかり手当てを出してお願いしたい。校外指導員という人をお願いできる予算の確保をどうにかしたい。

●学校の実情を良く理解してくれる人にお願いしたい。

●いろいろと難しい面を持っており、本来であれば OB、OG がコーチになることが望ましい。

●「軽音楽」という特殊な業界では、個々の楽器の性能や技術、PA、アンプなどの機材の知識など学校の教員が技術指導をできるケースは極めて少ない。そこで専門家に技術指導を依頼することは有効だと思われるが、スポーツ界でもそうであるように、あくまでも学校の部活動としての指導であることを前提としなければならない。プロを養成するわけではないので、教育的な観点を踏まえて指導してもらえる人材が望まれる。そのため、顧問と外部指導者との力関係を担保することが必要。あくまでも顧問の方針に沿った指導をしてもらえるよう、指導者側にも「学校」という業界について理解してもらうことが重要だと思う。

●まったく学校と縁のない方には若干抵抗があります。

●顧問であってもすべてのパートの技術指導はなかなかできないので、生徒にとっても有益であると考えている。

●既に吹奏楽部では外部指導者（バンド指導および各パート）を招へいしており、こういったことに対する抵抗はあまりありません。問題はやはり費用面です。本校の吹奏楽部ではできていることなので、部員はもちろん、保護者の理解と協力があれば、他の部活動でも可能ではあるのでしょうが…。講師の質や生徒との相性など、いつも「良い先生」に来ていただけるとは限りません。時には「先生が人間的に問題がある」こともありえます。公的なシステムが構築されると、そういったことへの対応がしやすくなるという、大きなメリットがあると言えます。

●学校や部の方針、生徒たちの意向をよく汲み取っていただけるとありがたいと思います。その上で、経験などを生かした指導をしていただけると、非常にありがたいと考えます。

●学校はもっと開かれた場になるべきで、校外の指導者の利用は積極的に行って良いと思います。

●私自身、趣味でドラムをしているものの専門性は低い方だと思っている。そういった面をカバーしてくれるような方の必要性を日々感じながら指導を行っている。生徒のためにも、生徒を大きく成長させてくれるような外部指導員を期待したい。

●依頼しやすのであればお願いしたい（自分も個人的に演奏するが、自己流なところもり、生徒に教える自信があまりないので、プロの取り扱いをきちんと知りたい）。

●技術指導ができる方がいる。その方にいつでも相談ができる。というのは大変魅力的です。また、その方に生徒が主体的にできるようなアドバイスがいただけるとさらに嬉しく思います。しかし、費用面や人間関係、責任の所在など、課題も多く、現実的にはハードルが高いように感じます。

●生徒にはしっかりとした指導者が必要だと考えています。個人での演奏経験だけでは指導できません。多くの方々に指導した経験のある方に指導していただくことが生徒にとっての利益であると考えます。

●あくまで学校の教育方針に沿う形で行い、部内でも基本は上級生から下級生に教えていくと形が良いと考えます。外部指導者から専門的なアドバイスをいただくことで、より活動が活性化できればと思います。また、特にボーカルについては生徒個々の体に応じての対応も必要で、下手に練習させて喉をケガさせることもあり得るので、気を使います。最も、レッスンをして欲しいパートだと思っています。

●指導される方の方針、考え方が偏っていないこと、学校・高校の部活を理解してくれているかが重要だと思われます。

●技術的な指導がなかなかできないので、なるべく依頼したいのだが、予算的に毎年依頼するのは難しい。

●軽音楽部に限りませんが、部活以前にコミュニケーションや中には発達障害をもつ生徒もおり、校外の方にお願いする場合は、その辺のバランスを特に気を使います。公的なシステムになるのであれば、ある程、学校現場の実態を研修などで理解された方に依頼できるのがメリットなのかと思いました。

●教員が普段の業務をこなしながら部活指導をするのは時代に合わなくなってきている。生徒との信頼関係がしっかりと築けるのであれば外部指導員を導入したい。

●「部活動は（特に勤務時間外）教員の仕事」という前提で外部指導者制度が導入される限り、結局、すべての責任は顧問教員が負わざるをえず、外部指導者との調整、公的手続きなど、仕事量が余計に増えるだけです。勤務時間外の部活動について、管理職は勤務命令を法的に出せないはずなので、外部指導者については本来、管理職、ないしは学校事務が行うべきだと思います。今回のアンケートは文化庁主催のようですが、学校の状況を知らずに「部活動指導員」導入と言っているような気がしてなりません。

●部顧問がしっかりとした指導方針を持っていることが必要です。残念ながら群馬県はこの点が問題であると考えています。教育活動の一環としての部活動であるという視点が軽音部においては希薄になりがちなので、部顧問の教員としての指導力が問われると思います。

●部活動を教員業務から分離することも検討して良いと考える。その上できちんと対価を払って指導を依頼して欲しい。

●金銭面で折り合いがつき、信頼の置ける人物であればお願いしたい。

●この部に所属する生徒が音楽に対する嗜好、技術や知識レベル、目標など個人ごとに異なり、同じ指導が難しく専門的な外部指導員がいると非常にありがたいと思う。中には、個人の居場所として軽音楽部の活動を選ぶ生徒も少なくないので、専門的な指導を負担に思う生徒が出てくることが懸念され、そういう生徒を安易に無視できないのが現状です。また、個々のパート毎に練習ができる環境がないので外部指導員に依頼する場合に余計な負担をかけてしまうのではないか心配である。

●各楽器の技術的な指導を顧問一人でやるのは大変だが、教育的配慮ができる外部指導者があまりいない。

●自分が教えることができないことは人に頼んでいます。卒業生、地元アマチュアミュージシャン、知り合いのレッスンプロ、様々な方々に来てもらっています。

●本校のクラブ運営を理解していただくことが大切であると考えます。顧問と外部指導員との考え方の「ずれ」は子供たちに大きな影響を与えてしまうので、その点は重要であると考えています。

●①学校（特に女子校）という制約の中で行っているので、そのことへの理解が必要。②生徒たちの音楽・バンド活動へのモチベーションは様々なので、そのことへの理解が必要。③生徒たちを公平に扱い、かつ距離を保てることが必要。

●「働き方改革」の一環そして「教員の労働時間軽減」のための部活動指導員を配置しよう、という意図が見える気がする。しかし、部活動は部員と顧問が力を合わせて作り上げていくものが基本であると考える。その中で、顧問がサポートして欲しい部分の力を貸すのが部活動指導員であって欲しいと考える。また、長年に渡って部活動顧問を担ってきた教員が退職した際、その能力や意欲を発揮できる場として、積極的に部活動指導員として活用して欲しい。

●学校の部活動のあり方を理解した上で、専門的な知識、技術を指導していただけるとありがたいです。

「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」と軽音楽部の接点

平成 30 年 12 月に文化庁によって策定された「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」は同年 3 月にスポーツ庁より策定された「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に準じています。これらは近年、部活動に関しての様々な問題に対して検討されたもので、本来、部活動は教育の一環であり、社会人としてのスキルを学ぶためのものだという考え方が根底にあります。軽音楽部には、文化庁のガイドラインとの接点を多く見ることができます。その接点のいくつかを一覧にしてみました。

特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会 副理事長　辻 伸介

文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

1　適切な運営のための体制整備

(2) 指導・運営に係る体制の構築（抜粋）

イ　学校の設置者は、各学校の生徒や教師の数、部活動指導員の配置状況や校務分担の実態等を踏まえ、部活動指導員を積極的に任用し、学校に配置する。（中略）服務（校長の監督を受けることや生徒、保護者等の信頼を損ねるような行為の禁止等）を遵守すること等に関し、任用前及び任用後の定期において研修を行う。

ウ　校長は、文化部顧問の決定に当たっては、校務全体の効率的・効果的な実施に鑑み、教師の他の校務分掌や、部活動指導員の配置状況を勘案した上で行うなど、適切な校務分掌となるよう留意するとともに、学校全体としての適切な指導、運営及び管理に係る体制の構築を図る。

カ　都道府県、学校の設置者及び校長は、教師の文化部活動への関与について、「学校における働き方改革に関する緊急対策（平成 29 年 12 月 26 日文部科学大臣決定）」及び「学校における働き方改革に関する緊急対策の策定並びに学校における業務改善及び勤務時間管理等に係る取組の徹底について（平成 30 年 2 月 9 日付け 29 文科初第 1437 号）」を踏まえ、法令に則り、業務改善及び勤務時間管理等を行う。

教師の負担軽減と外部人材の参画

軽音楽部では、他の部活動のように「レギュラーと補欠」という図式ではなく、全員がそれぞれバンドというグループに所属して活動します。もちろん、各パートごとに別れて基礎練習などを行うこともありますが、先輩バンドが後輩バンドにアドバイスをする、異学年が一緒にバンドを組むなど、軽音楽部ならではの先輩後輩の良好な関係が生まれやすく、自然と異学年の交流が盛んになります。

また、基本的に生徒の自主性・主体性が不可欠な軽音楽部においては、今後、部活動指導員をはじめ外部人材の積極的な参画が進めば、さらに教師の負担軽減につながります。顧問の指導に頼りすぎず、生徒だけでも持続可能な運営体制が確立されます。

文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

2　合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進のための取組

(1) 適切な指導の実施（抜粋）

イ　文化部活動の指導者は、(中略) 過度の練習が生徒の心身に負担を与え、文化部活動以外の様々な活動に参加する機会を奪うこと等を正しく理解するとともに、生徒の芸術文化等の能力向上や、生涯を通じて芸術文化等に親しむ基礎を培うことができるよう、生徒とコミュニケーションを十分に図り、生徒がバーンアウトすることなく、技能等の向上や大会等での好成績などそれぞれの目標を達成できるよう、分野の特性等を踏まえた合理的でかつ効率的・効果的なトレーニングの積極的な導入等により、休養を適切に取りつつ、短時間で効果が得られる指導を行う。（後略）

4　生徒のニーズを踏まえた環境の整備

(1) 生徒のニーズを踏まえた文化部の設置（抜粋）

ア　校長は、学校や地域の実態に応じて、現在の文化部活動が、性別や障害の有無を問わず、生徒の多様な潜在的なニーズに必ずしも応えられていないことを踏まえ、技能等の向上や大会等での好成績以外にも、友達と楽しめる、適度な頻度で行える等、生徒が参加しやすいような多様なレベルや生徒の多様なニーズに応じた活動を行うことができる文化部を設置する。（後略）

合理的、かつ効率的・効果的な活動と生徒のニーズ

軽音楽部はバンドごとに活動するため、楽器の演奏技術向上や合奏することに重きをおきたい、ライブを行うことや大会に出場することを目標にしたい、オリジナル楽曲作成やレコーディングを行って音源制作に力を入れたい…といった、多様なニーズに応えることができます。やり方によっては、期間を設けて様々なことにチャレンジしたり、各々が自由に活動を広げることができ、部活動への過度な傾注やバーンアウトすることなく、軽音楽という文化芸術活動を続ける基礎を育みます。

また、軽音楽部に性別や障害による差別はなく、メンバー間に活動への温度差が生じたりした場合でも、チーム分けを変更すれば、部活動を継続させることも可能です。

文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

4 生徒のニーズを踏まえた環境の整備（抜粋）
(1) 生徒のニーズを踏まえた文化部の設置
イ （前略）単一の学校では特定の分野の文化部活動を設けることができない場合には、生徒の部活動参加の機会が損なわれることがないよう、複数校の生徒が拠点校の部活動に参加する等、合同部活動等の取組を推進する。また、持続可能な活動を確保するため、長期的には従来の学校単位での活動から一定規模の地域単位での活動も視野に入れた体制の構築が求められる。（後略）

4 生徒のニーズを踏まえた環境の整備（抜粋）
(2) 地域との連携等
ア 都道府県、学校の設置者及び校長は、家庭の経済状況にかかわらず、生徒が芸術文化等の活動に親しむ機会を充実する観点から、（中略）地域の人々の協力や体育館や公民館、美術館・博物館などの社会教育施設、劇場、音楽堂等の文化施設の活用や芸術文化関係団体・社会教育関係団体等の各種団体との連携、保護者の理解と協力、民間事業者の活用等による、学校と地域が共に子供を育てるという視点に立った、学校と地域が協働・融合した形での地域における持続可能な芸術文化等の活動のための環境整備を進める。

合同部活動などの取り組みの推進

軽音楽部は活動の単位がバンドという小さなグループであるため、他の部活動よりも地域での合同部活動の展開も可能です。バンド同士の交流はもちろん、互いにメンバーを入れ替えてのセッションなども比較的容易です。それは、コンダクターの指示や譜面どおりに演奏を再現することが目的ではなく、生徒自らがコード・ネームを使用したり、創作力を持って演奏することが多い軽音楽部だからできることです。他パートへアイデアを出し合ったり、合奏の構築を普段から自主的に行っているからこそ可能なことだと言えます。

また、同じ理由から、地域のお祭りや老人ホームへの慰問、公共施設での演奏会など、地域との連携が比較的容易です。機材のセッティングや片付けは大変ですが、ほとんどを電子楽器で行う軽音楽部では、場所や状況に応じた音量で演奏することが可能です。電子ドラムを使用してほぼ無音でライブを行ったり、アコースティック・ギターやカホンを使用して楽曲をイベント用にアレンジすることもできます。自らの演奏を不特定多数の観客に聴いてもらえるように努力することは、音楽を通した文化芸術活動として、とても意義のあることです。

文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

本ガイドラインは、生徒の視点に立った、学校の文化部活動改革に向けた具体の取組について示すものである。中学生及び高校生の時期は、生徒自身の興味・関心に応じて、教育課程外の学校教育活動や地域の教育活動など、生徒による自主的・自発的な活動が多様化していく段階にある。少子化や核家族化が進む中にあって、学校外の様々な活動に参加することは、実生活や実社会の生きた文脈の中で様々な価値や自己の生き方について考えることができる貴重な経験となり、幅広い視野に立って自らのキャリア形成を考える機会となることも期待される。また、生徒が多様な学びや経験をする場や自らの興味・関心を深く追究する機会などの充実につながるものである。

文化庁ホームページから検索できます。
https://www.bunka.go.jp/index.html

文化部活動ガイドライン 検索

軽音楽部の大会における統一審査基準（案）

愛知県高等学校軽音楽大会、高等学校軽音楽コンテスト中部大会において実施中

1．審査の方向と基本的な考え方について

◉軽音楽部の大会は部活動の延長線上にあるため、部活動として「本番までにメンバー全員で何を積み上げてきのか」「全員で良いステージを作れたか」を主な審査の対象とする。
◉個々のテクニックや才能よりもアンサンブルを重視し、全員で同じ目標に向かっていたかという「チームワーク」や「チームプレー」を審査する。
◉将来性、個別のアクシデントや諸事情などは考慮せず、当日のステージの完成度のみで審査する。個人の楽器トラブルなども場合によっては審査の対象とする。
◉軽音楽部はバンド演奏を通じて「コミュニケーション」を学ぶ場でもあるので、バンド形態での出場を原則とする。

2．楽曲のカテゴリーについて

◉演奏する楽曲がオリジナル楽曲なのかコピー楽曲なのかは問わない。ただし、「クリエイティビティー」が特徴である軽音楽部の大会においては、オリジナル楽曲である方が望ましい。
◉コピー楽曲の場合、審査員がその楽曲を既知かどうかで評価が変わる可能性があるため、原曲との違いで評価しない。
◉カバー楽曲の場合、あくまでも「アレンジ」と捉えてオリジナル楽曲とは認めない。ただし、アレンジに対するオリジナリティーやクリエイティビティーは審査の対象とする。
◉オリジナル楽曲の場合、審査員の好みによって評価が変わる可能性があるため、楽曲の良し悪しで評価しない。
※ケースによっては、楽曲の音楽性や良し悪しを通常審査とは別枠で「楽曲賞」を設けることで評価することもある。

3．審査項目について①

合奏力

その楽曲を「演奏」するために必要なことを、メンバー全員でどれだけ突き詰めて練習してきたか。また、披露できていたかを審査する。単純に個々の技術を評価するわけではない。

①テクニック
メンバー全員がその楽曲を演奏するための技術をどれだけ習得していたか。
◉個人のハイレベルなテクニックは合奏にそぐわなければ評価しない。ただし、何もしないことが良いわけではない。
◉コピー楽曲の場合、原曲に忠実かどうかよりも「良い合奏」を目指せていたかを評価する。
◉オリジナル楽曲の場合、個々のフレーズのアイデアやセンス、オリジナリティーなどはここでは評価しない。そのフレーズを表現するための演奏技術のみで評価する。
※部活動は単に技術の向上が目的ではなく、「技術は合奏のため」という意識を育てる。
※選曲やレベルに合ったアレンジなどをメンバーで協力して考える意識を育てる。

②リズム理解
メンバー全員がその楽曲を演奏するためのリズム（テンポ、グルーヴなどを含む）をどれだけ理解していたか。また共有、及び披露できていたか。
◉全員がリズムの共有をしていたかを評価する。
◉楽曲に合ったテンポで演奏し、全員でテンポ・キープができていたかを評価する。
◉原曲に忠実かどうかよりも「良い合奏」を目指せていたかを評価する。
※各々がテンポ・キープ、リズム・キープをする意識を育てる。
※音楽にはリズムが伴っていなければならないという意識を育てる。
※ポピュラー・ミュージックにとって大事な「グルーヴ」への意識を育てる。

③セオリー
メンバー全員がその楽曲を演奏するための音楽的知識をどれだけ習得していたか。また共有、及び演奏できていたか。
◉個々のフレージングにおいて、キー、構成、和音、コード進行などが理解できていたか。
◉コピー楽曲の場合、原曲に忠実かどうかよりもハーモニーとして成立していたかどうかを評価する。原曲が音楽理論上、あるいは聴感上、音の重ね方などがおかしい場合であっても考慮しない。
◉オリジナル楽曲の場合、コード・アレンジのアイデアやセンス、個々のフレージングなどのオリジナリティーはここでは評価しない。メンバー全員の和音への理解を評価する。
※各パートのフレーズが絡み合って音楽ができているという意識を育てる。
※キー、スケール、コード、コード進行などの必要最低限な音楽的知識の必要性を育てる。

3. 審査項目について②

表現力

その楽曲を「表現」するために必要なことを、メンバー全員でどれだけ突き詰めて練習してきたか。また、披露できていたかを審査する。

①イメージ共有

メンバー全員がその楽曲の歌詞や世界観、感情、ダイナミクスをどれだけ理解し、また共有して、どれだけ独自性を出しながら演奏できていたか。また表情やステージングなどで演出し、表現できていたか。

◉例え、音楽理論上は奇抜なフレーズであっても、楽曲の表現として成り立っていれば評価する。

◉個性に関するオリジナリティーはオリジナル楽曲の場合もコピー楽曲の場合も、歌唱や演奏が音楽的かどうかを重視し、評価する。

◉派手に動きまわることや動かないステージングなどは楽曲にそぐわなければ評価しない。楽曲のイメージに合ったステージングやパフォーマンスができていたかを評価する。

◉客席に音楽や楽曲に含まれるメッセージなどを伝えようとしていたかを評価する。

◉きちんと演出されていたかどうかではなく、メンバー全員が 1 つになってドラマを作ろうとしていたかを評価する。

※自己満足で終わらず、全員で人に何かを伝える演奏を目指す意識を育てる。

※人前で演奏するということは楽曲を聴いてもらうためだけではなく、ステージを見てもらうことでもあるという意識を育てる。

②バランス

ステージ上でメンバー同士が連携を取りながら演奏できていたか。各パートの音量や音色、音の定位、音域などのバランスが取れていたか。

◉演奏中、お互いを意識して「合わせよう」としていたか。アイコンタクト、ミスやトラブルのフォローなども評価の対象とする。

◉テーマ・メロディーやソロなどの音量や音色は適切で、押し引きができていたか。

◉それぞれがその楽曲の合奏に合う音作りができていて、歌を含むすべてのパートがきちんと聴こえていたか。

◉チューニングが合っていたか。

※自分が全体の中の 1 人であり、アンサンブルの中でどう演奏すれば良いかという意識を育てる。

※音楽は「音」として全員で奏でるものであるという意識を育てる。

※楽器を「楽器」として扱い、本番に向けたメンテナンスや調整の必要性を理解させる。

4. 審査方法と賞について（例）

◉審査員 3 名（1 名は審査員長）が上記の考え方に基づき、総合的な審査を点数によって行い賞を決定する。同点だった場合は審査員、及びコメンテーターによって協議され、最終的に審査員長が判断する。

◉審査員は各バンド演奏終了後に講評し、アドバイスシートに全体的なアドバイスを記入する。コメンテーターは審査には関わらず、パートごとのアドバイスをシートに記入する。

◉審査の点数は開示し、アドバイスシートは各校へ渡すことによって今後への意欲につなげる。

◉出場するバンド数が多く、演奏楽曲にオリジナル楽曲とコピー楽曲が混在する場合の部門分けやオリジナル楽曲の優秀性を審査しての「楽曲賞」の授与、各パートごとの「個人賞」の授与など、ケースによってのアレンジは可能とする。

①各賞の例

グランプリ	1 バンド
準グランプリ	1 バンド
第3位	1 バンド
奨励賞	3 バンド
楽曲賞（オリジナル楽曲のみ）	1 バンド
個人賞	各 1 名
ベスト・ボーカリスト	
ベスト・ギタリスト	
ベスト・ベーシスト	
ベスト・ドラマー	
ベスト・キーボーディスト	
ベスト・プレイヤー	
（上記以外の楽器演奏などで優秀な生徒がいた場合）	

②楽曲賞

オリジナル楽曲において、歌詞、メロディー、コード進行、バンドアレンジ、パートアレンジなどを含め、総合的に優れていたグループに贈られる賞。

◉作者個人ではなく、グループに贈るものとする。

◉個人、及びバンドの演奏力や表現力は審査の対象に含まない。

③個人賞

個人のテクニックや音楽的センスが優れていた生徒へ贈る賞。

◉アンサンブルを無視した身勝手な演奏などは対象外とする。

◉オリジナル楽曲やカバー楽曲の場合、個性やオリジナリティーも評価の対象とする。ただし、音楽的でない場合は評価の対象としない。

④その他、演奏中止、審査対象外、失格になる場合もある。

◉危険行為を行った場合。

◉あきらかに演者の行動が起因となる遅延があった場合。

◉誹謗中傷や暴言など、部活動にそぐわない MC や発言があった場合。

◉その他、大会規定のルールを守らなかった場合。

軽音協のオール電化計画

バンド練習も個人練習も、外に音を出さない。
新しい時代の軽音楽部の練習環境と機材。

校内外への騒音問題、練習時間の不足、練習内容の改善などを考慮すると、校内の部活動としての軽音楽部では、最新のデジタル楽器や機材を活用することで、多くの課題が解決すると思います。

サイレント・スタジオ

電子ドラムとデジタル・ミキサーを組み合わせることで、音を外に出さずにバンド練習をすることができます。詳しくは紹介動画をご覧ください。

お見積り例

ZOOM / L-12 + Roland / TD-1DMK
サイレント・スタジオ・システム　セット A

軽音協ショップ価格　**161,000円**（税別）

月額リース料　**4,000円**（税別）より

※リースの適用下限額は 200,000 円（税別）です

紹介映像

個人練習もサイレント。マルチ・エフェクターで練習が変わる！

ZOOM / G1 FOUR（ギター用）

Fender、Marshall、Orange といったジャンルや年代を問わずにギタリストを魅了し続ける 13 種類のアンプ・モデルと、あらゆるジャンルに対応する 60 種類のエフェクトを搭載しています。

軽音協ショップ価格　**7,380円**（税別）

ZOOM / B1 FOUR（ベース用）

Fender や Ampeg などの定番アンプ・モデル 9 種類と、ベースの音作りに欠かせない 60 種類のエフェクトを搭載したベーシスト必見のマルチ・エフェクターです。

軽音協ショップ価格　**7,380円**（税別）

紹介映像

特定非営利活動法人（NPO法人）
全国学校軽音楽部協会
URL ：www.keionkyo.shop　TEL ：045-913-0901　FAX ：045-913-1900

その他…何でもご相談ください。

楽器や機材の導入は「リース」がオススメ！
軽音協 × シャープファイナンス

① 少ない資金で希望の楽器・機材を導入できる
② リース物件は動産総合保険に加入済み

●十分な予算がなくても、月々の支払いで無理なく導入できます。　●楽器や機材の選定からメンテナンスまで、安心のサポート体制。（故障時の修理と代替機の保証も含まれます）